

2020 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関する
アンケート調査
【調査結果報告書】

2021 年 7 月
西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査」については、本文中「就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査」と略称表記（以下同様）

目次

第1章 卒業生アンケート.....	1
1. 調査の概要.....	1
【調査結果の見方】.....	1
2. 調査結果.....	2
〔1〕回答者について.....	2
〔2〕現在の仕事について.....	3
〔3〕転職の状況について.....	12
〔4〕未就業の状況について.....	16
〔5〕仕事についての感想（自由意見）.....	19
〔6〕大学・短大で受けた教育について.....	25
① 達成度と必要性（全体）.....	25
② 達成度と必要性（学科別）.....	27
③ 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）.....	31
④ 仕事をする上で重要だと思う事.....	37
〔7〕大学時代で有意義だった授業.....	39
〔8〕大学の講義以外で希望する支援・経験.....	44
〔9〕大学に対する意見・要望（自由意見）.....	47
3. 調査結果のまとめ.....	49
第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート.....	53
1. 調査の概要.....	53
【調査結果の見方】.....	53
2. 調査結果.....	54
〔1〕回答者について.....	54
〔2〕仕事に必要な能力.....	55
① 必要性和達成度（全体）.....	55
② 必要性和達成度（学科別）.....	57
③ 採用の際に重要視する能力.....	61
〔3〕事業所の概要.....	63
〔4〕学生に希望する資格や検定.....	66
〔5〕大学生の人間形成に必要な支援.....	68
〔6〕採用について.....	70
〔7〕大学に対する意見・要望（自由意見）.....	75
3. 調査結果のまとめ.....	78
第3章 調査票.....	80

第1章 卒業生アンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2018年3月卒業生
調査方法	郵送配布・回収、Web、FAX回収
回収数	149人
調査時期	2020年12月23日～2021年1月29日 ※2021年3月9日までに大学到着分まで集計に含む
回収率	下表の通り

	依頼卒業生数	回答人数	回収率
看護学科	92	18	19.6% (10.2%)
福祉学科	101	40	39.6% (15.8%)
栄養学科	106	13	12.3% (7.4%)
英語学科	40	29	72.5% (20.5%)
観光文化学科	64	11	17.2% (17.9%)
助産別科	15	3	20.0% (35.7%)
全体	418	114	27.3% (13.9%)

()内は前年度回収率

	依頼卒業生数	回答人数	回収率
生活創造学科	30	1	3.3% (11.1%)
保育科	90	34	37.8% (13.7%)
全体	120	35	29.2% (13.0%)

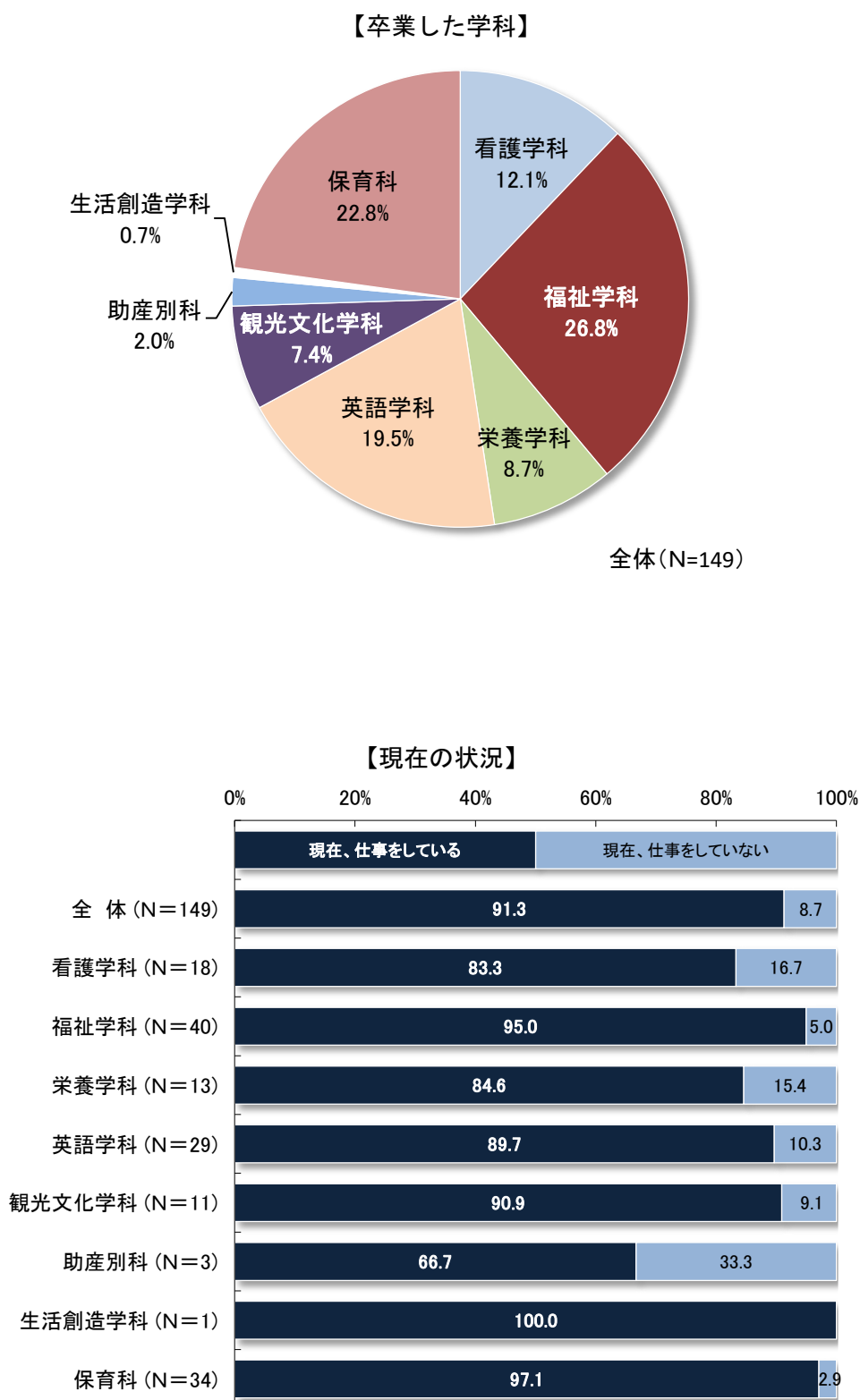
()内は前年度回収率

【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。なお、調査票は大学・短期大学部ともに同様の調査票を使用しているため、大学用の調査票を添付するものとし、短期大学部用の調査票の添付は省略する。

2. 調査結果

〔1〕回答者について

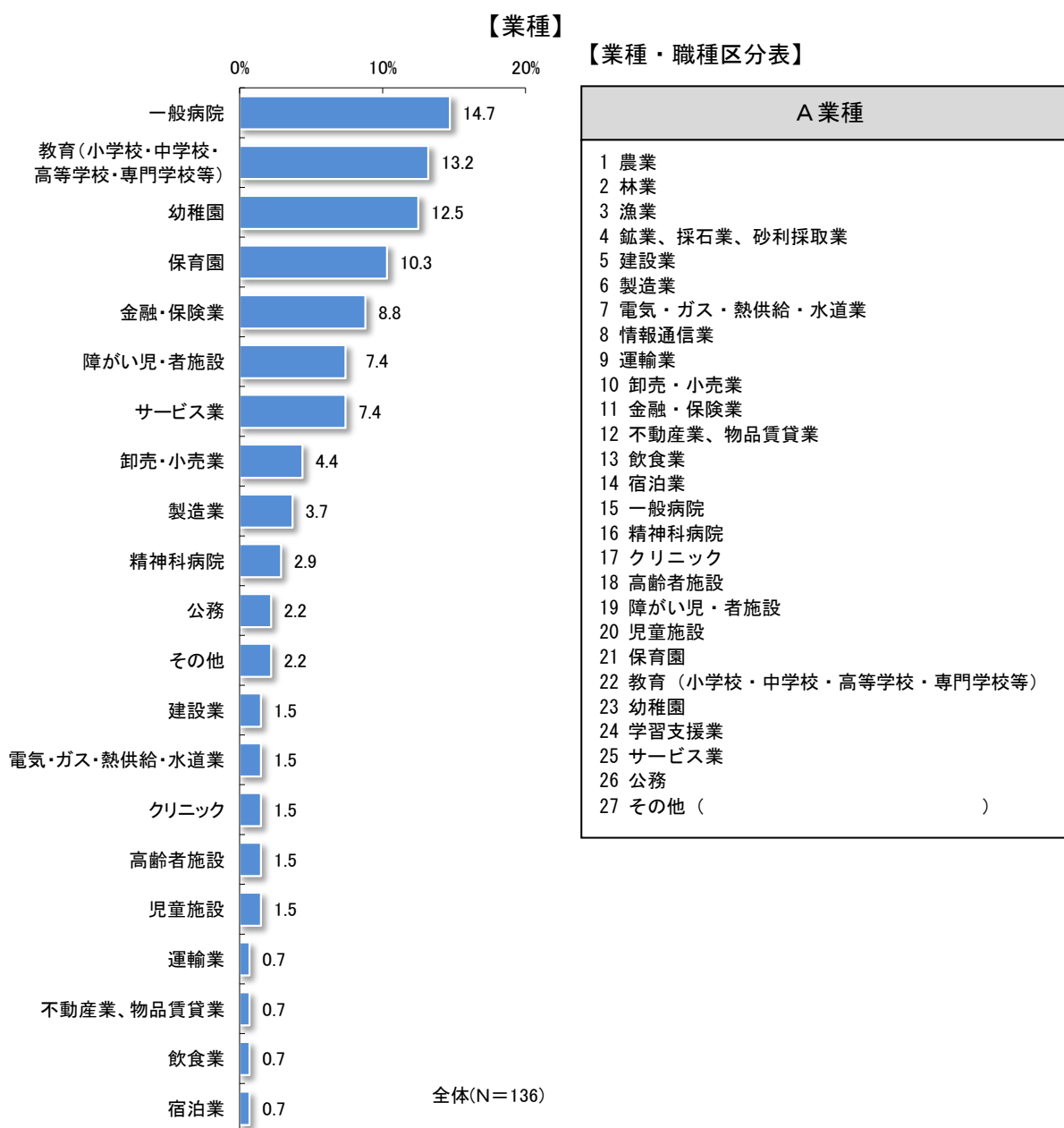


〔2〕現在の仕事について

問 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

現在の勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(14.7%)が最も多く、次いで「教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)」(13.2%)、「幼稚園」(12.5%)、「保育園」(10.3%)となっている。

学科別にみると、看護学科、栄養学科、助産別科は「一般病院」(看護学科：66.7%、栄養学科：45.5%、助産別科：100.0%)、福祉学科は「教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)」(34.2%)、英語学科は「金融・保険業」、「サービス業」(いずれも19.2%)、観光文化学科は「金融・保険業」、「卸売・小売業」(いずれも30.0%)、生活創造学科は「金融・保険業」(100.0%)、保育科は「幼稚園」(39.4%)と「保育園」(36.4%)の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先の主たる業種が異なることがうかがえる。



※回答のなかった項目は省略

第1章 卒業生アンケート

【学科別 業種（1/2）】（％）

	全体 （人）	一般病院	高等教育（小学校・中学校・専門学校等）	幼稚園	保育園	金融・保険業	障がい児・者施設	サービス業	卸売・小売業	製造業	精神科病院	公務
全 体	136	14.7	13.2	12.5	10.3	8.8	7.4	7.4	4.4	3.7	2.9	2.2
看護学科	15	66.7	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7
福祉学科	38	2.6	34.2	10.5	-	5.3	21.1	2.6	2.6	2.6	10.5	-
栄養学科	11	45.5	-	-	9.1	-	-	9.1	-	9.1	-	-
英語学科	26	7.7	15.4	-	3.8	19.2	-	19.2	3.8	7.7	-	3.8
観光文化学科	10	-	-	-	-	30.0	-	20.0	30.0	-	-	-
助産別科	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
保育科	33	-	-	39.4	36.4	3.0	6.1	3.0	3.0	3.0	-	3.0

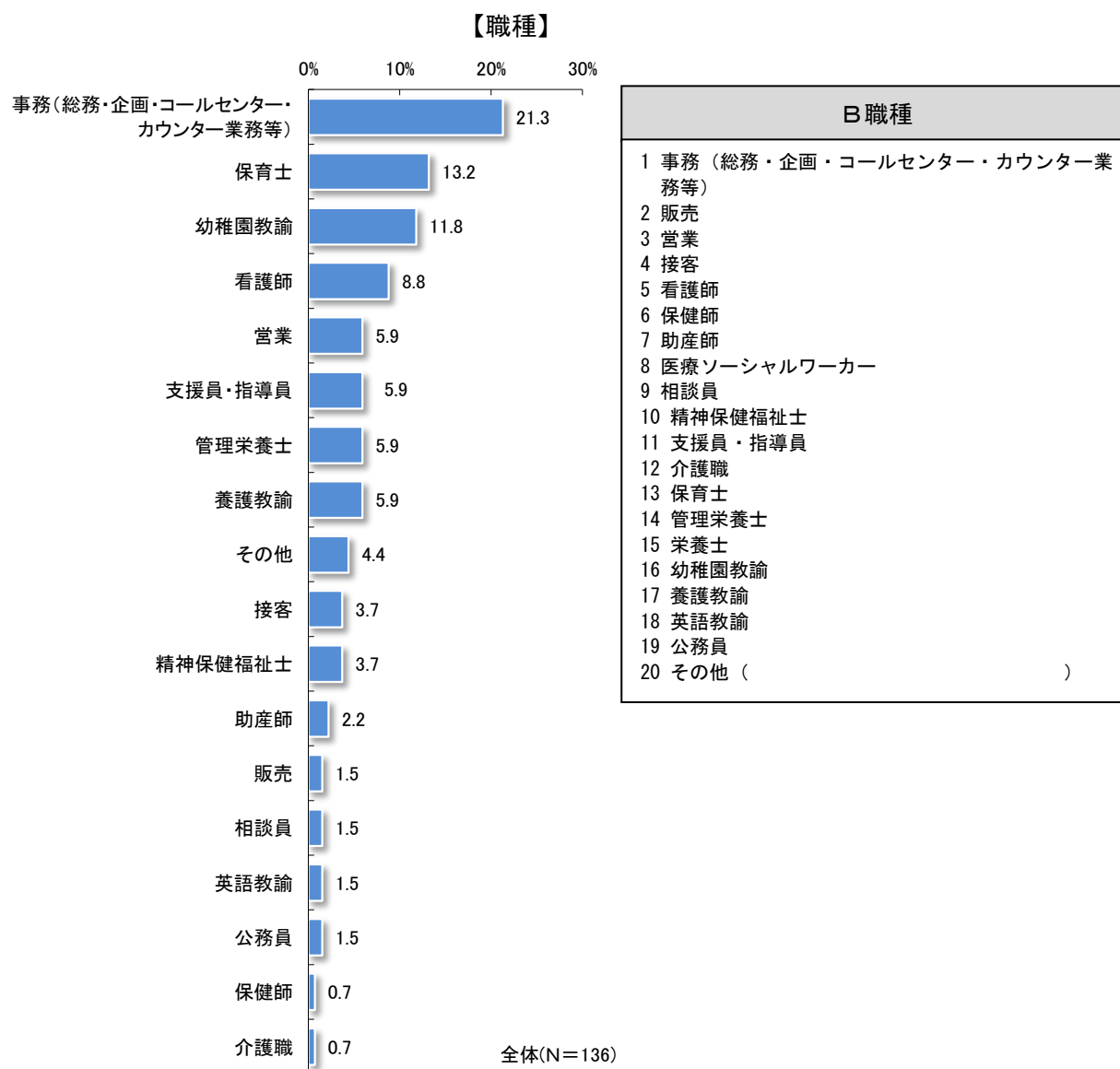
【学科別 業種（2/2）】（％）

	全体 （人）	その他	建設業	電気・ガス・熱供給・水道業	クリニック	高齢者施設	児童施設	運輸業	不動産業、物品賃貸業	飲食業	宿泊業	
全 体	136	2.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	0.7	0.7	0.7	0.7	
看護学科	15	-	-	-	13.3	6.7	-	-	-	-	-	
福祉学科	38	-	-	-	-	2.6	5.3	-	-	-	-	
栄養学科	11	9.1	-	-	-	-	-	-	9.1	9.1	-	
英語学科	26	7.7	3.8	7.7	-	-	-	-	-	-	-	
観光文化学科	10	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	10.0	
助産別科	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
生活創造学科	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
保育科	33	-	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	

問 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在の勤務先で携わっている主たる職種は、大学全体では「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」(21.3%) が最も多く、次いで「保育士」(13.2%)、「幼稚園教諭」(11.8%)、「看護師」(8.8%) となっている。

学科別にみると、看護学科は「看護師」(80.0%)、福祉学科は「支援員・指導員」(21.1%)、栄養学科は「管理栄養士」(72.7%)、英語学科、観光文化学科は「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」(英語学科：42.3%、観光文化学科：60.0%)、助産別科は「助産師」(100.0%)、生活創造学科は「営業」(100.0%)、保育科は「保育士」(48.5%)や「幼稚園教諭」(36.4%)の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先で携わっている主たる職種が異なることがうかがえる。



※回答のなかった項目は省略

【学科別 職種（1/2）】（％）

	全体（人）	事務（総務・企画・コーポレート・業務等）	保育士	幼稚園教諭	看護師	営業	支援員・指導員	管理栄養士	養護教諭	その他
全体	136	21.3	13.2	11.8	8.8	5.9	5.9	5.9	5.9	4.4
看護学科	15	-	-	-	80.0	-	-	-	6.7	-
福祉学科	38	13.2	2.6	10.5	-	-	21.1	-	18.4	7.9
栄養学科	11	27.3	-	-	-	-	-	72.7	-	-
英語学科	26	42.3	3.8	-	-	15.4	-	-	-	7.7
観光文化学科	10	60.0	-	-	-	30.0	-	-	-	-
助産別科	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
保育科	33	12.1	48.5	36.4	-	-	-	-	-	3.0

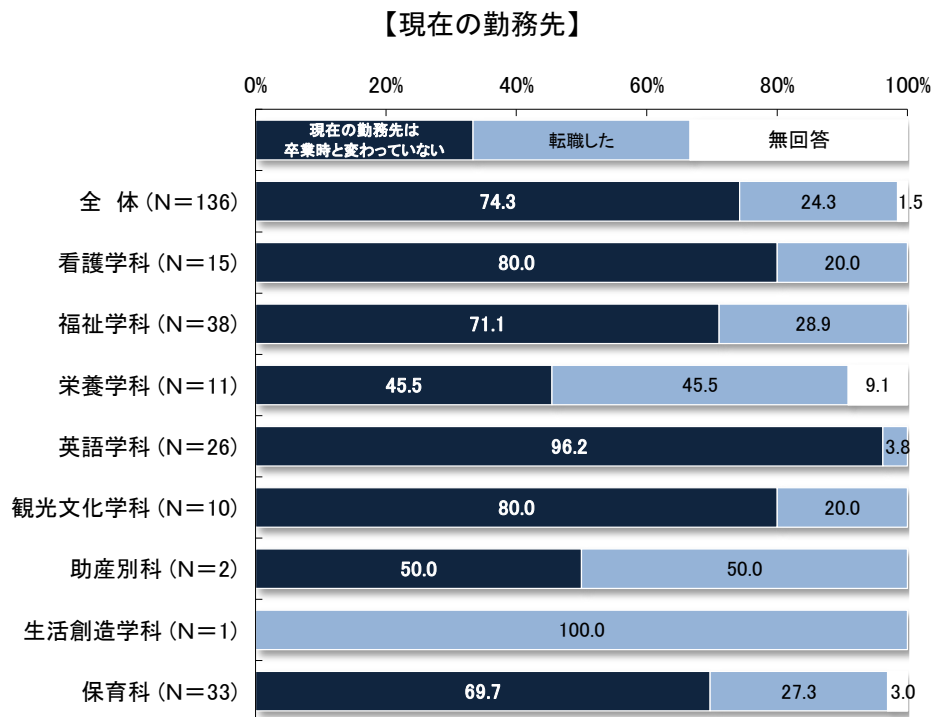
【学科別 職種（2/2）】（％）

	全体（人）	接客	精神保健福祉士	助産師	販売	相談員	英語教諭	公務員	保健師	介護職
全体	136	3.7	3.7	2.2	1.5	1.5	1.5	1.5	0.7	0.7
看護学科	15	-	-	6.7	-	-	-	-	6.7	-
福祉学科	38	2.6	13.2	-	-	5.3	-	2.6	-	2.6
栄養学科	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
英語学科	26	11.5	-	-	7.7	-	7.7	3.8	-	-
観光文化学科	10	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-
助産別科	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 現在の勤務先について○をつけてください。(1つ選択)

現在の勤務先は、大学全体では「現在の勤務先は卒業時と変わっていない」の割合が74.3%を占め、「転職した」とする人は24.3%となっている。

学科別に現在の勤務先をみると、少数の学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、助産別科(50.0%)、栄養学科(45.5%)では「転職した」の割合が他の学科に比べ高い傾向にある。



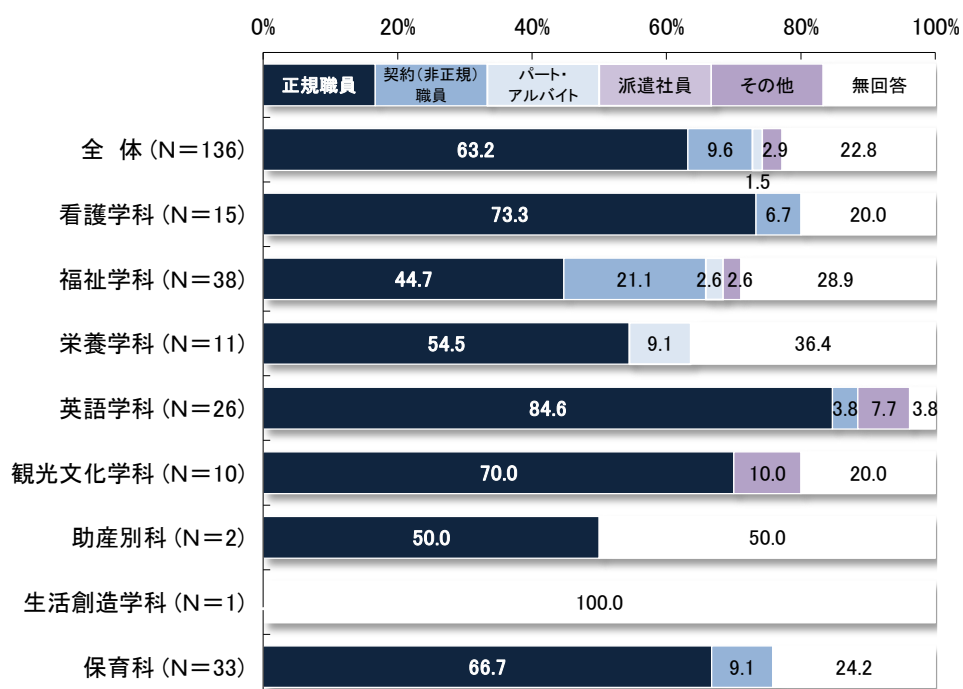
問 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

卒業時の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が63.2%を占め、次いで「契約（非正規）職員」の割合が9.6%となっている。

学科別の卒業時の雇用形態をみると、「正規職員」の割合は、看護学科、英語学科、観光文化学科で7割以上と高いのに対し、福祉学科で比較的低い傾向がある。

【卒業時の雇用形態】

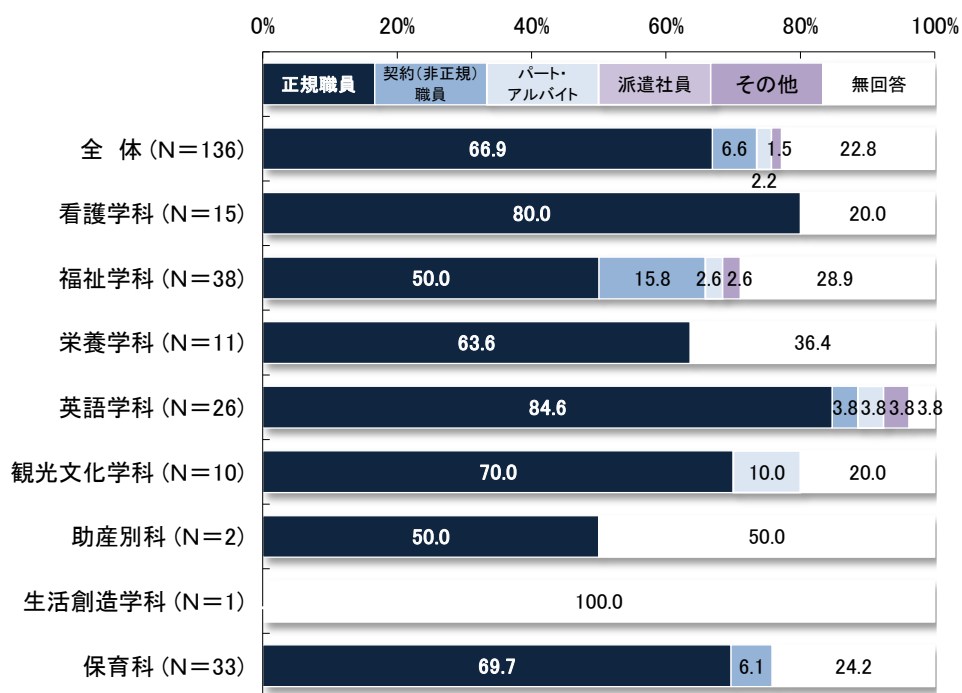


②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

現在の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が66.9%と卒業時よりも正規職員の割合が増え、「契約（非正規）職員」（6.6%）などの非正規雇用は減っている。

学科別の現在の雇用形態をみると、看護学科、福祉学科、栄養学科、保育科では「正規職員」の割合が卒業時から高くなっている。

【現在の雇用形態】

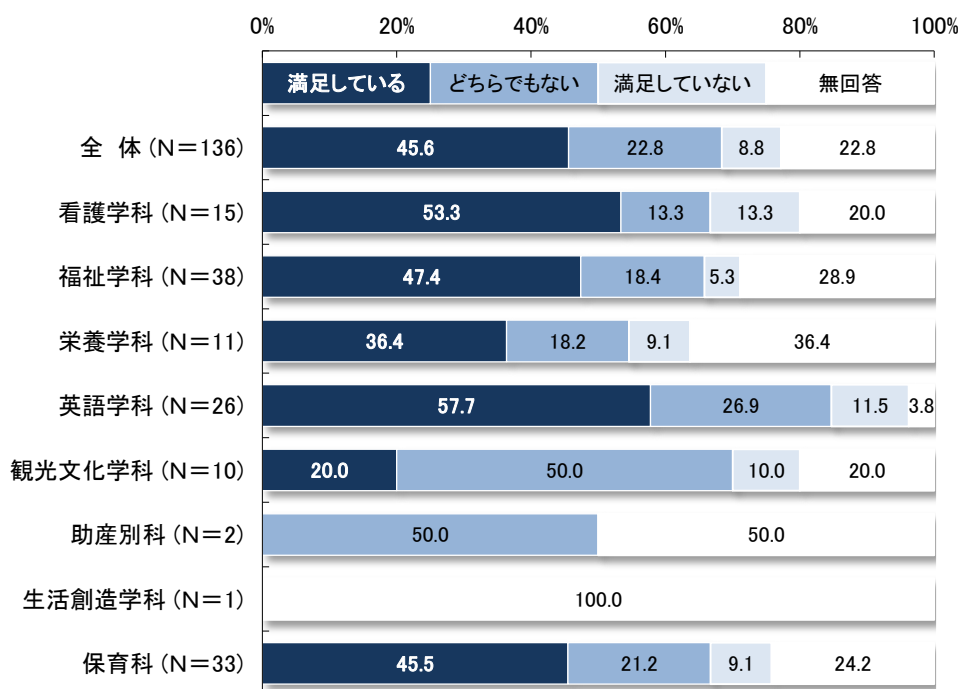


問 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

現在の勤務先の満足度は、大学全体では「満足している」(45.6%) が最も多くなっている。

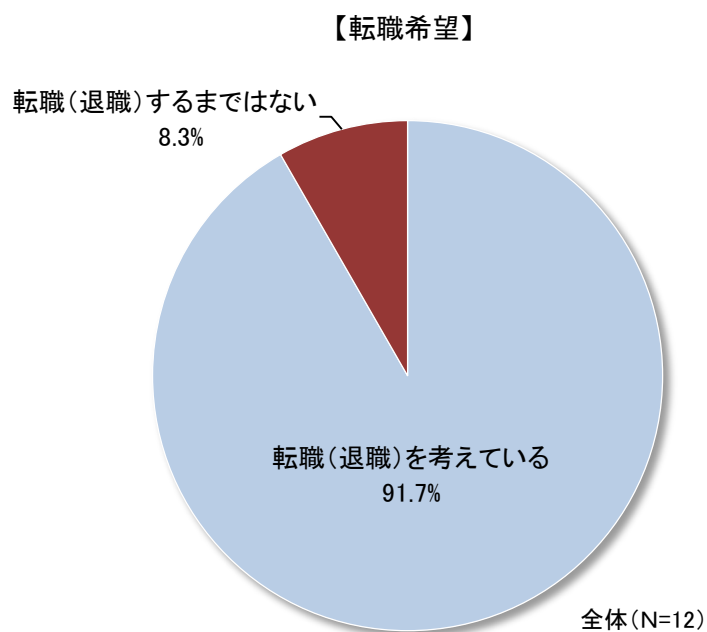
学科別の、現在の勤務先の満足度をみると、看護学科や英語学科は「満足している」の割合が5割以上で、他の学科より高くなっている。

【現在の勤務先の満足度】



問 II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

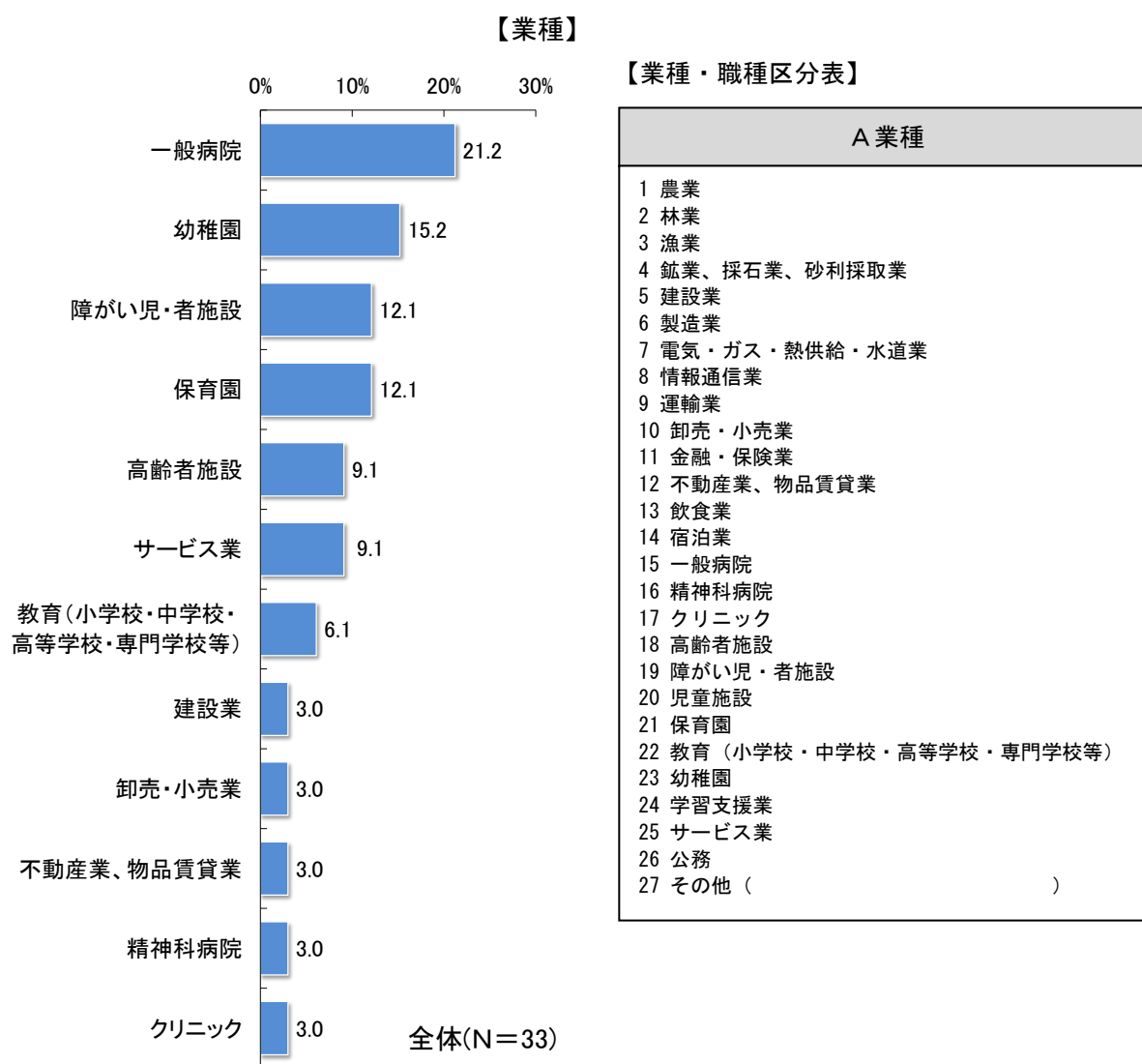
「満足していない」と答えた人の転職（退職）希望は、大学全体では「転職（退職）を考えている」の割合が91.7%、「転職（退職）するまではない」が8.3%となっており、現在の勤務先の満足度について「満足していない」と回答した人の9割以上が転職（退職）を考えている結果となった。



〔3〕 転職の状況について

問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

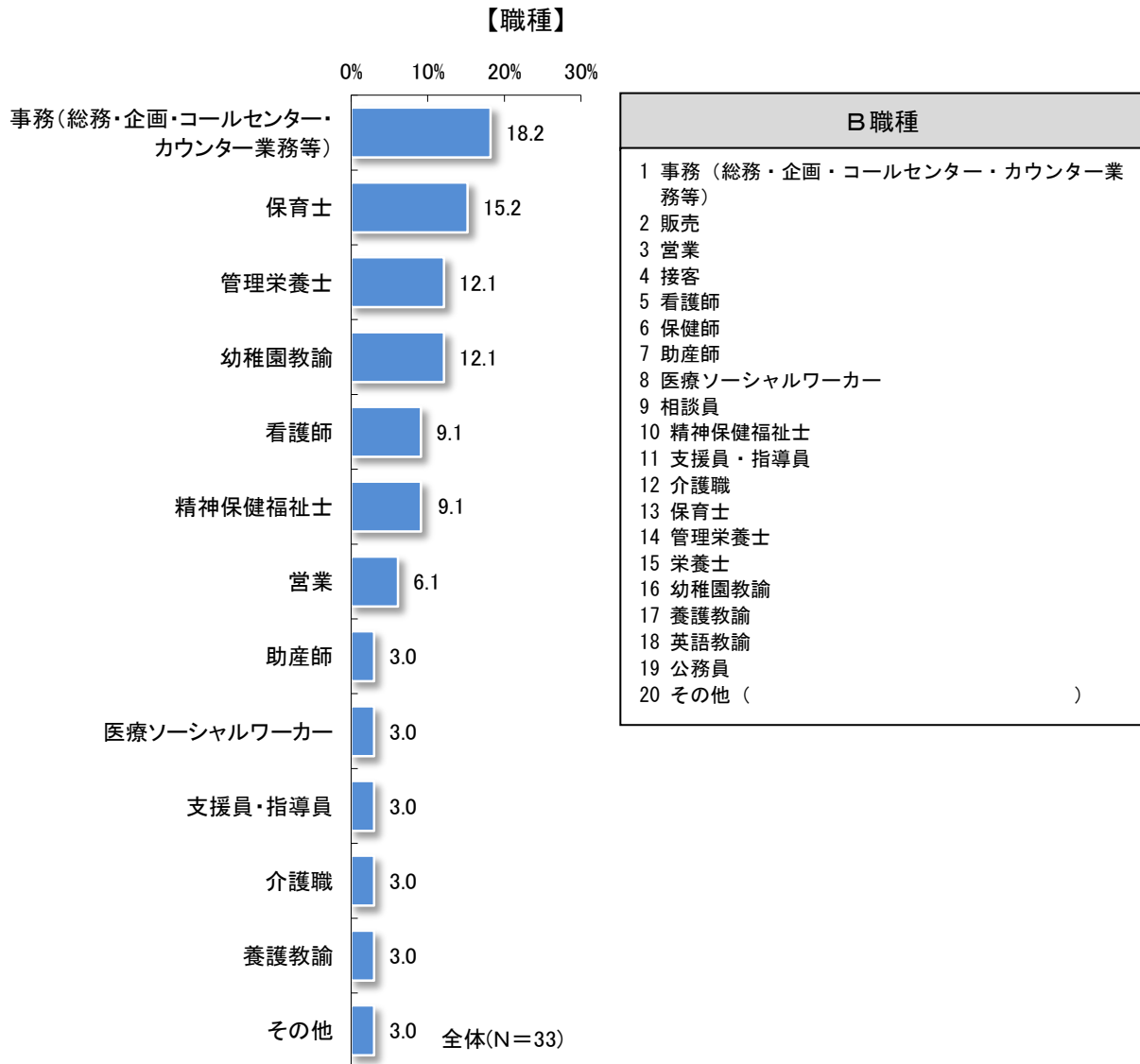
転職した人の卒業時における勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(21.2%)が最も多く、次いで「幼稚園」(15.2%)、「障がい児・者施設」、「保育園」(いずれも12.1%)となっている。



※回答のない項目は省略

問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、大学全体では「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」(18.2%)が最も多く、次いで「保育士」(15.2%)、「管理栄養士」、「幼稚園教諭」（いずれも12.1%）となっている。

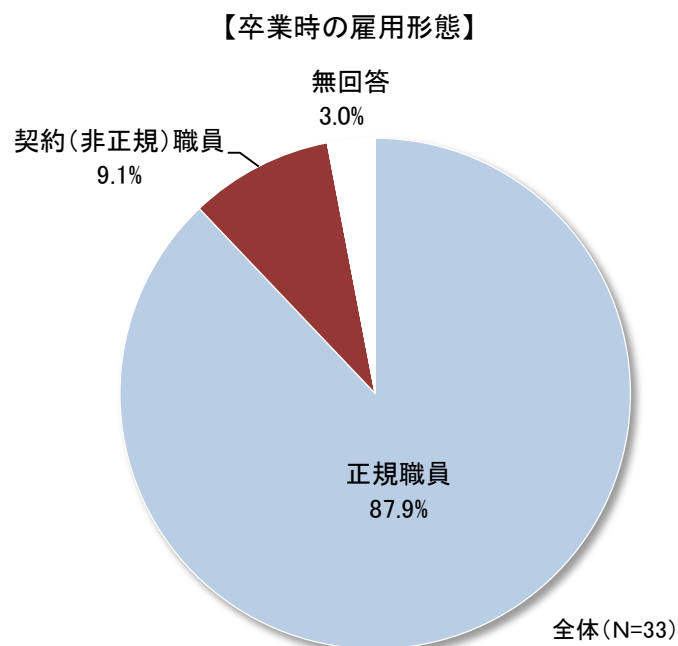


※回答のなかった項目は省略

問 雇用形態について教えてください。

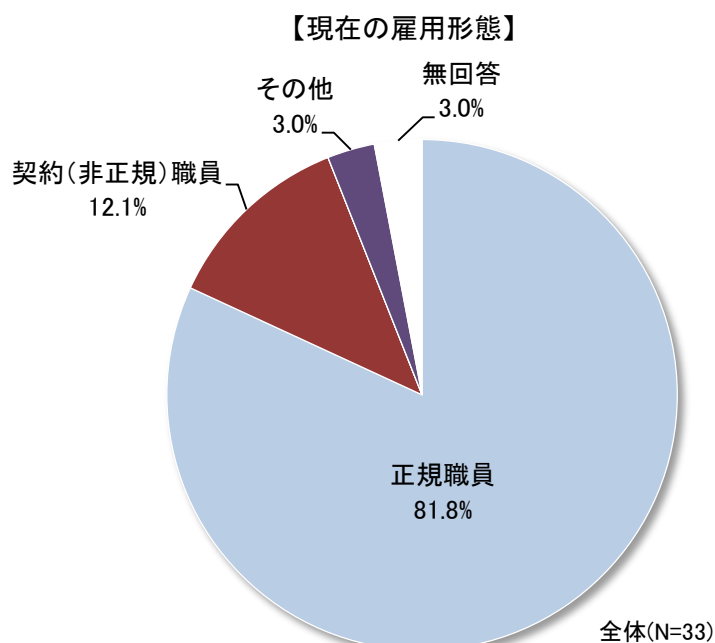
①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」(87.9%)が最も多く、「契約(非正規)職員」(9.1%)となっている。



②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

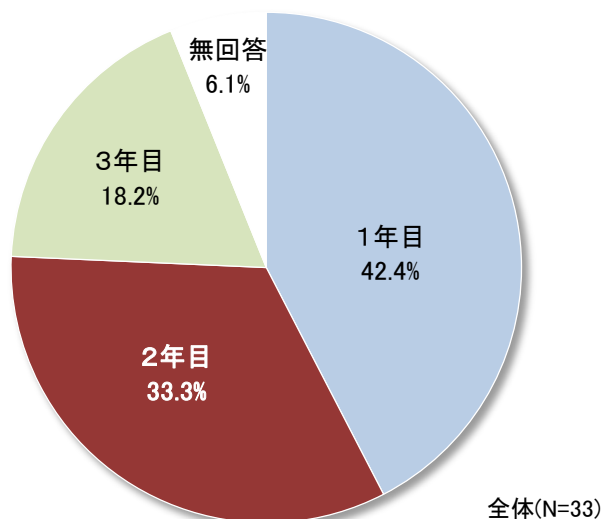
転職した人の現在の雇用形態は、「正規職員」(81.8%)、「契約(非正規)職員」(12.1%)、「その他」(3.0%)となっており、卒業時よりも「正規職員」の割合は減り、「契約(非正規)職員」、「その他」の割合が増えている。



問 転職された時期をご記入ください。

転職した時期は、入職後「1年目」(42.4%)が最も多く、次いで「2年目」(33.3%)、「3年目」(18.2%)となっている。

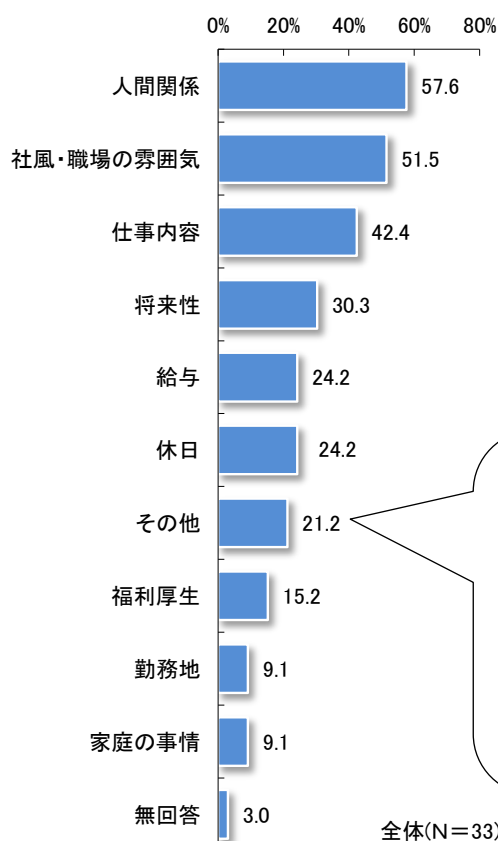
【転職した時期】



問 転職した理由に○をつけてください。

転職理由は、「人間関係」(57.6%)が最も多く、次いで「社風・職場の雰囲気」(51.5%)、「仕事内容」(42.4%)、「将来性」(30.3%)となっている。

【転職理由】

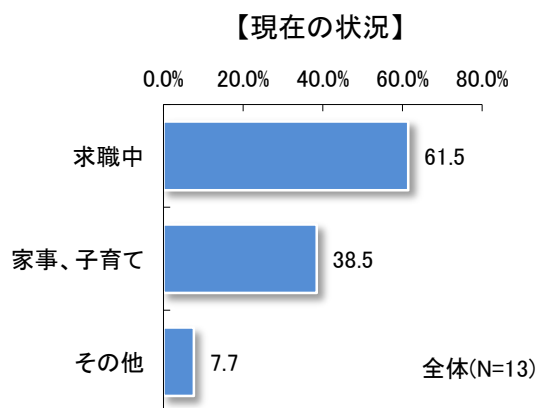


学科	「その他」の内容
福祉学科	資格を持っていた為
	契約終了
	教員採用試験に合格したため。
栄養学科	誘われたので
助産別科	結婚に伴う引越し
保育科	パワハラ、子どもへのパワハラ
	通勤方法

〔4〕 未就業の状況について

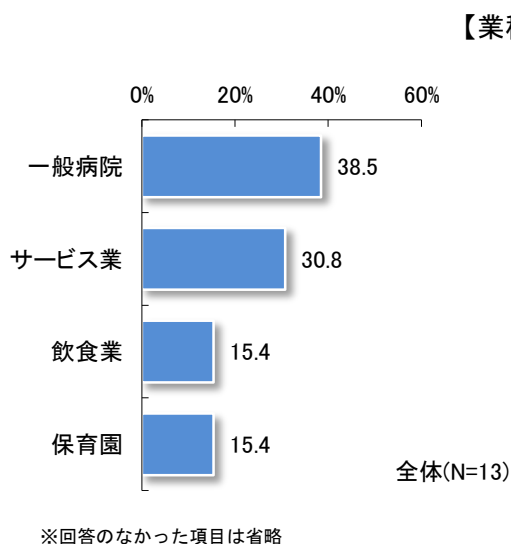
問 現在の状況に○をつけてください。

仕事をしていない人の現在の状況は、「求職中」(61.5%)、「家事、子育て」(38.5%)、「その他」(7.7%)となっている。



問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在仕事をしていない人の卒業時における勤務先の主たる業種は、「一般病院」(38.5%)、「サービス業」(30.8%)、「飲食業」、「保育園」(いずれも 15.4%)である。

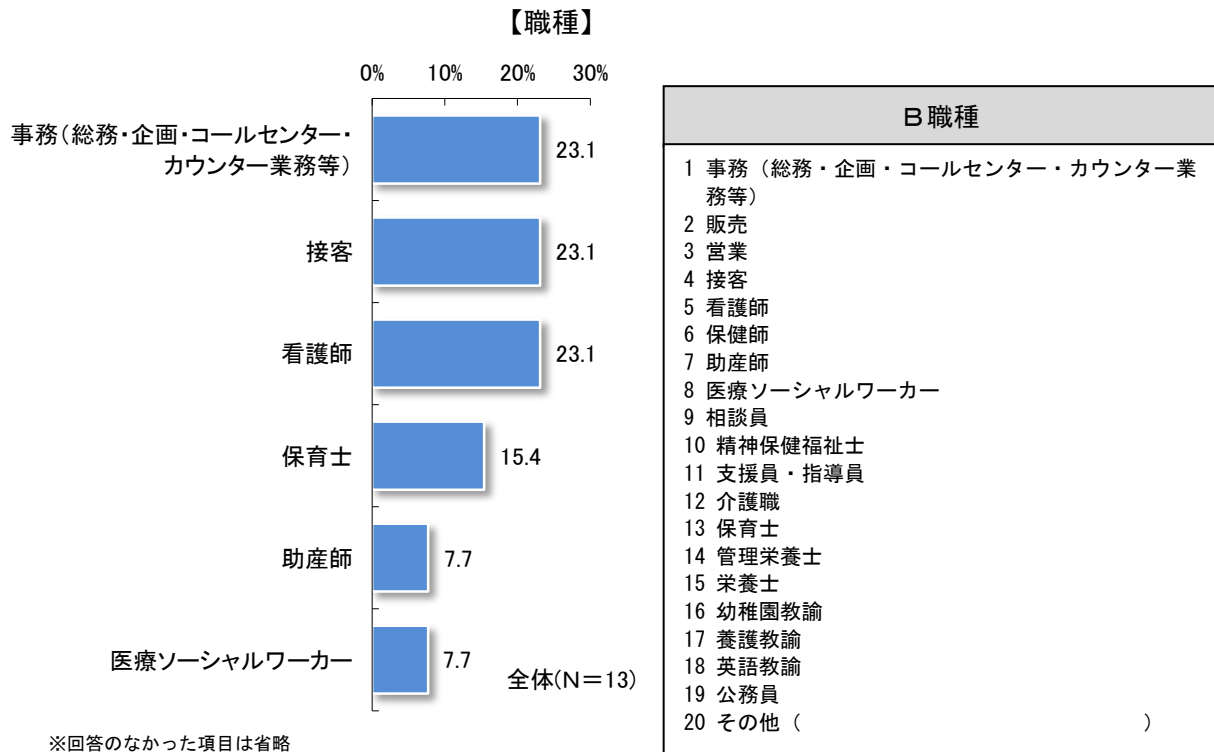


【業種・職種区分表】

A 業種	
1	農業
2	林業
3	漁業
4	鉱業、採石業、砂利採取業
5	建設業
6	製造業
7	電気・ガス・熱供給・水道業
8	情報通信業
9	運輸業
10	卸売・小売業
11	金融・保険業
12	不動産業、物品賃貸業
13	飲食業
14	宿泊業
15	一般病院
16	精神科病院
17	クリニック
18	高齢者施設
19	障がい児・者施設
20	児童施設
21	保育園
22	教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）
23	幼稚園
24	学習支援業
25	サービス業
26	公務
27	その他（ ）

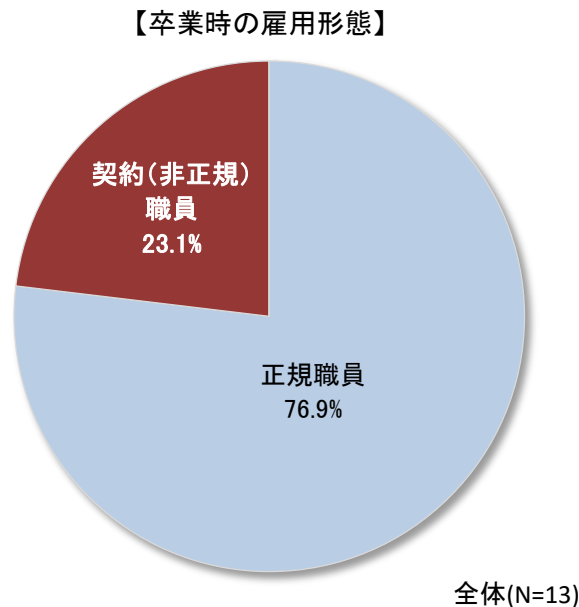
問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在仕事をしていない人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」、「接客」、「看護師」（いずれも 23.1%）が最も多い。



問 卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

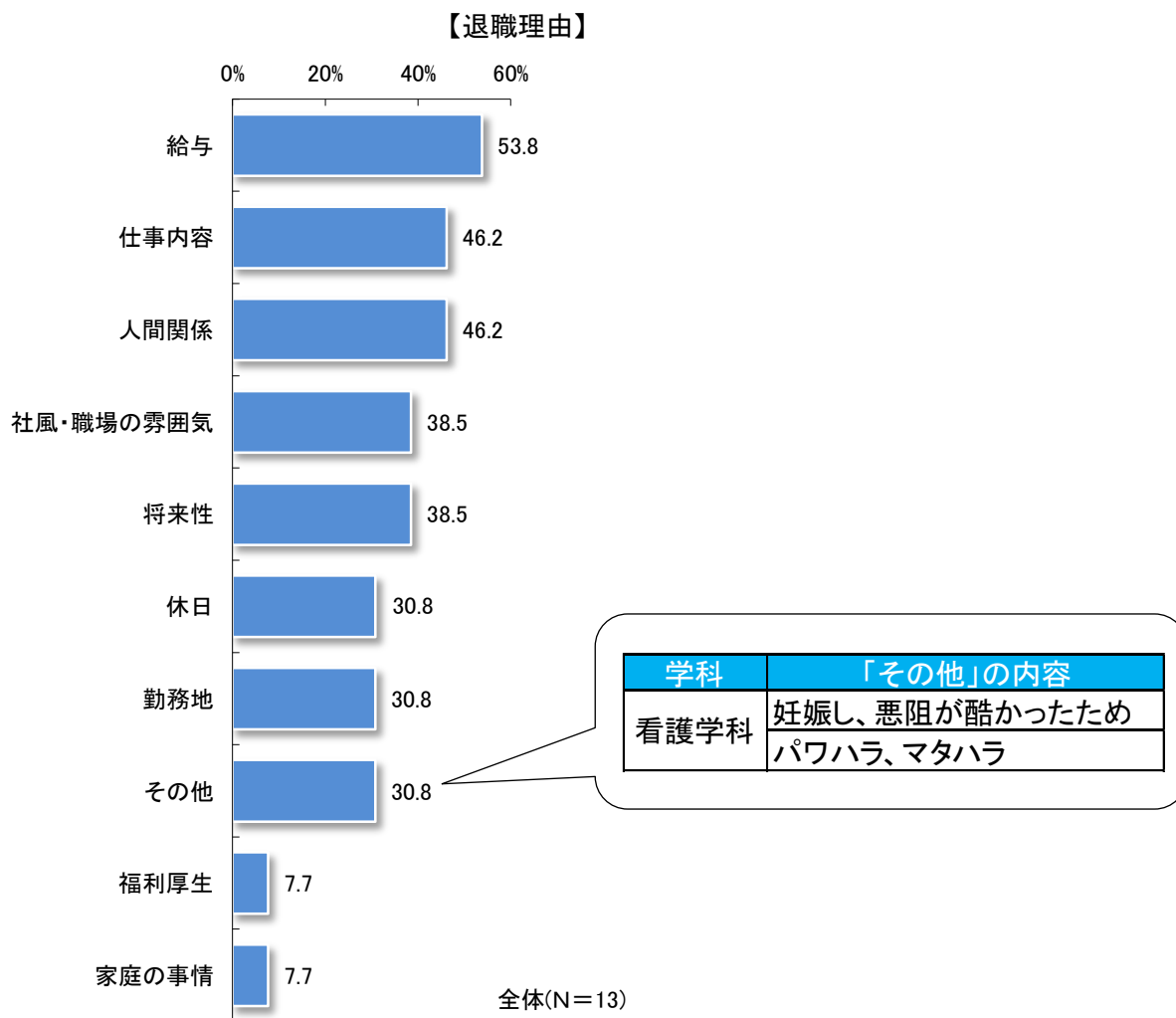
現在仕事をしていない人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」(76.9%)、「契約（非正規）職員」(23.1%)である。



問 退職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

現在仕事をしていない人の退職した理由は、「給与」(53.8%)、「仕事内容」、「人間関係」(46.2%)である。

また、「その他」では健康状態やハラスメントに係る理由が挙げられている。



※回答のなかった項目は省略

〔5〕仕事についての感想（自由意見）

問 仕事をする中で感じたこと（苦勞したことや成長したことなど）をご記入ください。

仕事についての感想を自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【成長したことについて】

（回答者数：99人/149人[66.4%]）

学科	自由回答
看護学科	患者さんや家族との対応、医師や他職種との連携において、コミュニケーションがよくとれるようになった。
	急変時対応ができるようになり、看護師としての幅が広がった。後輩ができて教える立場になり、看護師としても先輩としても自覚を持てた。
	出来る看護技術が増えたこと。
福祉学科	社会人の自覚を持って仕事できるようになってきた。
	自分に余裕ができた。
	3年目になり、グループリーダーを任せてもらえるまでになりました。
栄養学科	調理技術が向上しました。
	コミュニケーションを取る機会が増え、沢山の方と会話することができた。
	初めは、早番や遅番と勤務時間がバラバラで、今までとは生活リズムが大きく変わったため、慣れるまでに少し時間がかかりました。社会人になり、周囲の人とのコミュニケーションの取り方も学生の時とは違うと感じる部分も多く苦勞しましたが、今ではうまくやっていけるようになったと感じています。
	調理場での業務から、管理栄養士としての仕事、指導や患者管理などを1年もたたずにさせてもらうようになったこと。基本3年は現場と言われていたが、1年目の途中からできるようになり、とてもたいへんで、ついていくのがやっとであったが、管理栄養士としての仕事、資格をいかすことができています。
英語学科	覚えることがたくさんある。性格が合わない人はたくさんいるがその中でどう上手くやっていくかを考える力が身についた。
	忍耐強くなった。
	目標を設定することで自らを鼓舞しステップアップをこなすことができた。業務に責任を持ち、与えられたチャンスに積極的に取り組むことで達成感や自身の成長を感じることができた。同期や先輩方に相談したり、失敗をしてしまった時は反省とどこがいけなかったのかを確認することで次に繋げることができた。
	リーダーシップを取れるようになってきた。
観光文化学科	自分で考え行動することが多くなり、成長につながったと思っています。

保育科	色々な考えの人と関わるため、考え方・受け入れ方が柔軟になった。
	先輩方と働くことでスキルも少しずつ身に付いている。
	成長したこと ・子どもたちへの関わり方の対応力 ・製作や技法への知識 ・保護者への対応力
	年数を重ねる毎に余裕が出てきた。
	学年主任を任せてもらい、学年を見て他クラスとの状況を見ながら判断することが多くなり少しは成長したと思う。
	とりあえず3年頑張ってみて分かった事がある。長い時間をかけて誤解が解けたり、新たに信頼関係が芽生える事もあった。先輩の職員から様々なアドバイスも貰い、ここ最近頑張ってきてよかったと思えるようになった。未だに成長したとまでは言えないが、少しずつ変わってきていると思う。
	色々な先生の保育内容をまじかで体験でき自分も色々なことに挑戦してみたいと思えるようになった。

【嬉しかったこと、楽しかったことについて】

学科	自由回答
福祉学科	患者様やそのご家族様との関わりの中で、それぞれの意向が違った際に、うまく両者の意向を取り入れることができると、やりがいを感じます。
	大変な行事を終えた後、子どもたちや保護者の方から感謝された時にやりがいを感じるようになりました。
	子ども一人一人と真剣に向き合ってきた結果、そして、子どもの人生そのものに関わる仕事のやりがいを感じています。
英語学科	日々の教材研究など大変な面もたくさんあるが、それ以上にやりがいがある仕事だと感じた。
保育科	子ども達の成長を近くで見れること。
	感じたこと ・子どもたちが可愛いこと ・子どもたちの成長を保護者の方々と一緒に見守れる喜びが大きいこと ・就職すれば実習の時ほど苦ではないこと ・毎日が楽しいこと

【仕事に必要なこと、大切なことについて】

学科	自由回答
看護学科	座学で学んだことを実際に看護で行う時、教科書で学ぶようには、いかず、その場で臨機応変に考え、行動することの難しさと大切さを感じた。
	看護師としてのアセスメント能力、現場での対応力の大切さを感じた。自分自身を追い込みすぎると、心身ともにいっぱいになるので、誰かに相談すること、自分を少しは甘やかしてあげることも必要であることが分かった。

福祉学科	実習で現場に出て経験したことがすごく大切で良い体験だったと感じる。
	国家資格を持っているだけでは意味がなく、経験を積んでいくことが一番大切。
	自分で気づいて、すばやく行動することが大切であると感じました。
栄養学科	学生のうちから食材の特徴や様々な調理法をもっと学んでおくべきだと思いました。(献立作成、調理スタッフの作業のしやすさなどを考えるため)
	仕事をやる上でモチベーションを保つ事の大切さを学びました。ただ仕事をやるだけだと精神的に辛く、毎回仕事する上で自分の中でノルマを決めてそれをこなしていくことが自分の成長に繋がると感じました。
英語学科	意欲的に学ぶことと積極的にチャレンジすることが一番大切だと感じた。
観光文化学科	物事を考える力がとても重要だ、と感じました。相手(会社の方、お客様)が何を伝えようとしているのか、自分は何を伝えたいのか、などは考える力がないとできません。コミュニケーションをとる上で必要な力だと感じました。
	社会に出て、改めてコミュニケーション能力が大事だなと感じました。
保育科	周りを見て行動することなど、その場その場で臨機応変に対応していく力が大切だと感じた。

【苦勞したことについて】

学科	自由回答
看護学科	疾患や病態に関する知識・技術の獲得はもちろんですが、人の命と直接関わる医療の場で、どのような倫理感を持って患者さんと接するべきか、いつも考えさせられ、苦悩しています。
	人の気持ちに寄り添うことの難しさを感じた。
	若手のやることなすこと、全て否定される。のびのびと仕事することができない。業務に追われ患者と密に関わることが出来ない。看護師なのに、薬剤師や栄養士の仕事までしている。日勤なのに0時超えるまで仕事、それでも残業代は出ないし、申請したら「なぜ終わらないのか」と怒られる。とにかく異様な中仕事をさせられている感が圧倒的に強い。
	疾患の勉強やアセスメントも大変でしたが業務を覚えることが最初は一番大変でした。
福祉学科	患者さん主体で支援を組み立てること。しっかりアセスメントして、生活・経済・就労・対人面の困り事にどう介入していくか、見通しを立てる難しさを感じています。
	先輩方との関わり。言われたこと以上のことを求められることがあたりまえになって、転職先ではとてもたすかった。
	・勤務年数の長い女性が職場に多く、いじめられ病むことがあった。 ・大企業であれ中小企業であれ、即戦力が求められているようで、手厚い教育は望めない。業務量が多いのに圧倒的に人員が足りていないと感じる。力量以上のことやスピードが常に求められストレスがたまる。現在障害者雇用だが、実際実務現場で配慮がないと感じてしまうこともある。しっかり伝える機会がないわけではなく話すことで配慮、理解してくれようとする人もいるが、実際は全て1人で発信し、理解してもらえるよう努めていかなければならないと感じ、落ちこんだり、悲しくなることもある。同じような立場の人と悩みを共有したり、気軽に行ける支援の場があれば良いと思った。

福祉学科	多職種の方向性が違う際に取りまとめること。
	人間関係。
	患者様やそのご家族様との関わりの中で、それぞれの意向が違った際に、希望のすり合わせをして双方が納得していただけるよう話を進めていくことに難しさを感じました。
	上司に対する報連相に悩みました。
	社内と社外での電話対応の違いに苦労しました。
	人間関係の難しさ。
	一人職であること。
	拘束時間が長い、また人員不足で十分に休憩時間がとれない。
	日々、計画を立てながら、優先順位をつけて仕事していくことが難しく、苦労しています。
	養護教諭初日から、養護教諭としての対応を求められる。(当たり前ですが…) 一人職であるため、仕事の質問や相談をする人が校内にいない。
栄養学科	知識不足を感じた。
	人間関係を築くことに苦労したが、現在は仲の良い人も職場にいるので頑張ってよかったと思います。大学で学んだことが仕事でも大変役に立っているのも、先生方に感謝でいっぱいです。
英語学科	人間関係の難しさ。
	コロナ自粛時、お店の休業で2ヶ月自宅待機となり、給料が普段の半分ほどになってしまった。今年は賞与もありませんでした。
	仕事にかかわるので詳しいことが言えず、抽象的な内容になります。申し訳ございません。新卒の頃は自分の短所を素直に受け入れられず、周りとはどんどん差がついていきました。営業なので数字でハッキリ毎日思い知らされました。でも、諦めずに日々行動し、先輩、上司の言うことを聞き、短所を改善していったところ、全国で下から数えた方が早かった成績も上から数えた方が早くなり、もうすぐ同期内でも最速昇格できそうです。見捨てずに諦めずに育ててくださった職場の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。
	仕事に慣れるまでにはたくさんの知識を詰め込まなければならなかったためその点は苦労した。
	英語学科からの保育士だったので仕事内容に慣れなかったこと。
	社会人になってから学ぶことが多く、学生のように制限がない。
	人間関係。
	自分の考えを表現し、相手へ伝えること理解してもらうことは、本当に難しいなと感じます。
観光文化学科	人それぞれに合わせたコミュニケーション方法を見出す事が大変だ。
	休みが月6日ほど、有給もらえない、その割に給与が見合っていない。

助産別科	パワハラの精神的ストレスでまともな業務ができない状態になった。
	机上と臨床のギャップ。
	夜勤が辛い。
保育科	研修がなかった為、流れがつかめず、最初は苦労した。
	女性職なので、人間関係でよくなやみました。(職場恋愛のイザコザにまきこまれたこともありました。)
	人間関係が想像以上に大変だった。
	苦労したこと ・幼稚園のこと(年間行事、幼稚園の決まりごと)等を覚えること ・色々な問題に直面したこと
	自分の小さなミスであっても何百万円もの損失を出してしまう可能性も秘めているので、多少のプレッシャーは感じることはある。
	保護者対応に苦労した。
	保育士と違ってノルマがかなりあってそれにとっても苦労している。
	保護者対応、職場の人間関係、書類。
	クラスに知的障害の子や発達に遅れがある子を見的过程中で自分で新たに勉強したりどういう支援があっているかなど他の機関にも勉強をさせてもらいながらやった。1人担任制なので全員を見ながらだったので大変だった。
	保育者同士の声の掛け合いの仕方。 子どもへの声掛けのしかた。
	・大学での講義だけでは、保育者にはなれない。現場での経験を積まなければならない。 ・いまの自分を踏まえ、もう一度学び直せたらどれだけ豊かな保育者になれるだろう……と思う。 ・大学で得た知識のほとんどを忘れてるように思う。 ・現場に出て保育力をつけていったように感じている。 ・しかし、いま自分が持っている『保育観』は、大学時代に培われた側面が大きく、現場に出た後も揺るがない。 ・心身ともにかなり疲れを感じている。(今年度は年長) ・しかし、子どもたちと楽しく暮らしています。
	アイディアや考え方が広がった。同時に社会に出たことで年齢の離れた職員とのペアもあり人間関係において困難なこともあれば、助かることもあった。周りから助けられて精神的にも安定してきてはいるが、初めの頃はストレスによる体調不良が続き、仕事がうまくいっている様には感じられなかった。残業や持ち帰り仕事も多く、徹夜の日々が続く中十分な給料を貰えていない。パワハラに相当する事も多々あり、退職したい旨も伝えたことがある。結果やめさせてはくれなかった。楽しい時ももちろんあるが、それよりも辛い悲しい感情の方が強かった。細かいところで保育に対する向き合い方が違うこともあり、私にとってあまりいい職場とは思えなかった。
	人間関係。
	主担任の大変さ。子どもと一緒に成長中。

【学べたことについて】

看護学科	1つの場所で上手いかわなくても、転職して場所を変えると自分が楽しく成長できる仕事ができるようになることがわかった。
福祉学科	職場の方針や雰囲気、上司によって働きやすさがこんなにも違うんだと感じた。
	大学でいっぱい勉強していても実際の現場ではまだまだ知識がいるなと思うことの方が多い。子ども達一人一人のことを思って支援していく理想的なこととはできないけど思いは誰よりも強く子ども達と向き合っていれば子どもとの心は通いあえると学んだ。
	社会人として必要な知識を学べた、また経験が出来た。
栄養学科	人間関係はものすごく大事だけど、いざ就職してみるまではどんな人達が働いているのか分からないので結局運だなと思いました。
	年上の方との接し方を学んだ。
	上司の性格次第。
英語学科	バイトの経験は役に立つこと。
	社会人との関わり方と時間の使い方。
	もっと英語を活かせる仕事でも楽しかったかも。
	思っていたより知らない社会人としての常識が多くあったこと。
観光文化学科	社会人としての常識を学べた。
生活創造学科	相手の立場になって考えること。
保育科	学生の時に作り物を何年も使えるものをたくさん作っておけばよかった。
	愛情を注ぐと反抗はするけどしっかりついてきてくれる事です。
	子どもの目線に立って、子どもに寄り添ってということの意味の深さや大切さを改めて感じた。日々保育をする中で自分自身が大切にしていきたいこと、子どもたちに伝えていきたいことが見えてきたが、まだまだ子どもたちから学ぶことばかりだと感じる。

〔6〕大学・短大で受けた教育について

① 達成度と必要性（全体）

問 ①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。
その他を選択した場合は、（ ）内に具体的内容をご記入ください。

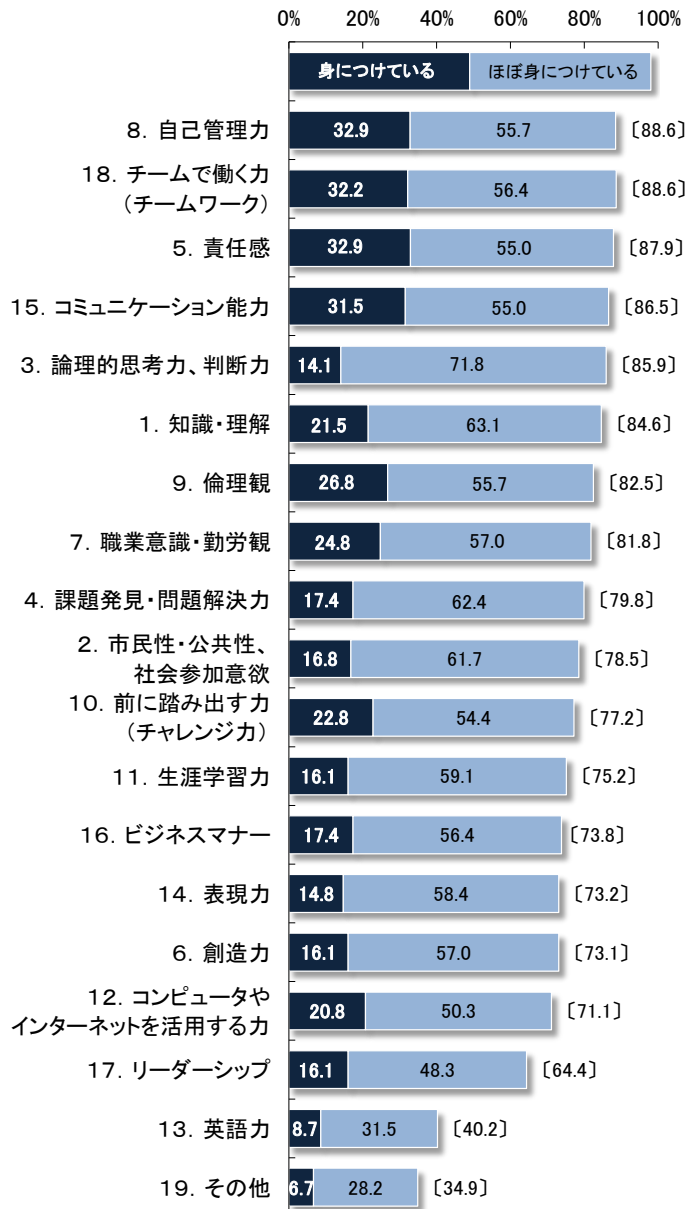
西南女学院大学で得た力やスキルを『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価する人の割合をみると、「8. 自己管理能力」、「18. チームで働く力（チームワーク）」（いずれも 88.6%）が最も多くなっている。また、これに次いで「5. 責任感」（87.9%）、「15. コミュニケーション能力」（86.5%）、「3. 論理的思考力、判断力」（85.9%）が 85%を超えている。

現在の仕事において必要な力やスキルが『役に立つ』（役に立つ＋やや役に立つ）と評価する人の割合をみると、「18. チームで働く力（チームワーク）」（93.3%）が最も多くなっている。また、これに次いで「3. 論理的思考力、判断力」（92.0%）、「5. 責任感」、「7. 職業意識・勤労観」（いずれも 91.9%）、「15. コミュニケーション能力」（91.3%）、「8. 自己管理能力」、「16. ビジネスマナー」（いずれも 90.6%）が 90%を超えている。

【達成度と必要性】

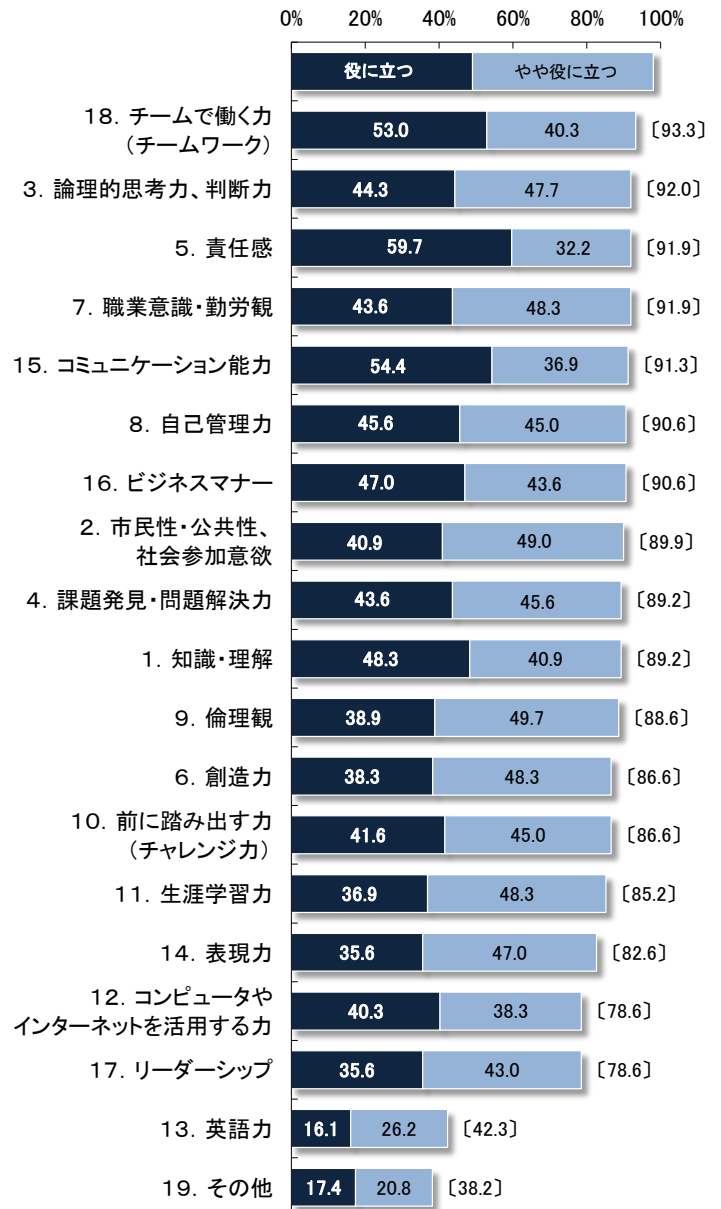
達成度

西南女学院大学で得た力やスキル
(各項目とも N=149)



必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目とも N=149)



注1) 達成度の選択肢は「身につけている」、「ほぼ身につけている」、「あまり身につけていない」、「身につけていない」の4段階。

注2) 達成度の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

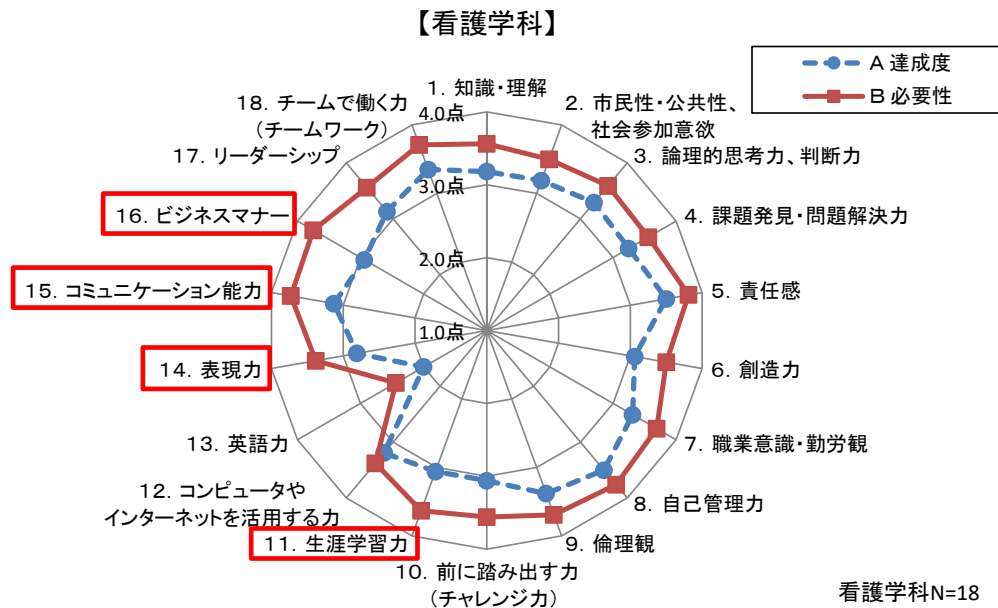
注3) 必要性の選択肢は「役に立つ」、「やや役に立つ」、「あまり役に立たない」、「役に立たない」の4段階。

注4) 必要性の〔 〕は「役に立つ」+「やや役に立つ」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

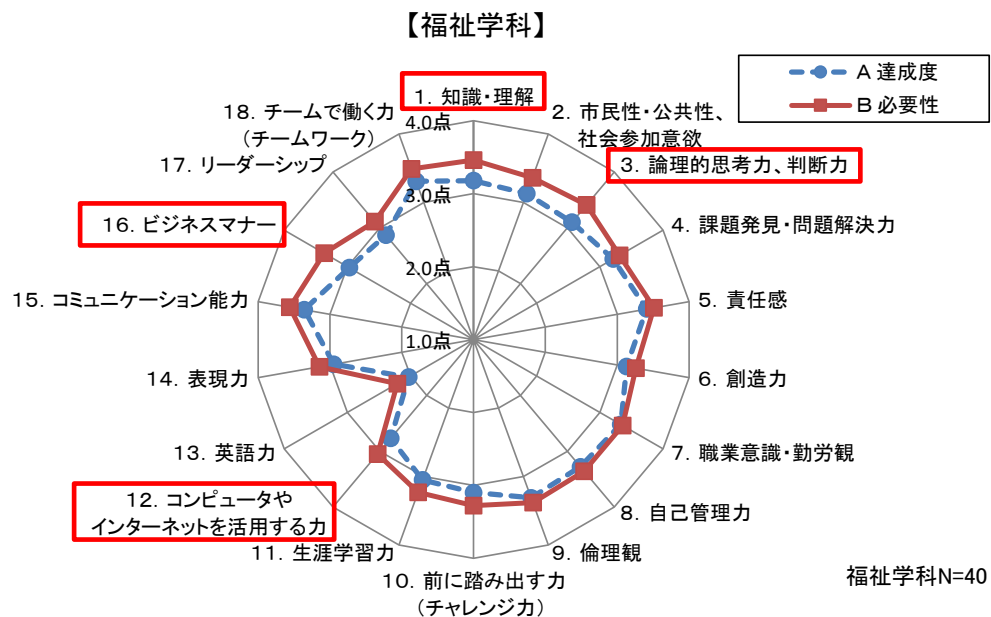
② 達成度と必要性（学科別）

達成度と必要性について、「身につけている」、「役に立つ」=4点、「ほぼ身につけている」、「やや役に立つ」=3点、「あまり身につけていない」、「あまり役に立たない」=2点、「身につけていない」、「役に立たない」=1点として配点し、達成度と必要性の各項目の平均点を算出した。達成度と必要性を比較し、各学科に必要な能力がどの程度達成されているのか、確認を行った。達成度と必要性の差が大きい上位3項目には枠を付けている。

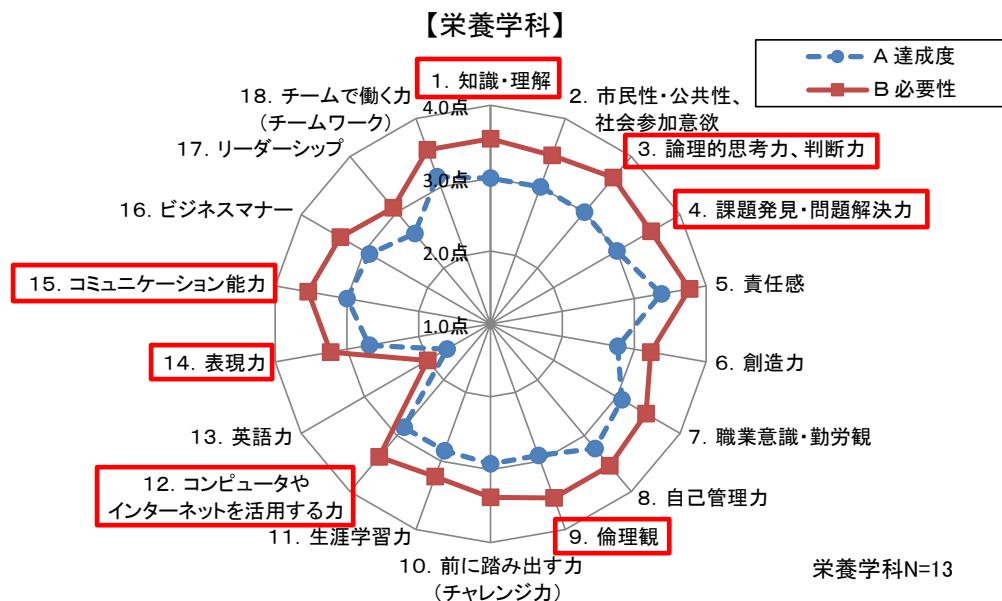
看護学科では、「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも0.81ポイント高く、次いで「15. コミュニケーション能力」で0.60ポイント、「11. 生涯学習力」、「14. 表現力」で0.57ポイント高くなっている。看護学科は、すべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。



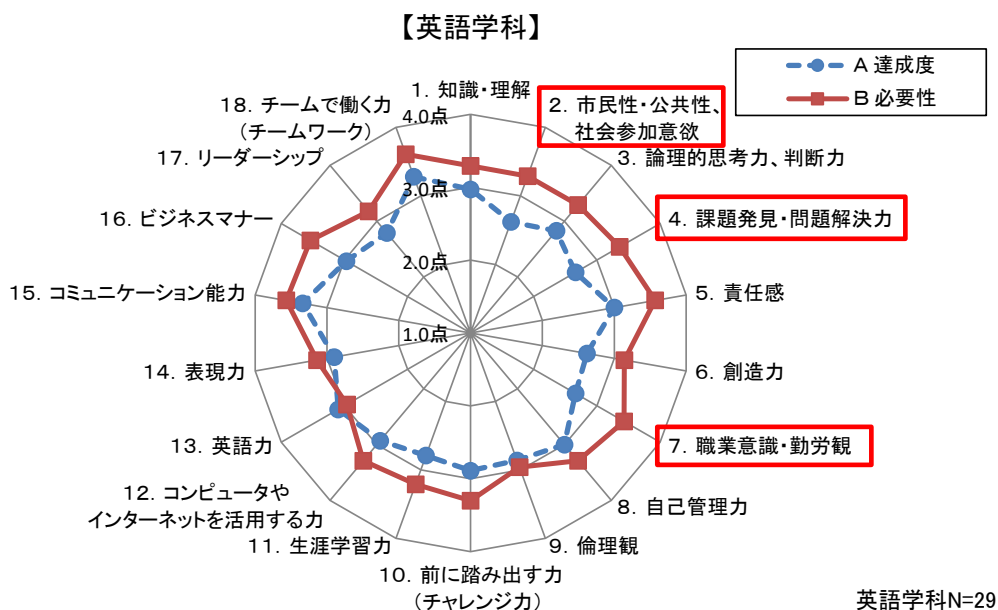
福祉学科では、「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも0.40ポイント高く、次いで「3. 論理的思考力、判断力」が0.31ポイント、「1. 知識・理解」、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」が0.28ポイント高くなっている。



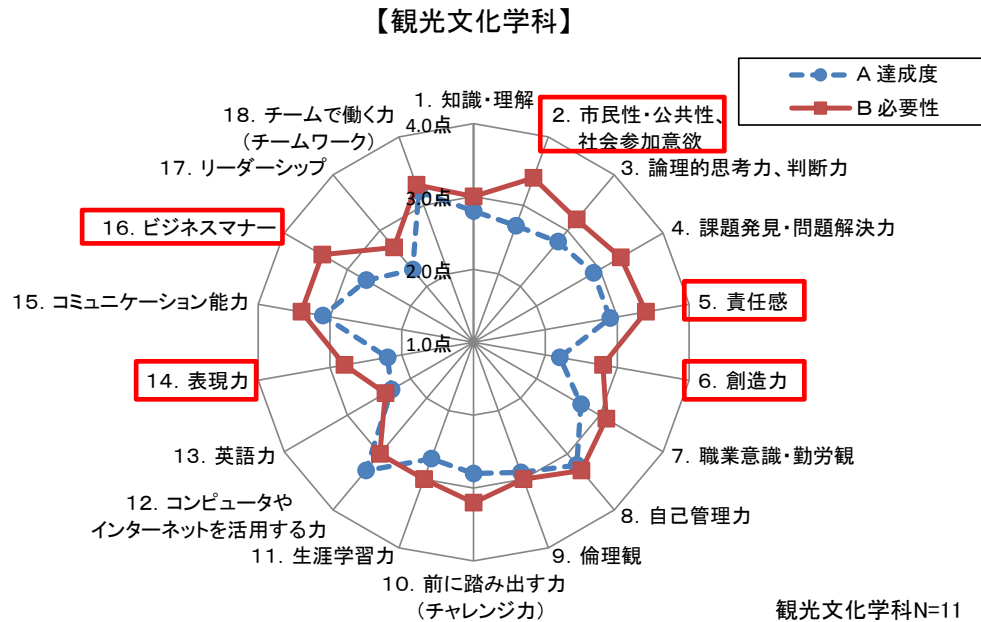
栄養学科では、「3. 論理的思考力、判断力」、「9. 倫理観」の必要性が達成度よりも0.62ポイント高く、次いで「1. 知識・理解」、「4. 課題発見・問題解決力」、「14. 表現力」、「15. コミュニケーション能力」が0.54ポイント、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」が0.53ポイント高くなっている。



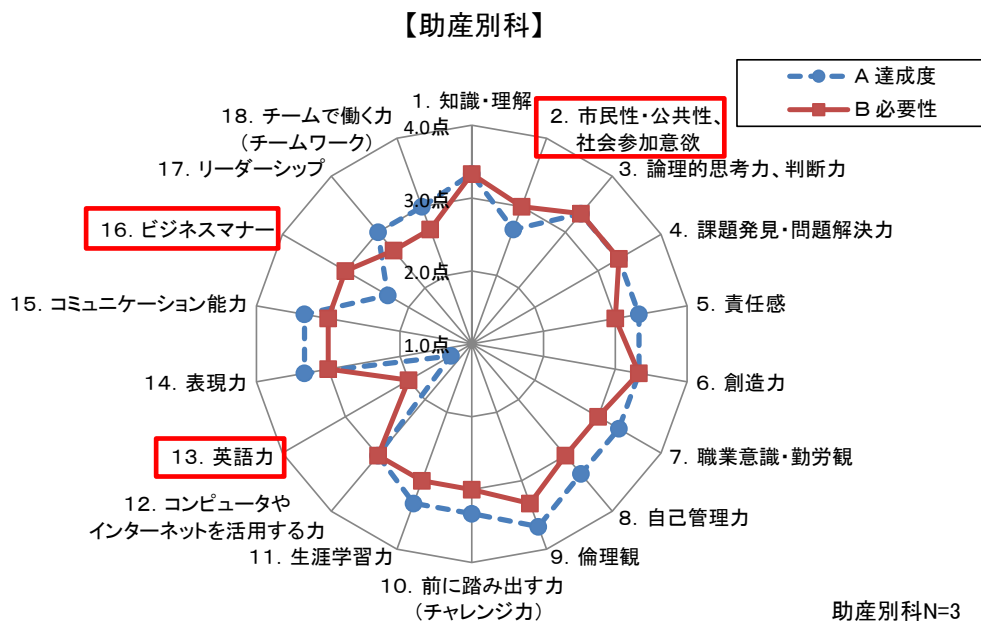
英語学科では、「7. 職業意識・勤労観」の必要性が達成度よりも0.77ポイント高く、次いで「4. 課題発見・問題解決力」が0.70ポイント、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」が0.67ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性より0.14ポイント高く、求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。



観光文化学科では、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも 0.70 ポイント高く、次いで「6. 創造力」、「14. 表現力」が 0.60 ポイント、「5. 責任感」が 0.50 ポイント高くなっている。一方で「12. コンピュータやインターネットを活用する力」の達成度は必要性より 0.30 ポイント高くなっている。

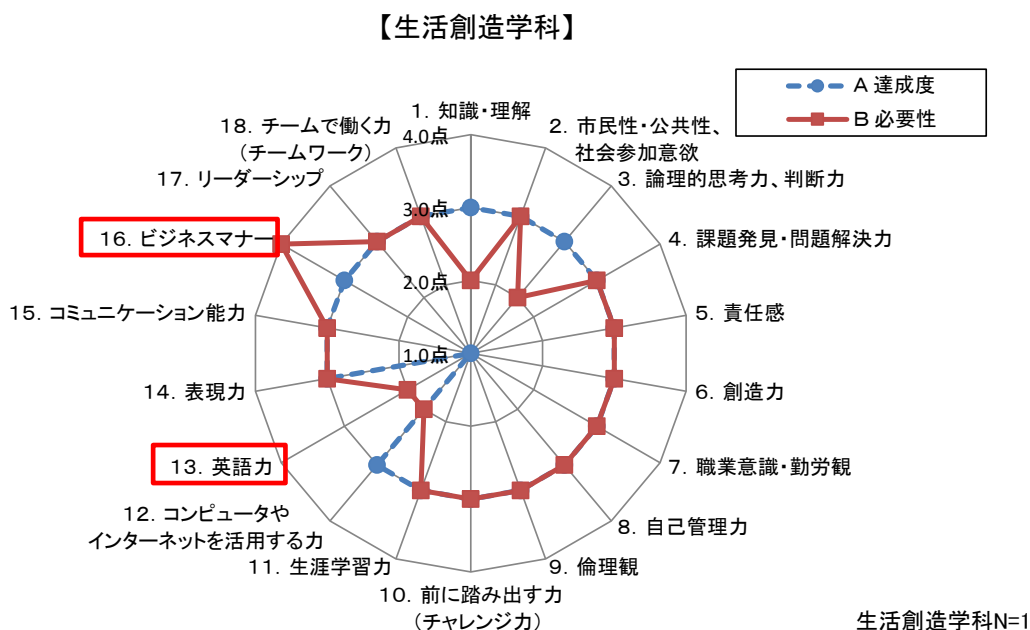


助産別科では、「13. 英語力」、「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも 0.67 ポイント高く、次いで「2. 市民性・公共性、社会参加意識」が 0.33 ポイント高く、「1. 知識・理解」、「3. 論理的思考力、判断力」、「4. 課題発見・問題解決力」、「6. 創造力」、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」は達成度と必要性のポイントに差はない。一方、それ以外の項目は達成度が必要性より 0.33～0.34 ポイント高い結果となっている。

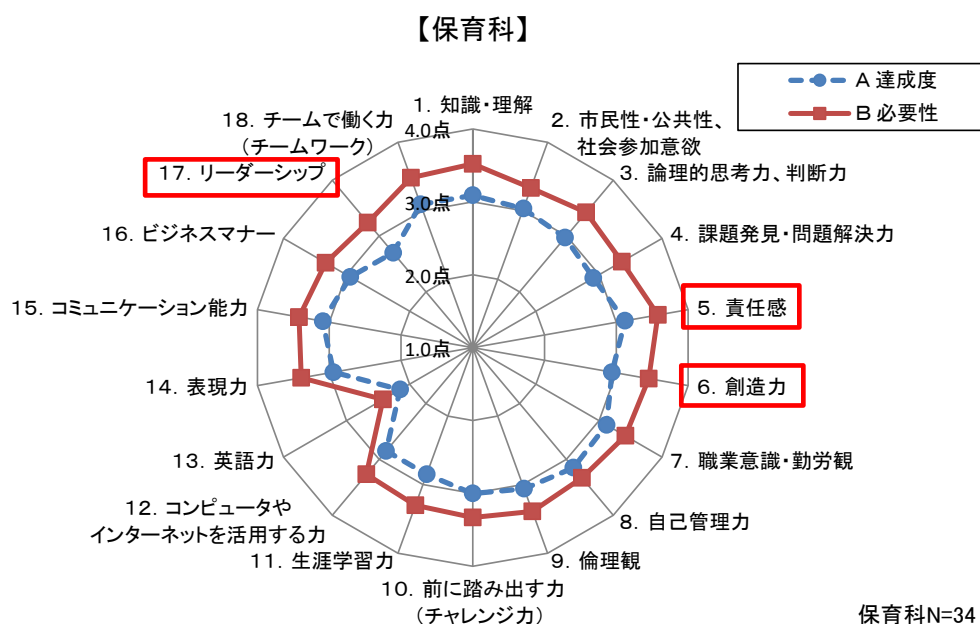


第1章 卒業生アンケート

生活創造学科では、回答が少数のため、傾向をみる程度となる。「13. 英語力」、「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも1.00ポイント高くなっている。一方、達成度の方が必要性よりも高いのは「1. 知識・理解」、「3. 論理的思考力、判断力」、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」で1.00ポイント高くなっており、それ以外の項目は達成度と必要性のポイントに差はない。



保育科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも0.54ポイント高く、次いで「6. 創造力」が0.51ポイント、「5. 責任感」が0.46ポイント高くなっている。保育科は、すべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。



③ 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）

能力やスキルを身につけるために役立ったことは、多くの項目について「大学での講義」が役立っていると回答している人が多いが、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「15. コミュニケーション能力」、「18. チームで働く力（チームワーク）」については「研究室、ゼミ活動」が役に立ったと回答した人が多く、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「5. 責任感」、「7. 職業意識・勤労観」などでは「実習、インターンシップ」が役に立ったと回答した人が多い。

【能力やスキルを身につけるために役立ったこと】（％）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解	149	76.5	40.9	6.7	43.6	2.0	4.7	12.1	2.7	3.4	18.1	6.7
2. 市民性・公共性、社会参加意欲	149	39.6	40.3	6.7	40.3	0.7	14.1	22.8	0.7	12.1	8.7	10.1
3. 論理的思考力、判断力	149	64.4	41.6	3.4	37.6	－	3.4	14.1	0.7	2.7	9.4	10.1
4. 課題発見・問題解決力	149	63.1	40.3	3.4	43.0	0.7	4.0	16.1	1.3	3.4	10.1	11.4
5. 責任感	149	40.3	36.2	5.4	47.0	0.7	13.4	29.5	－	5.4	12.8	10.7
6. 創造力	149	51.7	44.3	2.7	29.5	2.7	8.1	10.7	2.7	4.7	7.4	13.4
7. 職業意識・勤労観	149	43.0	32.9	7.4	44.3	－	3.4	25.5	0.7	2.7	17.4	10.1
8. 自己管理能力	149	51.0	36.9	7.4	35.6	2.0	7.4	23.5	2.0	0.7	10.1	10.1
9. 倫理観	149	55.7	31.5	4.7	32.2	0.7	4.7	16.1	0.7	4.7	10.1	14.1
10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）	149	42.3	39.6	4.0	38.9	4.0	8.1	20.1	2.0	7.4	12.1	11.4
11. 生涯学習力	149	53.7	34.2	7.4	28.2	1.3	4.7	12.8	3.4	4.0	10.1	14.1
12. コンピュータやインターネットを活用する力	149	73.8	26.2	5.4	12.1	－	－	2.7	4.0	0.7	6.0	12.1
13. 英語力	149	63.1	19.5	3.4	7.4	4.7	1.3	2.7	2.7	1.3	3.4	17.4
14. 表現力	149	60.4	49.0	4.0	34.2	2.7	6.7	8.7	2.0	2.0	12.1	12.8
15. コミュニケーション能力	149	45.0	47.0	6.7	43.6	4.7	18.8	30.9	1.3	6.7	15.4	12.1
16. ビジネスマナー	149	50.3	26.2	12.8	41.6	－	6.0	24.8	1.3	3.4	17.4	11.4
17. リーダーシップ	149	44.3	39.6	5.4	31.5	－	10.7	16.8	1.3	5.4	7.4	14.8
18. チームで働く力（チームワーク）	149	49.0	52.3	6.7	43.6	0.7	17.4	28.2	1.3	6.0	14.8	10.1
19. その他	149	20.8	8.1	2.7	10.1	0.7	2.7	4.0	1.3	0.7	4.7	67.1

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（１～４）】（％）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解												
全体	149	76.5	40.9	6.7	43.6	2.0	4.7	12.1	2.7	3.4	18.1	6.7
看護学科	18	94.4	33.3	5.6	88.9	-	-	5.6	-	-	27.8	5.6
福祉学科	40	75.0	45.0	2.5	57.5	-	10.0	17.5	5.0	7.5	20.0	12.5
栄養学科	13	92.3	46.2	7.7	46.2	-	7.7	7.7	7.7	-	-	-
英語学科	29	69.0	44.8	10.3	13.8	10.3	-	13.8	3.4	3.4	17.2	3.4
観光文化学科	11	63.6	45.5	18.2	9.1	-	9.1	18.2	-	-	18.2	9.1
助産別科	3	66.7	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	73.5	38.2	5.9	38.2	-	2.9	8.8	-	2.9	20.6	2.9
2. 市民性・公共性、社会参加意欲												
全体	149	39.6	40.3	6.7	40.3	0.7	14.1	22.8	0.7	12.1	8.7	10.1
看護学科	18	44.4	38.9	11.1	50.0	-	22.2	38.9	-	22.2	5.6	11.1
福祉学科	40	45.0	40.0	5.0	45.0	-	17.5	25.0	-	10.0	12.5	12.5
栄養学科	13	69.2	61.5	-	46.2	-	23.1	15.4	-	7.7	-	-
英語学科	29	31.0	31.0	10.3	31.0	3.4	6.9	24.1	3.4	17.2	6.9	13.8
観光文化学科	11	18.2	54.5	18.2	27.3	-	9.1	27.3	-	18.2	9.1	18.2
助産別科	3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	32.4	41.2	2.9	41.2	-	11.8	14.7	-	5.9	11.8	2.9
3. 論理的思考力、判断力												
全体	149	64.4	41.6	3.4	37.6	-	3.4	14.1	0.7	2.7	9.4	10.1
看護学科	18	94.4	55.6	5.6	77.8	-	5.6	11.1	-	5.6	16.7	5.6
福祉学科	40	57.5	40.0	2.5	50.0	-	5.0	15.0	2.5	2.5	12.5	15.0
栄養学科	13	76.9	46.2	-	23.1	-	7.7	15.4	-	-	-	-
英語学科	29	55.2	37.9	3.4	20.7	-	-	13.8	-	3.4	3.4	13.8
観光文化学科	11	54.5	63.6	18.2	-	-	-	27.3	-	-	-	18.2
助産別科	3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	61.8	32.4	-	35.3	-	2.9	11.8	-	2.9	14.7	2.9
4. 課題発見・問題解決力												
全体	149	63.1	40.3	3.4	43.0	0.7	4.0	16.1	1.3	3.4	10.1	11.4
看護学科	18	83.3	66.7	5.6	72.2	-	-	5.6	-	-	16.7	11.1
福祉学科	40	62.5	42.5	-	50.0	-	2.5	25.0	2.5	5.0	10.0	17.5
栄養学科	13	76.9	38.5	-	46.2	-	15.4	30.8	-	-	-	-
英語学科	29	37.9	34.5	3.4	27.6	3.4	-	13.8	3.4	3.4	6.9	13.8
観光文化学科	11	45.5	72.7	18.2	9.1	-	-	18.2	-	-	9.1	18.2
助産別科	3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	73.5	20.6	2.9	44.1	-	8.8	8.8	-	5.9	14.7	2.9

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（５～８）】（％）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
5. 責任感												
全 体	149	40.3	36.2	5.4	47.0	0.7	13.4	29.5	-	5.4	12.8	10.7
看護学科	18	44.4	33.3	5.6	83.3	-	-	38.9	-	5.6	11.1	11.1
福祉学科	40	40.0	37.5	7.5	45.0	-	17.5	32.5	-	7.5	15.0	15.0
栄養学科	13	61.5	46.2	-	53.8	-	23.1	38.5	-	-	7.7	-
英語学科	29	34.5	20.7	3.4	24.1	3.4	13.8	31.0	-	10.3	6.9	13.8
観光文化学科	11	27.3	36.4	18.2	36.4	-	9.1	45.5	-	-	9.1	18.2
助産別科	3	33.3	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	38.2	50.0	2.9	50.0	-	14.7	14.7	-	2.9	20.6	2.9
6. 創造力												
全 体	149	51.7	44.3	2.7	29.5	2.7	8.1	10.7	2.7	4.7	7.4	13.4
看護学科	18	44.4	66.7	5.6	61.1	-	5.6	11.1	-	5.6	11.1	16.7
福祉学科	40	50.0	35.0	2.5	40.0	-	10.0	12.5	5.0	5.0	7.5	22.5
栄養学科	13	84.6	38.5	7.7	30.8	-	23.1	23.1	-	-	-	-
英語学科	29	37.9	37.9	3.4	10.3	10.3	6.9	13.8	3.4	6.9	3.4	13.8
観光文化学科	11	36.4	54.5	-	-	9.1	9.1	9.1	-	9.1	-	18.2
助産別科	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	58.8	52.9	-	29.4	-	2.9	2.9	2.9	2.9	14.7	2.9
7. 職業意識・労働観												
全 体	149	43.0	32.9	7.4	44.3	-	3.4	25.5	0.7	2.7	17.4	10.1
看護学科	18	44.4	50.0	11.1	72.2	-	5.6	22.2	-	-	27.8	11.1
福祉学科	40	42.5	40.0	5.0	45.0	-	5.0	30.0	-	5.0	17.5	12.5
栄養学科	13	69.2	46.2	7.7	46.2	-	-	15.4	7.7	-	7.7	-
英語学科	29	20.7	17.2	10.3	41.4	-	-	27.6	-	3.4	17.2	13.8
観光文化学科	11	27.3	36.4	18.2	18.2	-	-	54.5	-	-	9.1	18.2
助産別科	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	52.9	26.5	2.9	44.1	-	5.9	17.6	-	2.9	20.6	2.9
8. 自己管理能力												
全 体	149	51.0	36.9	7.4	35.6	2.0	7.4	23.5	2.0	0.7	10.1	10.1
看護学科	18	55.6	44.4	5.6	77.8	-	-	22.2	-	-	11.1	11.1
福祉学科	40	42.5	45.0	7.5	37.5	-	12.5	32.5	5.0	-	12.5	15.0
栄養学科	13	76.9	46.2	-	30.8	-	7.7	23.1	-	-	-	-
英語学科	29	44.8	41.4	10.3	20.7	6.9	-	13.8	-	-	6.9	13.8
観光文化学科	11	54.5	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	45.5	-	-	9.1	9.1
助産別科	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	50.0	29.4	5.9	38.2	-	11.8	17.6	2.9	2.9	14.7	2.9

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（9～12）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
9. 倫理観												
全体	149	55.7	31.5	4.7	32.2	0.7	4.7	16.1	0.7	4.7	10.1	14.1
看護学科	18	50.0	38.9	5.6	66.7	-	-	11.1	-	-	22.2	16.7
福祉学科	40	47.5	42.5	5.0	40.0	-	5.0	27.5	-	12.5	10.0	17.5
栄養学科	13	69.2	30.8	-	30.8	-	23.1	38.5	-	7.7	15.4	-
英語学科	29	51.7	17.2	10.3	10.3	3.4	-	3.4	-	-	3.4	20.7
観光文化学科	11	63.6	27.3	-	-	-	-	18.2	-	-	-	27.3
助産別科	3	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	61.8	32.4	2.9	35.3	-	5.9	8.8	2.9	2.9	11.8	2.9
10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)												
全体	149	42.3	39.6	4.0	38.9	4.0	8.1	20.1	2.0	7.4	12.1	11.4
看護学科	18	38.9	44.4	5.6	77.8	-	-	22.2	-	-	16.7	16.7
福祉学科	40	42.5	47.5	5.0	42.5	-	7.5	17.5	-	10.0	12.5	17.5
栄養学科	13	61.5	46.2	-	38.5	-	7.7	23.1	7.7	15.4	7.7	-
英語学科	29	44.8	27.6	3.4	13.8	17.2	6.9	13.8	3.4	6.9	6.9	13.8
観光文化学科	11	27.3	54.5	-	18.2	-	18.2	45.5	-	18.2	18.2	9.1
助産別科	3	66.7	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	35.3	35.3	5.9	41.2	2.9	11.8	20.6	2.9	2.9	14.7	2.9
11. 生涯学習力												
全体	149	53.7	34.2	7.4	28.2	1.3	4.7	12.8	3.4	4.0	10.1	14.1
看護学科	18	66.7	44.4	5.6	61.1	-	-	16.7	-	-	22.2	16.7
福祉学科	40	50.0	40.0	7.5	30.0	-	5.0	7.5	5.0	2.5	10.0	22.5
栄養学科	13	76.9	30.8	-	15.4	-	15.4	23.1	7.7	7.7	7.7	-
英語学科	29	34.5	31.0	10.3	13.8	6.9	-	13.8	3.4	6.9	6.9	17.2
観光文化学科	11	54.5	36.4	27.3	-	-	-	27.3	-	9.1	-	18.2
助産別科	3	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	55.9	29.4	2.9	35.3	-	8.8	8.8	2.9	2.9	11.8	2.9
12. コンピュータやインターネットを活用する力												
全体	149	73.8	26.2	5.4	12.1	-	-	2.7	4.0	0.7	6.0	12.1
看護学科	18	83.3	22.2	5.6	22.2	-	-	-	5.6	-	5.6	16.7
福祉学科	40	57.5	27.5	12.5	12.5	-	-	5.0	7.5	2.5	7.5	20.0
栄養学科	13	84.6	30.8	-	15.4	-	-	-	-	-	-	7.7
英語学科	29	75.9	37.9	6.9	6.9	-	-	3.4	3.4	-	3.4	10.3
観光文化学科	11	81.8	45.5	-	-	-	-	9.1	-	-	-	9.1
助産別科	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	79.4	11.8	-	14.7	-	-	-	2.9	-	11.8	2.9

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（13～16）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
13. 英語力												
全 体	149	63.1	19.5	3.4	7.4	4.7	1.3	2.7	2.7	1.3	3.4	17.4
看護学科	18	77.8	5.6	5.6	5.6	—	5.6	—	—	—	—	16.7
福祉学科	40	47.5	2.5	2.5	5.0	—	—	5.0	5.0	—	2.5	32.5
栄養学科	13	53.8	15.4	—	7.7	—	—	—	7.7	—	—	30.8
英語学科	29	65.5	65.5	3.4	10.3	20.7	3.4	3.4	—	6.9	3.4	6.9
観光文化学科	11	81.8	—	18.2	—	9.1	—	—	—	—	—	18.2
助産別科	3	66.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3
生活創造学科	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保育科	34	67.6	17.6	—	11.8	—	—	2.9	2.9	—	8.8	2.9
14. 表現力												
全 体	149	60.4	49.0	4.0	34.2	2.7	6.7	8.7	2.0	2.0	12.1	12.8
看護学科	18	72.2	50.0	5.6	77.8	—	—	5.6	—	—	27.8	16.7
福祉学科	40	57.5	55.0	5.0	32.5	—	10.0	10.0	2.5	2.5	5.0	20.0
栄養学科	13	76.9	30.8	—	46.2	—	7.7	7.7	7.7	—	7.7	7.7
英語学科	29	62.1	55.2	3.4	6.9	13.8	3.4	17.2	—	3.4	17.2	10.3
観光文化学科	11	54.5	54.5	18.2	18.2	—	—	—	—	—	—	18.2
助産別科	3	66.7	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—	33.3
生活創造学科	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保育科	34	50.0	47.1	—	38.2	—	11.8	5.9	2.9	2.9	14.7	2.9
15. コミュニケーション能力												
全 体	149	45.0	47.0	6.7	43.6	4.7	18.8	30.9	1.3	6.7	15.4	12.1
看護学科	18	44.4	44.4	11.1	72.2	—	11.1	33.3	—	5.6	16.7	16.7
福祉学科	40	45.0	45.0	7.5	37.5	—	25.0	40.0	—	12.5	10.0	20.0
栄養学科	13	46.2	69.2	—	69.2	—	30.8	53.8	7.7	—	7.7	—
英語学科	29	48.3	41.4	6.9	17.2	20.7	13.8	27.6	—	6.9	20.7	13.8
観光文化学科	11	18.2	54.5	18.2	27.3	9.1	27.3	27.3	—	9.1	18.2	9.1
助産別科	3	66.7	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—	33.3
生活創造学科	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保育科	34	47.1	50.0	2.9	55.9	—	14.7	17.6	2.9	2.9	20.6	2.9
16. ビジネスマナー												
全 体	149	50.3	26.2	12.8	41.6	—	6.0	24.8	1.3	3.4	17.4	11.4
看護学科	18	44.4	33.3	16.7	66.7	—	5.6	27.8	—	11.1	22.2	16.7
福祉学科	40	35.0	32.5	12.5	30.0	—	7.5	35.0	—	—	10.0	17.5
栄養学科	13	38.5	30.8	15.4	76.9	—	15.4	30.8	7.7	—	23.1	—
英語学科	29	48.3	13.8	20.7	34.5	—	—	20.7	—	6.9	24.1	13.8
観光文化学科	11	72.7	36.4	—	9.1	—	9.1	27.3	—	—	9.1	9.1
助産別科	3	66.7	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	33.3
生活創造学科	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保育科	34	67.6	20.6	8.8	47.1	—	5.9	14.7	2.9	2.9	20.6	2.9

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（１７～１９）】（％）

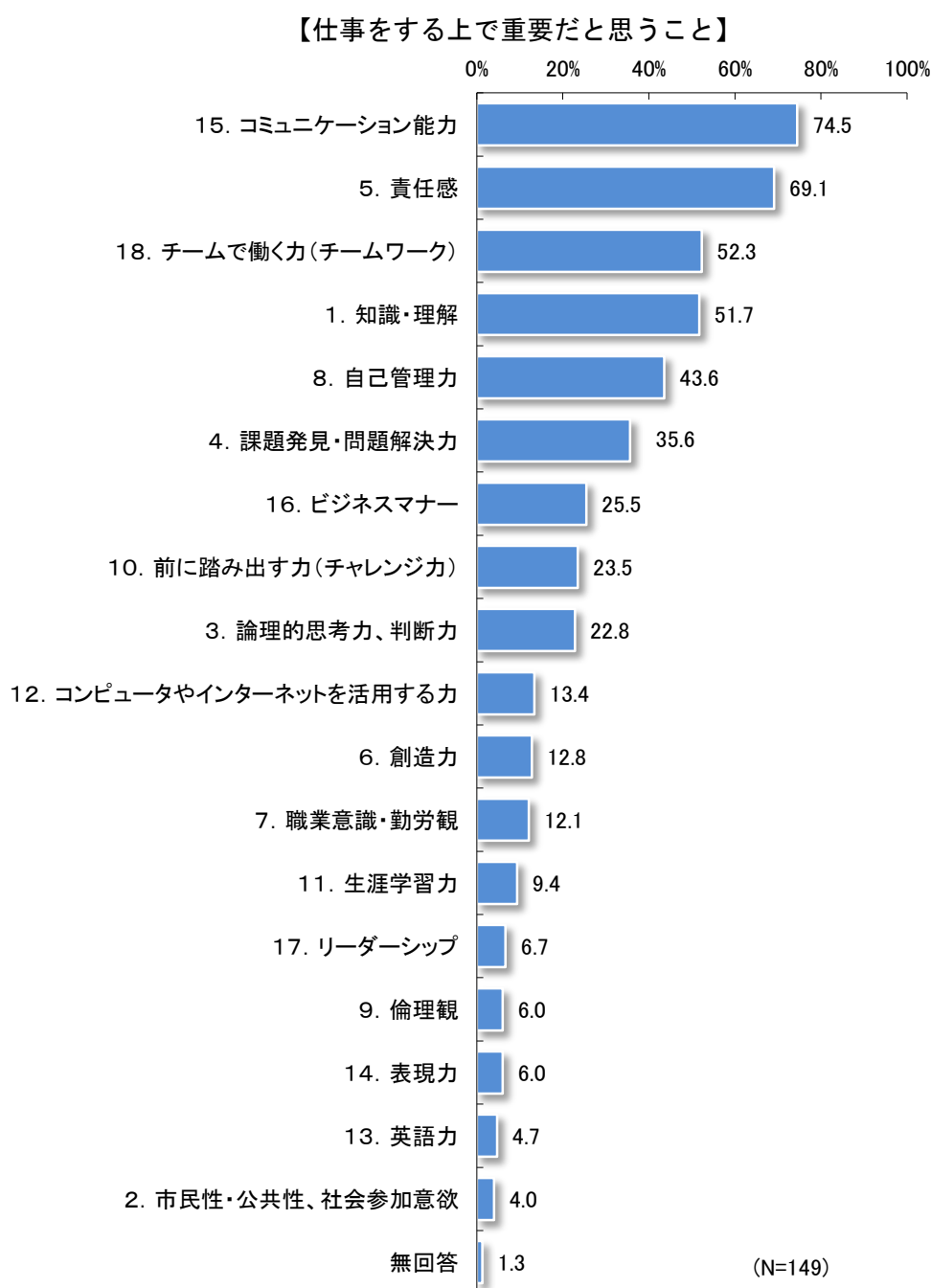
	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
17. リーダーシップ												
全 体	149	44.3	39.6	5.4	31.5	-	10.7	16.8	1.3	5.4	7.4	14.8
看護学科	18	44.4	55.6	5.6	77.8	-	5.6	11.1	-	-	22.2	16.7
福祉学科	40	42.5	45.0	2.5	25.0	-	15.0	20.0	-	7.5	5.0	22.5
栄養学科	13	30.8	46.2	-	69.2	-	23.1	30.8	7.7	-	7.7	-
英語学科	29	44.8	20.7	6.9	10.3	-	6.9	17.2	-	13.8	3.4	24.1
観光文化学科	11	45.5	36.4	18.2	9.1	-	18.2	27.3	-	-	-	9.1
助産別科	3	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	47.1	44.1	5.9	26.5	-	5.9	8.8	2.9	2.9	8.8	2.9
18. チームで働く力(チームワーク)												
全 体	149	49.0	52.3	6.7	43.6	0.7	17.4	28.2	1.3	6.0	14.8	10.1
看護学科	18	50.0	61.1	5.6	88.9	-	16.7	22.2	-	5.6	11.1	11.1
福祉学科	40	50.0	50.0	2.5	37.5	-	20.0	37.5	-	7.5	7.5	15.0
栄養学科	13	61.5	61.5	7.7	76.9	-	38.5	30.8	7.7	-	7.7	-
英語学科	29	37.9	51.7	10.3	20.7	3.4	17.2	27.6	-	10.3	27.6	13.8
観光文化学科	11	36.4	72.7	18.2	9.1	-	18.2	36.4	-	9.1	18.2	9.1
助産別科	3	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	52.9	47.1	5.9	47.1	-	8.8	20.6	2.9	2.9	17.6	2.9
19. その他												
全 体	149	20.8	8.1	2.7	10.1	0.7	2.7	4.0	1.3	0.7	4.7	67.1
看護学科	18	16.7	5.6	5.6	11.1	-	-	-	-	-	-	83.3
福祉学科	40	7.5	2.5	2.5	5.0	-	2.5	5.0	2.5	-	2.5	85.0
栄養学科	13	15.4	7.7	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-	84.6
英語学科	29	10.3	3.4	-	3.4	-	-	-	-	-	-	86.2
観光文化学科	11	27.3	9.1	-	-	-	9.1	9.1	-	-	9.1	72.7
助産別科	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	47.1	20.6	2.9	26.5	2.9	5.9	8.8	2.9	2.9	14.7	11.8

④ 仕事をする上で重要だと思う事

問 ②上記の表の1～19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思うものについて、5つまでその番号をご記入ください。

仕事をする上で重要だと思うことは、「15. コミュニケーション能力」(74.5%) が最も多く、次いで「5. 責任感」(69.1%)、「18. チームで働く力(チームワーク)」(52.3%) となっている。

学科別にみると、概ね全体結果と同様の傾向を示しているが、看護学科では「9. 倫理観」、英語学科では「13. 英語力」、助産別科では「7. 職業意識・勤労観」を重要視する人が他学科に比べ際立って多くなっている。



※回答のなかった項目は省略

第1章 卒業生アンケート

【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと（1/2）】（％）

	全体（人）	15. コミュニケーション能力	5. 責任感	18. チームワーク（チームで働く力）	1. 知識・理解	8. 自己管理能力	4. 課題発見・問題解決力	16. ビジネスマナー	10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）	3. 論理的思考力、判断力	12. コンピュータやインターネットを活用する力
全体	149	74.5	69.1	52.3	51.7	43.6	35.6	25.5	23.5	22.8	13.4
看護学科	18	61.1	72.2	72.2	83.3	38.9	44.4	33.3	11.1	22.2	5.6
福祉学科	40	80.0	65.0	52.5	67.5	55.0	30.0	25.0	7.5	17.5	15.0
栄養学科	13	76.9	76.9	69.2	53.8	15.4	53.8	30.8	30.8	46.2	7.7
英語学科	29	79.3	58.6	31.0	20.7	58.6	41.4	27.6	51.7	20.7	20.7
観光文化学科	11	100.0	90.9	45.5	27.3	54.5	54.5	27.3	18.2	9.1	18.2
助産別科	3	66.7	100.0	33.3	66.7	-	-	-	-	33.3	33.3
生活創造学科	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-
保育科	34	61.8	70.6	58.8	50.0	29.4	23.5	20.6	23.5	23.5	8.8

【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと（2/2）】（％）

	全体（人）	6. 創造力	7. 職業意識・勤労観	11. 生涯学習力	17. リーダーシップ	9. 倫理観	14. 表現力	13. 英語力	2. 市民性・公共性、社会参加意欲	無回答
全体	149	12.8	12.1	9.4	6.7	6.0	6.0	4.7	4.0	1.3
看護学科	18	-	-	22.2	11.1	16.7	-	-	-	-
福祉学科	40	5.0	12.5	10.0	7.5	7.5	5.0	-	7.5	2.5
栄養学科	13	7.7	7.7	-	15.4	-	-	-	7.7	-
英語学科	29	17.2	3.4	10.3	-	3.4	-	20.7	3.4	-
観光文化学科	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
助産別科	3	33.3	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	29.4	20.6	5.9	8.8	5.9	20.6	2.9	2.9	2.9

〔7〕大学時代で有意義だった授業

問 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければ理由をご記入ください。

大学時代に有意義だったと思う授業について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【研究室・ゼミ、実習・演習・インターンシップについて】

(回答者数:79人/149人[53.0%])

学科	自由回答
看護学科	実習全般→講義で学んだ知識の応用や状況に応じた反応、判断力が求められ、就労に必要な力を培う場になったと感じる。
	実習で学んだことが大きいと思います。
	基礎看護技術。看護を要する人の日常生活の援助は、入職1年目から先輩と一緒にすることが多く、オムツ交換、シーツ交換、体位変換、清拭等々、大学での経験を活かすことができた。
	看護技術演習、アセスメントの練習。
福祉学科	ゼミとディスカッションのある授業。自分の考えを伝え、他の人の意見をまとめながら解決策を出していく力が、働いて必要だと感じたから。コミュニケーション能力は大切だと思いました。
	基礎看護技術。校内実習がはじめてだったので、臨床実習に向けて友人と何度も練習をしたことを覚えています。先生の御指導が丁寧かつ分かりやすかったです。
	演習で人の前に立ち、プレゼンや保育をしたこと。
	ゼミの時間。横のつながりはもちろん、縦のつながりもできた。また、先生から社会性について(社会人としてのマナー等)学ばせて頂くことが多くあった。社会人となって、人から助言されることなく、自分の判断で活かせるものが今多くある。
	実習や演習の授業はとても身になりました。授業を通して、自己分析や現場を想定しての対応方法などを考えることができました。
	実習報告会は自分のことを発表する場でもあり、言葉で発信する大切さや難しさを学びました。
	ゼミ。色々な所へ見学に行けたから。
	Kゼミの活動。教員採用試験に国家試験に大変だったが、その中でのゼミ活動は、視野を広げることができたり、ときには良い息抜きもできたから。
	実習。
栄養学科	ゼミ。実際に働いた時に役立つスキルが身に着きました。
	大量調理。委託では厨房業務が1～2年はメインになってくるのでそれらができないと献立管理、発注、栄養指導等は大変になってくると思ったから。
	学外での実習授業やグループ活動。コミュニケーションや学外での社会状況の把握について学ぶことができました。
	調理実習。調理実習は色々な人と連携して調理するスキルの習得に役立っていると思います。

栄養学科	実習の授業は最も有意義だったと思う。働き始めると、仕事に関する知識や理解はもちろん必要だが、それを用いて実践していくという部分が大事になってくるから。私は委託会社で、現在も管理栄養士として発注などは行っているが、一日のほとんどは厨房での調理業務を行っているため、給食経営管理実習などはとても役に立っていると感じる。
	実習や大学生活、ゼミなどで考える力や積極的に行動できるようになりました。
	ゼミ活動(T先生)
英語学科	Mゼミ。
	ゼミ。
	ゼミ→ディスカッションをしながら、内容理解を深めていく事ができたため。
観光文化学科	ゼミでの講義は少人数で講義の内容に対する会話も多く、有意義でした。
	ゼミ活動。気づきが多かった。
	ゼミ。
保育科	実際に体験する実践授業。
	保育実践演習。子どもたちへの関わり方をクラスで考えたりグループで考えたりした。友人や知り合いと意見交換をして決断、判断力を身に付けることが出来た。
	実習。
	ゼミでの活動。
	ゼミ、子ども総合表現。

【パソコン、グループワーク・実験、マナー講座について】

学科	自由回答
看護学科	4年生のゼミで、パワーポイントを作ったりしたこと、病棟会の際に、資料作りをしていたため、役に立った。
福祉学科	マナー講座。
	グループワークを用いた授業。
	グループワーク。
英語学科	S先生のパワーポイントでプレゼンをする授業です。現在、求人広告会社で営業をしながら、実際に掲載する原稿や画像(パワーポイントで)も作っています。パワーポイントの技術をそこで、学びました。
助産別科	グループワーク。
生活創造学科	ビジネスマナーの授業。理由は社会人になって役に立つから。

【資格、語学、留学について】

学科	自由回答
英語学科	異文化間コミュニケーション、英語文学入門、日本の歴史と文化地理、心理学、英米文学研究。
	Tゼミでの国際英語。世の中にはたくさんの価値観があることを知れたから。
	ビジネス英語。ビジネスで使用する英語を学べ仕事でも役に立っているため。
	Intensive reading。長文を読むことと文法の勉強が1番有意義であり、現在でも他言語を学ぶ際に参考にしている。
	留学やプレゼンテーションの授業は現在の職業で役立っています。
	英語のプレゼンやスピーチの授業です。最初は自信を持てませんでしたが、発表などを重ねるごとに、先生や周りからのお褒めの言葉で自信に繋がり、社会に出た今でも時々思い出します。
	Y先生の異文化間コミュニケーション。理由: 海外の文化の違いだけではなく現代で日本国外で重要視されているBLMやLGBTQなどの考え方につながる授業だったように思う。またそれだけではなくY先生は学生が飽きないような工夫がされていてクラスルーム運営についても学ぶところがたくさんあった。
	スピーキングクラス。
観光文化学科	外人さん相手だと英語と中国語も役に立った。

【専門的な授業について】

学科	自由回答
看護学科	看護形態機能学はその分の全ての授業を理解する上で必要な基礎知識を学ぶことができ、非常に有意義な授業だったと思います。
	疾病学総論、疾病学概論、病気の知識を学ぶことができた。
福祉学科	精神保健福祉の考え方について学べた授業。専門職として働く基礎の部分を教えてもらいました。
	子ども家庭福祉論。
	「教育相談」の授業です。非行少年の心理や不登校児について、うつ病の特徴や対応についてなど分かりやすく教えてくださり、とても良い講義だったと印象に残っています。
	教職に関する授業 全般 [理由]今の仕事に活かされているため。
栄養学科	給食管理の授業: 大量調理の特徴を学び、実際の現場で確認しながら実践できました。
	臨床栄養学。O先生の講義内容は病院勤務になってから非常に役立っていて、在学中のノートが今も大変重宝しています。
	基礎栄養学。これから1人の女性として人生を歩んでいく中で、必要な知識を沢山学ぶことができた。
	専門的な分野を学ぶことをより知りたいと思い、知識を深めていきたいと思いました。
英語学科	教育法の授業は現在の職業で役立っています。
	情報ビジネス。

観光文化学科	サービス業だと、ホスピタリティ論は役に立つと思う。
	ホスピタリティ論。
保育科	子ども理解、医療知識は職を辞した後も、子どもを育てる中で今でも役に立っているの で、とても有難いです。
	子どもの保健…社会人になったら、身についていて当たり前だったため。
	ピアノ、子どもの保健。
	子ども保健。
	子どもに関する知識を学んだ授業すべて。保育の仕事についていなくても、将来自分が 母親になったときに必ず役に立つことがあるから。
	子どもの保健。実践形式の授業で現場で働き始める時に知っておくとい内容がたくさ んつまった授業で、ためになりました。
	保育の心理学。
	子どもの保健。絶対に知識として役に立つ。
	F先生の保健関係の授業。

【その他】

学科	自由回答
福祉学科	どの授業も、今思えば色々なことにつながっていて有意義な時間だったと思います。
英語学科	1年生のとき、M先生の授業は毎回課題が出ていたのですが、その時(課題の内容は忘 れてしまったのですが、)に志望校ではないので、日々やる気ができません、という内容を 英語で書き、提出したことがありました。そのとき、「置かれた場所で咲きなさい」と提出し たプリントに書かれてありました。その言葉で前を向くことができたなと思います。
	T先生の講義(講義名は忘れました)。先生自体が年間通しておおらかで朗らかな同じテン ションで、難易度に関わらず一定の噛み砕きやすさで教えて頂いたように思う。受けてい る方は安定した気持ちと態度で授業に行くことが出来たし、課題も負担に感じなかった。 授業の合間に聞く話も、楽しかったし、将来への夢が膨らんだように記憶している。
	全て。

保育科	F先生の授業。
	保育士になる為に勉強し、保育士として現在働いている為、全てが必要な事だったと感じる。キリスト教教育は、在学中はなくても良いと感じていたが、今思うと、豊かな心や様々な物事の考え方・受け取り方を知る良い機会だった。
	保育科みんなで創り上げた劇。これをする事によって保育職をうたって勤めていく上で必要な要素を全て取り込めると思う。
	全部。
	ピアノ。
	実際に立てたカリキュラムをみんなでやる授業。ゲームなど実際に遊ぶ授業。ピアノ。
	『ピアノ』 ・大学時代からピアノが大の苦手でおそらくお情けで単位をいただきました。今も現場で苦しんでいます。もっと先生方に頼って、教えていただいたらよかったのに。一年生の最後の講義で「(楽譜が読めないことを)言ってくれたらよかったのに！」と言われましたし。ゼミ担任はU先生(一年次)でしたし……。多分当時は他のことにもいっぱいいいっぱいで向き合えませんでした。もっと自信を持って上手にピアノが弾けたら、困りごとが減るのになぁ……と思います。わたしにとって、もっと大事に取り組めば有意義だった講義に違いはありません。
	表現。一から劇をつくりあげることの難しさや大変さを授業を通して実感し、自分にとって大きな自信にもなり、印象的だったから。

〔8〕大学の講義以外で希望する支援・経験

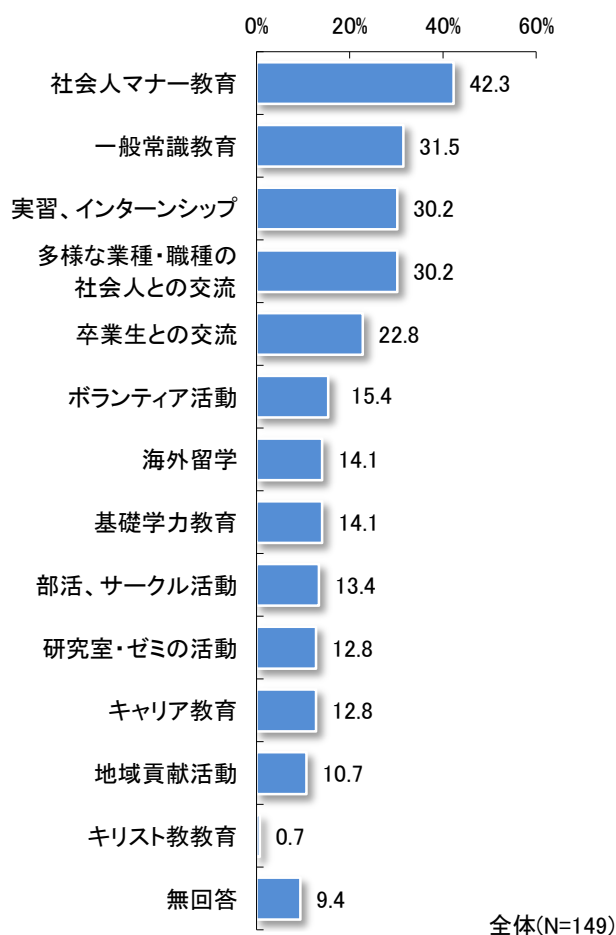
問 大学に対して講義以外でもっと支援してもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください（5つまで選択可）。

また、具体的な内容があればご記入ください。

大学に希望する支援・経験は、「社会人マナー教育」（42.3%）が最も多く、次いで「一般常識教育」（31.5%）、「実習、インターンシップ」、「多様な業種・職種の社会人との交流」（いずれも 30.2%）となっている。

学科別にみると、栄養学科では「実習、インターンシップ」、「多様な業種・職種の社会人との交流」、英語学科では「一般常識教育」、「海外留学」を希望する人がそれぞれ他学科に比べて多くなっている。

【大学の講義以外で希望する支援・経験】



【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	社会人 マナー 教育	一般常識 教育	実習、 インター シップ	多様な業種・ 職種との 交流	卒業生との 交流	ボランティア 活動	海外留学
全体	149	42.3	31.5	30.2	30.2	22.8	15.4	14.1
看護学科	18	33.3	16.7	27.8	44.4	27.8	16.7	5.6
福祉学科	40	47.5	32.5	35.0	37.5	27.5	12.5	7.5
栄養学科	13	53.8	23.1	46.2	53.8	38.5	15.4	-
英語学科	29	31.0	48.3	31.0	6.9	13.8	20.7	41.4
観光文化学科	11	45.5	27.3	27.3	36.4	-	-	27.3
助産別科	3	66.7	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3
生活創造学科	1	-	-	-	100.0	-	100.0	-
保育科	34	44.1	32.4	20.6	23.5	23.5	14.7	2.9

【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	基礎学 力教育	部活、 サークル 活動	研究 室・ゼミ の活動	キャ リア 教育	地域 貢献活 動	キリ スト教 教育	無回 答
全体	149	14.1	13.4	12.8	12.8	10.7	0.7	9.4
看護学科	18	11.1	11.1	5.6	-	11.1	-	5.6
福祉学科	40	15.0	20.0	5.0	20.0	5.0	-	10.0
栄養学科	13	-	-	7.7	7.7	15.4	-	7.7
英語学科	29	24.1	6.9	27.6	17.2	17.2	-	3.4
観光文化学科	11	-	18.2	-	9.1	9.1	-	9.1
助産別科	3	-	33.3	-	-	-	33.3	-
生活創造学科	1	-	-	-	100.0	100.0	-	-
保育科	34	17.6	14.7	20.6	8.8	8.8	-	17.6

第1章 卒業生アンケート

大学の講義以外で希望する支援・経験の具体的な内容について自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

(回答者数:21人/149人[14.1%])

学科	自由回答
福祉学科	社会人一年目は、失礼なことがないか不安でした。電話対応や言葉づかい等。
	社会人になって本当に必要なものをもっと知りたかった。現実でおきていることをもっと、知ってから大学を卒業したかった。
	大学時代に、エクセルやパワーポイント等が学べたらもっと良かったと思いました。
	いろいろな経験をさせてもらえたと思います。なのでありません。
	卒業生の仕事内容や学生のうちに身につけた方がよいもの、勉強の仕方など学びたかったです。
	自分の希望する職種で現役で働く人の話を聞く機会があればよかった。
栄養学科	大きな事業所では様々な人がいるため、柔軟な考え方、対応が求められることが多々あります。多様な業種と交流し色々な価値感や考え方を吸収し、仕事で活かしていけたらよいと思っている。
	もっと様々な職種の方から話を聞きたかった。
英語学科	学校内での活動だけでなく、どんどん外に出て自分自身の可能性を見つけてほしい。外の世界にはいろんな人がいる為、いろんな経験を積む機会を持って欲しい。
	社会人マナーは卒業前にもっと知っておきたかったなと思いました。もちろん、入社してから先輩に教えて貰う機会がありますが、間違っていた時に指摘されるので、1人でお客さんのところへ行行って先輩がいないところで間違えて、なんてこともあったので。例えば、お客さんに会う前にコートを脱ぐ、コートのたたみかた、上座、下座、玄関出る時の上司と部下の順番など。
	障害者支援(在籍時はなかった)
	卒業生とのコミュニケーションの場を2年生頃から取り入れていただけると、もっと早い段階から将来のビジョンや就職活動に役立てることができると思います。
	夢を持っていて、そこへ突き進める人であれば良いが、自分が何になりたいかを悩んでいる人は多いと思う。就活生になる前だけでなく、将来を考える機会をつくる事は大切だと感じた。また、就職をして一般常識やビジネスマナーをもう少し勉強しておけば良かったと思う事が度々あるため、大学でも社会で使える知識を増やしたかった。
観光文化学科	今、転職活動中で、コロナ禍ということもあるが、大変なので社会に出てからのことをもっと知っておけば良かった。
保育科	電話対応や、間違いやすい敬語、手紙でのマナーなど。
	電話対応や言葉づかい等。
	電話対応、敬語の使い方。
	実習って何するの?というレベルでした。実習生ってどこまで、どんな姿を求められているのかよく分からず憂鬱でした。実践的なことを教えていただきたいかったです。
	より多くの人と関わる事が重要だと思うから。

〔9〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【大学への感謝について】

（回答者数:22人/149人[14.8%]）

学科	自由回答
看護学科	在学中は、勉学のことだけでなく、学費のことにも、熱心に相談にのってもらい、ありがとうございました。大学での経験のおかげで、勤務している時は、技術（記録、患者さんとの関わり、その他の看護技術）や、健康管理に対して、先輩から、たくさん評価され、とても嬉しかったです。今は育児中で主婦ですが、社会復帰をした時には、在学中に学んだこと思ひだして、また頑張ります。
	西南女学院大学で学べたことは今も様々な場所で役に立っています。先生方の支援体制が素晴らしく、学内での生活、全てが思い出でとても良かったです。ありがとうございました。
福祉学科	先天的な病が、あった娘を受け入れて下さり、ソーシャルワーカーとして働ける職場をお世話下さり、勤めながら国家資格を受験できるように支えて下さり、本当に感謝です。23歳まで精一杯生きてくれたと思っています。貴学の益々の発展をお祈りしております。
	大学時代に学んだことが就職してから活かされています。熱心にご指導いただきありがとうございました。
	大学時代は、丁寧な授業や就職支援をしていただき感謝しています。ありがとうございました。
英語学科	ずっと大好きな大学です。ありがとうございました。
保育科	大学での2年間は、とても有意義な時間でした。学んだことが力となっています。ありがとうございました。

【先生への感謝について】

学科	自由回答
福祉学科	2017年度卒業生福祉学科のKです。就職課の先生方お元気ですか？卒業して、長崎の離島五島列島に来て3年目になりました。すっかり島民です。なぜか養護教諭ではなく、看護教諭をしています。毎日生意気ですが可愛い高校生と授業や部活を頑張っています。西女の先生方が卒業後も連絡を下さって本当に西女に行って良かったと思います！いつもありがとうございます。お体に気をつけてお過ごし下さい。私も頑張ります。
	幼稚園教諭の免許取得が、通信制で、苦労した点が多かったが、先生たちが現場の様子を教えてくれたり、卒業生からのお話を聞かせてもらえたりしたおかげもあり、あきらめずに続けることができました。
保育科	大好きな先生に出会う事ができ、良かったです。
	西南女学院大学短期大学部を出たと職場で胸を張って言える卒業生、先生方に感謝しています。他の学校よりもできること経験したことが多いことに働いているなかで気づきました。西南女学院大学短期大学部で良かったと心から思っています。

【大学への要望】

学科	自由回答
福祉学科	・最低限のExcelやワードを使いこなせる力をつけた人材を育てて欲しい。 ・メモする力を身につけるような講義の実施。
栄養学科	パソコンはどこの職場でも必要なスキルだと思います。名前は忘れましたが女性の教師の授業が難しすぎ。活用しようと読み返すことがありますが、未だに授業で何をやらされていたかわかりません。もっとわかりやすく教えてほしかったと未だに思います。
英語学科	職員対学生の比率が他より少ない学校だと思うので、職員は学生一人一人を大事に育てるつもりで業務に臨んでいただけると嬉しいです。集団で見ると、一人一人の個性が埋もれてしまいが、誰しも可能性を持っていると思います。学生に様々な機会を与えて、その人の特技を伸ばすことができる環境を与えてあげたいとおもいました。 そして学生は教員のことをよく見ていることを忘れないでください。私が大学1年生の時にとある教員に言われたことが、ずっと忘れられません。何気ない一言でも学生にとっては、教員から言われた言葉は大きなショックになります。言動に注意して、学生の模範となるように心がけていただきたいと思います。
観光文化学科	九州外に出たから分かることだが、スーツ着ている人や就職活動で周りの九州外の人たちは多く応募していたらしいので、そのことをもっと今在籍している学生に分かりやすく説明してほしい。私たちもK先生にそのことをよく言われていたが、実感できなかったのが実感できるように。後々苦労する。

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2019年度（令和元年度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2020年度（令和2年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、卒業生アンケートの総括とする。

▶現在の仕事について

＜就業状況、業種＞

2018年3月卒業生の2020年12月時点の在職状況は、91.3%が就労中、未就労は8.7%となっており、卒業後2年9カ月経過時点で大半の卒業生が就労中となっている。

卒業生が勤務先で携わっている主な職種を学科別にみると、看護学科は「看護師」（80.0%）、福祉学科は「支援員・指導員」（21.1%）、栄養学科は「管理栄養士」（72.7%）、英語学科と観光文化学科は「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」（英語学科：42.3%、観光文化学科：60.0%）、助産学科は「助産師」（100.0%）、生活創造学科は「営業」（100.0%）、保育科は「保育士」（48.5%）の割合が高く、それぞれ学科の特性を活かした職種に就いている様子が見られる。

また、在学生に対して尋ねた学生調査と比較すると、将来進みたいキャリアとして、看護学科は「医療・看護系」、福祉学科は「福祉・介護系」や「学校・教育系」、栄養学科は「食・栄養系」、観光文化学科は「旅行・ホテル・ブライダル系」が高くなっており、学生時代の希望と実際の進路が一致していることから、概ね卒業生が希望の進路に進んでいることが分かる。

一方、転職の状況について、現在の勤務先が卒業時と変わっていない人が74.3%、転職した人が24.3%となっているが、就労中の人数が少ない助産学科と生活創造学科を除くと、栄養学科では転職した人が45.5%と他学科に比べ高く、前回調査からも引き続き転職率が高い傾向を示している。

また、「転職した」に着目して前回調査と比較すると、全体で20.0%から24.3%と4.3ポイント増加している。

【現在の勤務先を「転職した」の割合】

	全体	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	助産	生活創造	保育
今回調査 (N=149)	24.3	20.0	28.9	45.5	3.8	20.0	50.0	100.0	27.3
前回調査 (N=65)	20.0	20.0	33.3	57.1	12.5	11.1	0	0	0

＜雇用形態、勤務先の満足度＞

卒業時の雇用形態をみると、正規職員の割合が全体で63.2%であるのに対し、福祉学科では44.7%と他学科に比べ正職率が低くなっている。また、福祉学科は卒業時（44.7%）から現在（50.0%）までに正規職員の割合が5.3ポイント増加している。

現在の勤務先の満足度をみると、満足している人は全体で45.6%となっており、満足していない人（8.8%）を上回っている。学科別にみると、看護学科、英語学科の満足度は半数を占めるのに対し、栄養学科では36.4%、観光文化学科では20.0%と満足度にばらつきがあり、学科によって満足度に差がみられる。

<転職>

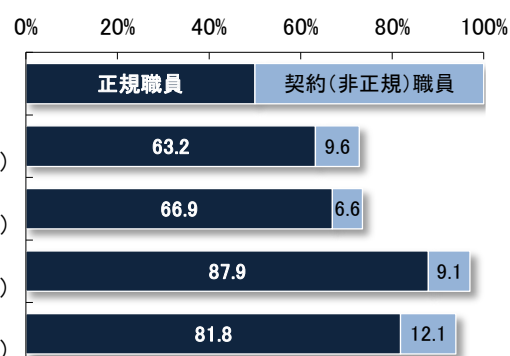
転職しなかった人は、卒業時から現在までに正規職員への登用がやや増加している（卒業時 63.2% ⇒現在 66.9%）。

一方、転職した人は、卒業時よりも「正規職員」の割合が減少し、「契約（非正規）職員」の割合が増加している。転職した人よりも、転職せずに継続して働いている人の方が正規職員の登用率が高く、この結果は前回調査でも同様の傾向を示している。

転職
なし

転職
あり

【転職時の雇用形態】



転職した理由について、少数ではあるが傾向をみると、前回調査の上位3つのうち2つが今回調査でも上位に挙げられている。しかし、前回調査では「社風・職場の雰囲気」は入っていないのに対し、今回調査では51.5%で上位2位に入っており、「休日」や「給与」、「勤務地」、「将来性」などの項目も前回調査から順位が下がっている。

転職理由は職種や職場環境によって大きく異なると想定されるが、「人間関係」や「社風・職場の雰囲気」、「仕事内容」などの職場環境を重視する人の多い様子がうかがえる。

【転職した理由】

	今回調査 (N=33)	前回調査 (N=13)
1位	人間関係 (57.6%)	仕事内容 (38.5%)
2位	社風・職場の雰囲気 (51.5%)	休日 人間関係 (ともに 30.8%)
3位	仕事内容 (42.4%)	給与 勤務地 将来性 (ともに 23.1%)

▶就職全般について

前回調査結果と同様に、大半の卒業生が正規職員で採用され、一定数の転職希望はあるものの、就業状況や雇用形態、勤務先の満足度から、現在の職場には概ね満足している卒業生が半数近くおり、卒業時から転職せずに現在の職場で経験を積んでいる様子がうかがえる。

在学生に対する学生調査の結果と関連付けてみると、看護学科、福祉学科、栄養学科については、もともと本校の志望理由として「就職や将来のことを考えて」進学先に選んだ学生が6割前後と多く、在学中に希望した進路に実際に進んでいる卒業生が多いことを踏まえると、大学から就職までは比較的スムーズに移行できていると考えられる。

しかしながら、福祉学科や観光文化学科に多い、大学あるいは学部・学科の特色にひかれて入学した学生については、在学中はいいものの、在学中に得た学習成果を就職先で活かすことができない、または当初希望していた職種に就けなかった、想像していた仕事内容でなかったなどのケースにおいては、転職希望も高い傾向がうかがえる。

そうした意味で、入学時から卒業時までに、将来の進路をある程度明確に意識させること、また、仕事内容など卒業してから大きなギャップを感じないように、職場環境や仕事内容を具体的にイメージできるように在学中からの進路支援も必要であると考えられる。

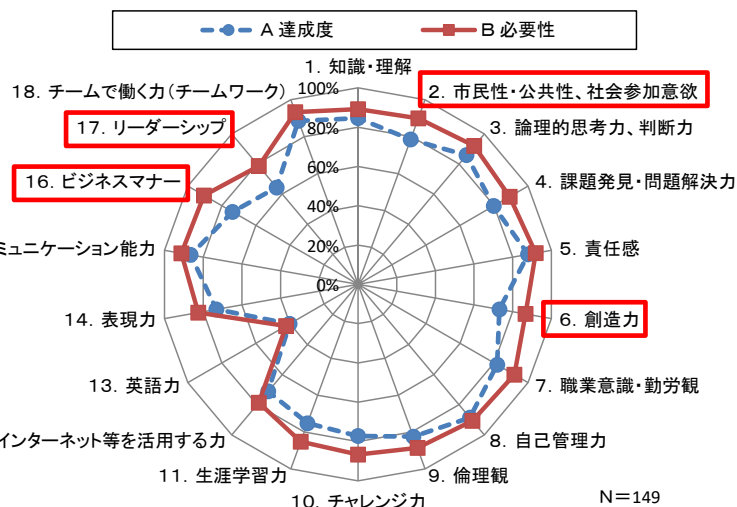
また、学生調査によると、在学中に就職活動をした（している）学生のうち、全体の約半数が「一定の段階で転職も考える」と回答していることから、転職については抵抗がない学生も多いが、実際に社会に出て転職する人は全体の2割強にとどまっており、卒業後から転職せずにキャリアを積む卒業生が多いことは一定の評価に値する。

▶大学・短期大学部で受けた教育について【大学・短期大学部での達成度と仕事上における必要性】

＜達成度と必要性＞

大学・短期大学部で得た力やスキルを【達成度】（「身につけている」+「ほぼ身につけている」）、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「役に立つ」+「やや役に立つ」）として分析した。なお、達成度と必要性の差が大きい上位4項目には枠を付けている。

達成度は、「自己管理能力」、「チームで働く力（チームワーク）」、「責任感」の順に高くなっており、これら達成度が高い項目については達成度と必要性の差が小さく、大学・短期大学部で身につけた力が仕事上において大いに役立っていると考えられる。



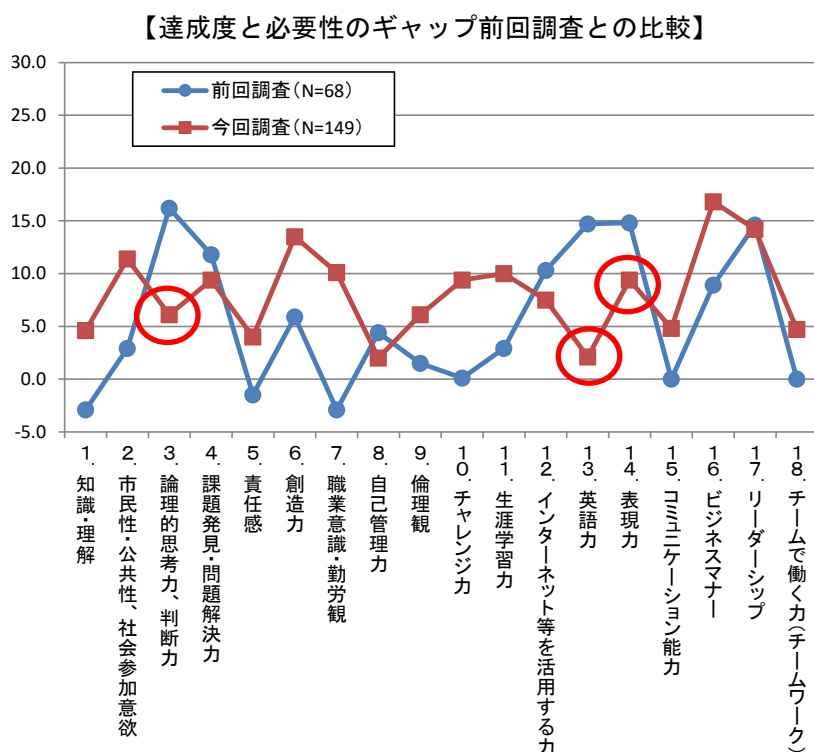
一方、必要性が高いのに対し、達成度が低い項目は「ビジネスマナー」で16.8ポイント必要性の方が高く、特にその差が大きい。また、「リーダーシップ」、「創造力」、「市民性・公共性、社会参加意欲」にも差が見受けられ、社会に出てから必要となる「ビジネスマナー」を除くと、総じて主体性が求められる分野の達成度が低いと感じている卒業生が多い。

学科別に達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）をみると、看護学科と福祉学科では「ビジネスマナー」、栄養学科では「論理的思考力、判断力」、「倫理観」、英語学科では「職業意識・勤労観」、観光文化学科では「市民性・公共性、社会参加意欲」、「ビジネスマナー」、助産学科と生活創造学科では「英語力」、「ビジネスマナー」、保育科では「リーダーシップ」でギャップが大きい。

＜達成度と必要性のギャップ（前回調査との比較）＞

達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）について前回調査と比較を行った。

項目によってバラツキがあるが、特にギャップが小さくなっているのは、「英語力」（12.6ポイント差）、「論理的思考力、判断力」（10.1ポイント差）、「表現力」（5.4ポイント差）である。



<能力やスキルを身につけるために役立ったこと>

能力やスキルを身につけるにあたり、多くの卒業生が大学での講義が役立ったと回答している。特に「知識・理解」、「コンピュータやインターネットを活用する力」については大学での講義を挙げる人が多く70%を超えている。

一方、「責任感」、「職業意識・勤労観」については実習、インターンシップで培い、「コミュニケーション能力」は研究室、ゼミ活動が役立ったと感じている。このように、大学の講義だけでなく、研究室、ゼミ活動や実習、インターンシップなどを通じて必要な能力やスキルを習得している様子が見える。

また、社会で必要とされる能力やスキルに対し、卒業生が特に達成度が低いと感じている「リーダーシップ」、「英語力」については、大学での講義や研究室、ゼミ活動での習得率が高いため、今後はこうした社会で必要とされる能力やスキルの習得を意識した在学中からの指導が必要だと言える。

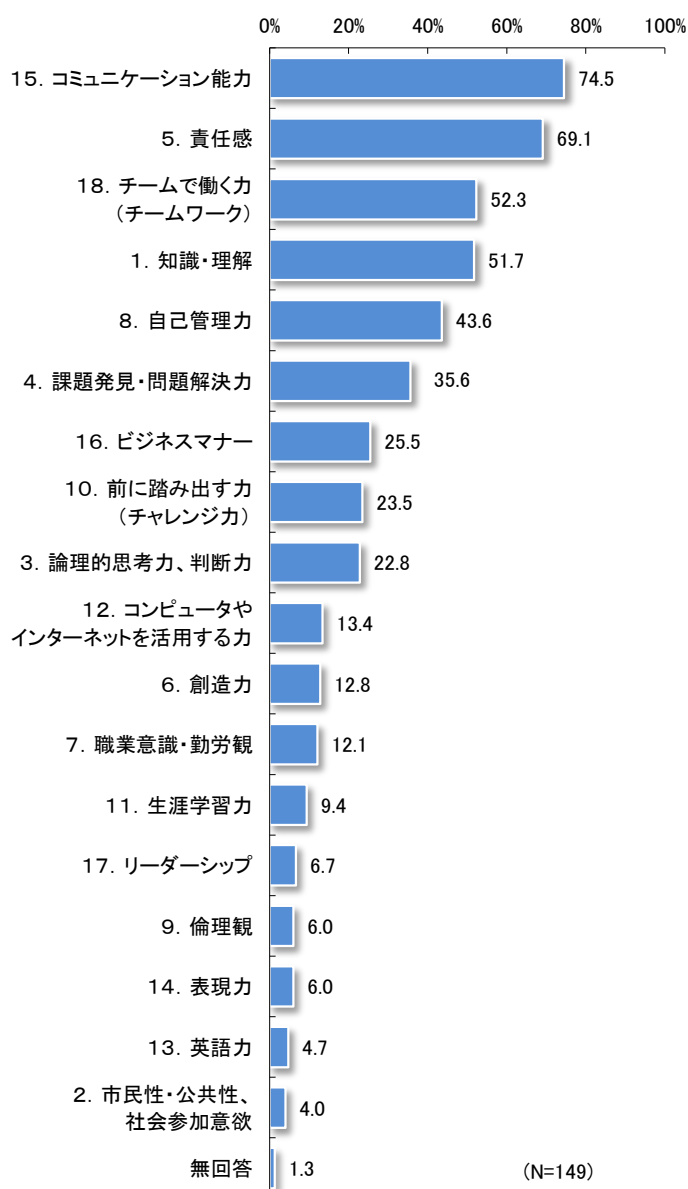
<仕事をする上で重要だと思う事>

仕事をする上で重要だと思う事については、「コミュニケーション能力」や「責任感」、「チームで働く力（チームワーク）」が上位に挙げられた。

これは、大学・短期大学部で身につけた力やスキルにおける達成度が高い項目とも一致しており、大学・短期大学部で学んだことや経験したことが仕事をする上でも役立っていると考えられる。

また、前回調査においても同様の結果となっており、「コミュニケーション能力」と「チームで働く力（チームワーク）」、「責任感」は業種や職種に関わらず仕事をする上で特に重要視されていることが分かる。

【仕事をする上で重要だと思う事】



※回答のなかった項目は省略

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2020年3月卒業生 就職受け入れ事業所
調査方法	郵送配布・回収、FAX回収
回収数	153 事業所
調査時期	2020年12月23日～2021年1月29日 ※2021年3月9日までに大学到着分まで集計に含む
回収率	下表の通り

	依頼事業所数	回答事業所数	回収率
看護学科	47	18	38.3% (32.5%)
福祉学科	50	32	64.0% (53.8%)
栄養学科	62	26	41.9% (52.6%)
英語学科	32	15	46.9% (18.8%)
観光文化学科	43	16	37.2% (44.1%)
助産別科	14	7	50.0% (46.2%)
全体	248	114	46.0% (43.6%)

()内の前年度回収率

	依頼事業所数	回答事業所数	回収率
生活創造学科	-	-	0.0% (0.0%)
保育科	58	39	67.2% (70.7%)
全体	58	39	67.2% (70.7%)

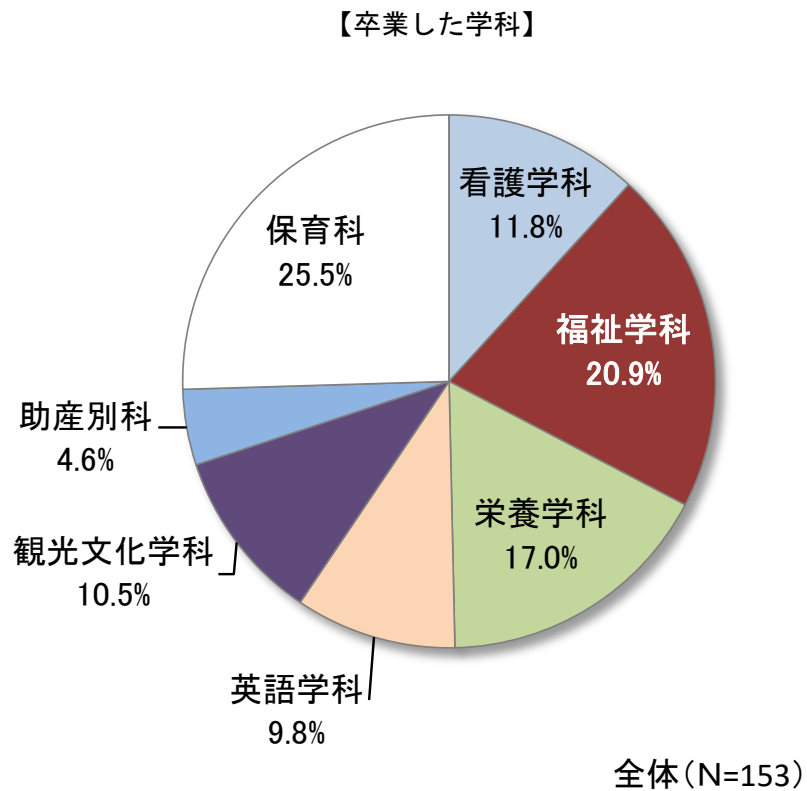
()内の前年度回収率

【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

2. 調査結果

〔1〕回答者について



〔2〕仕事に必要な能力

① 必要性和達成度（全体）

問 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。

就職受け入れ先からみた、現在の仕事においてのスキルや能力について、全体的にほとんどの項目は『必要である』（必要である＋やや必要である）とされており、なかでも「5. 責任感」、「7. 職業意識・勤労観」、「18. チームで働く力（チームワーク）」（いずれも 97.4%）、「8. 自己管理能力」、「15. コミュニケーション能力」（いずれも 96.7%）、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」、「3. 論理的思考力、判断力」、「4. 課題発見・問題解決力」、「16. ビジネスマナー」（いずれも 96.1%）、「9. 倫理観」（95.4%）が 95%を超え上位に挙げられている。また、「必要である」の割合に着目した場合、「15. コミュニケーション能力」（90.8%）や「5. 責任感」（90.2%）が特に必要視されている様子が見えてくる。

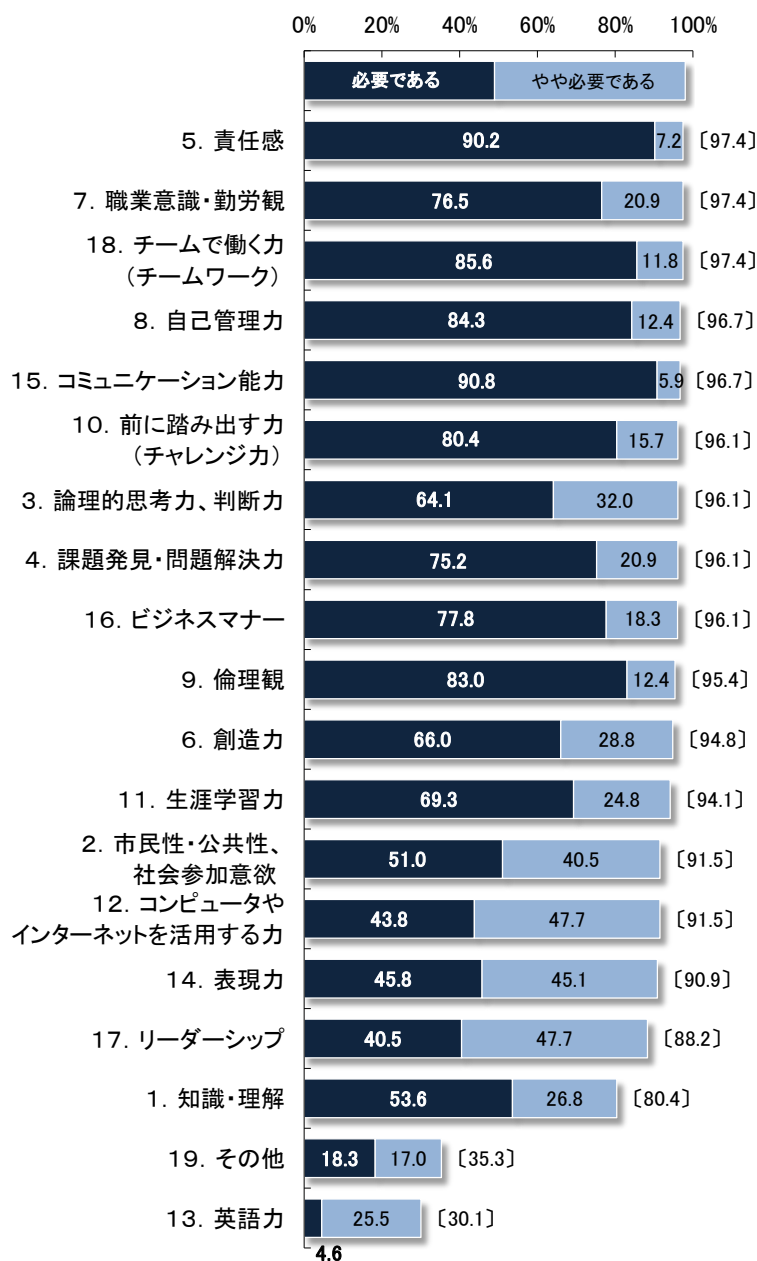
一方、卒業生が力やスキルを『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価されている項目をみると、「9. 倫理観」（85.6%）が最も多く、次いで「8. 自己管理能力」（84.3%）、「5. 責任感」（83.0%）である。しかし、求められる能力に対し、卒業生の達成度は総じて低い傾向にある。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【仕事に必要な能力】

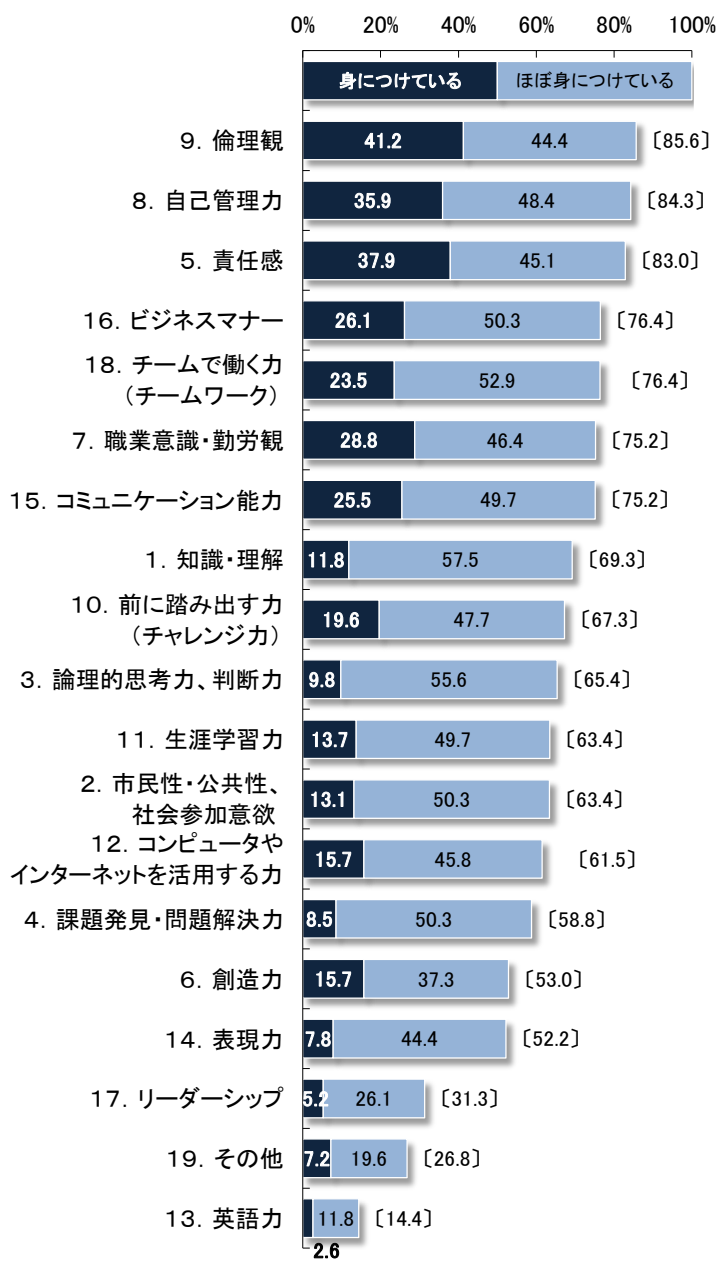
必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=153)



達成度

西南女学院大学卒業生の力やスキル
(各項目ともN=153)



注1) 必要性の選択肢は「必要である」、「やや必要である」、「あまり必要でない」、「必要でない」の4段階。

注2) 必要性の〔 〕は「必要である」+「やや必要である」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

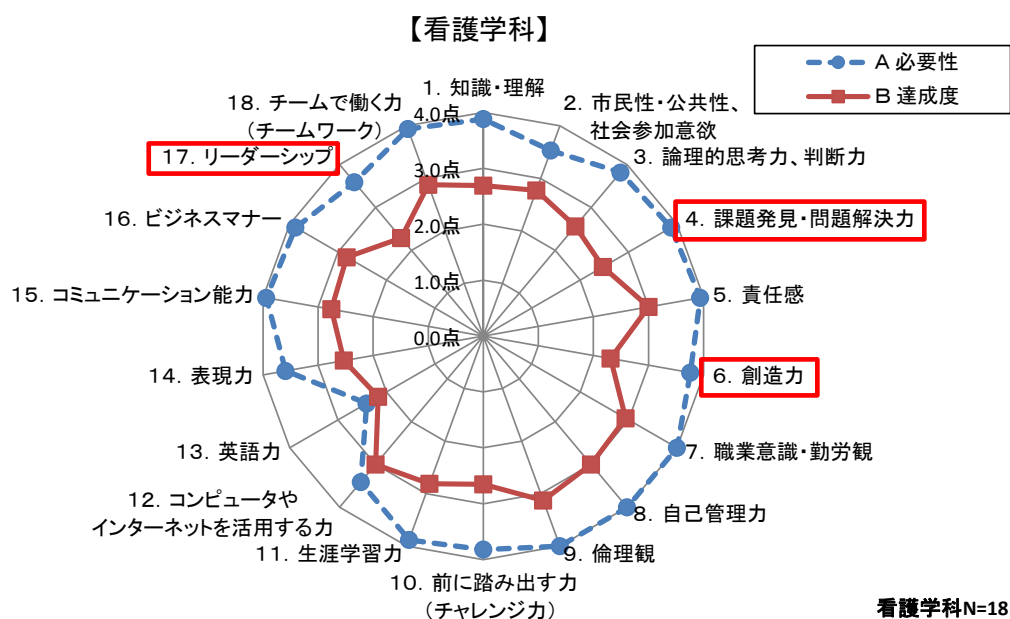
注1) 達成感の選択肢は「身につけている」、「ほぼ身につけている」、「あまり身につけていない」、「身につけていない」、「わからない」の5段階。

注2) 達成感の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

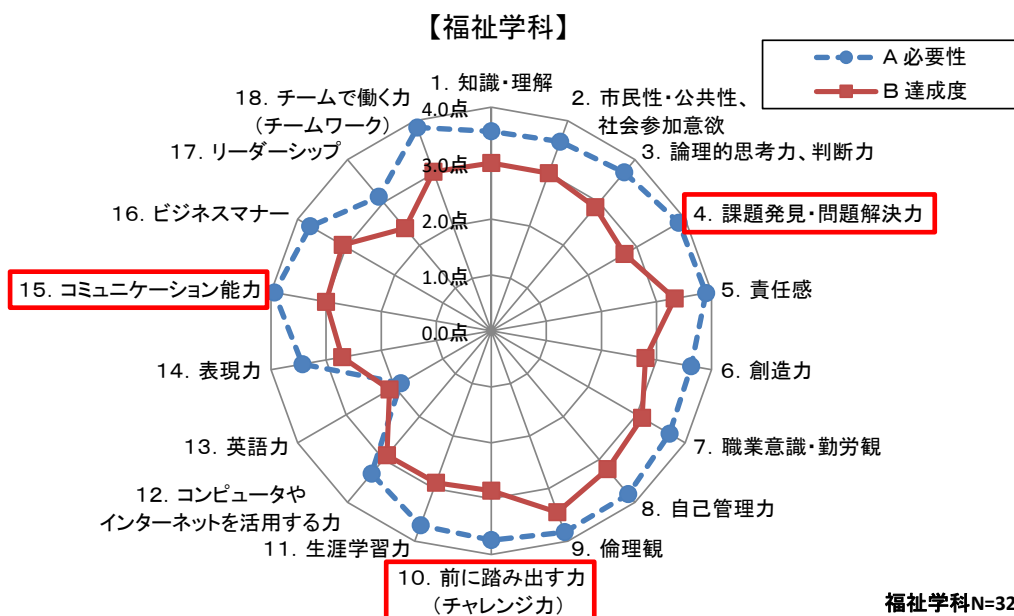
② 必要性和達成度（学科別）

必要性和達成度について、「必要である」、「身につけている」=4点、「やや必要である」、「ほぼ身につけている」=3点、「あまり必要でない」、「あまり身につけていない」=2点、「必要でない」、「身につけていない」=1点として配点し、必要性和達成度の各項目の平均点を算出した。必要性和達成度を比較し、仕事に必要な能力がどの程度達成されているのかの確認を行った。達成度と必要性の差が大きい上位3項目には枠を付けている。

看護学科では、「6. 創造力」の必要性が達成度よりも1.45ポイント高くなっており、次いで「4. 課題発見・問題解決力」が1.41ポイント、「17. リーダーシップ」が1.30ポイント高くなっている。

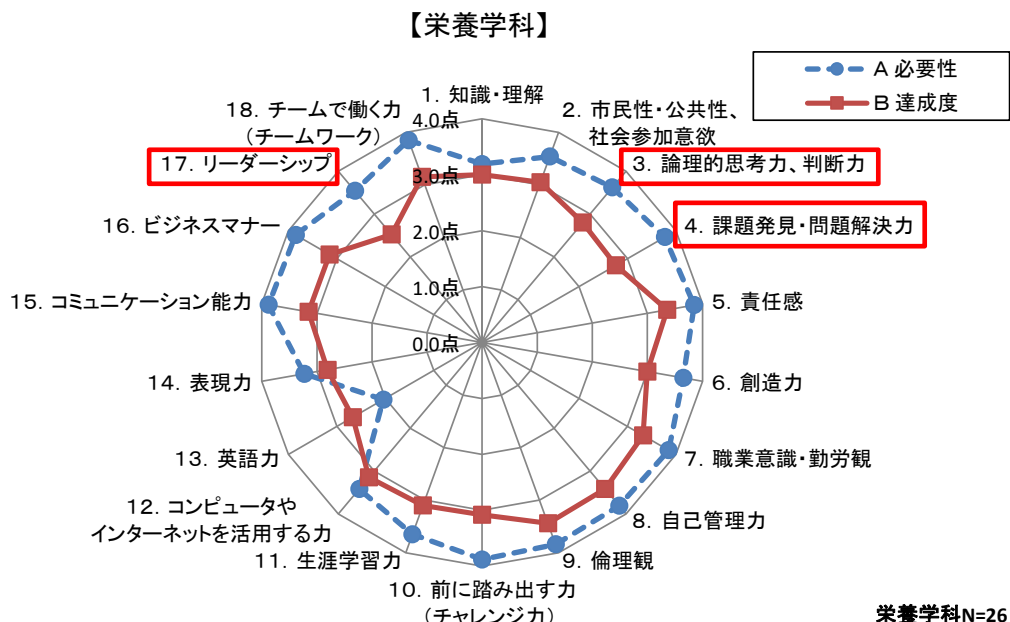


福祉学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも1.12ポイント高くなっており、次いで、「15. コミュニケーション能力」が0.94ポイント、「10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)」が0.88ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも0.23ポイント高くなっていることから「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

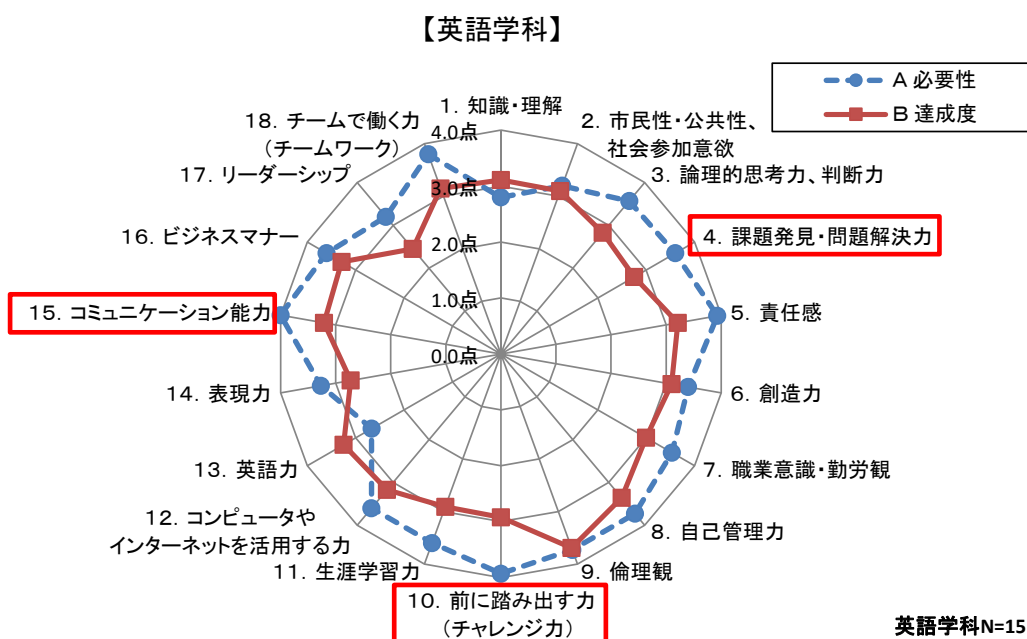


第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

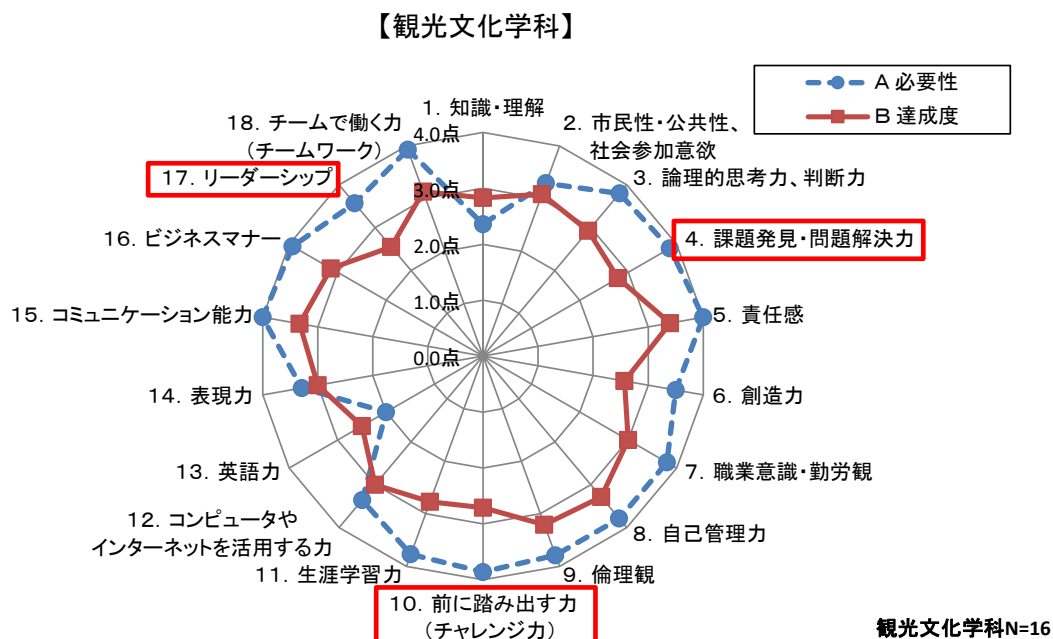
栄養学科では、「17. リーダーシップ」で必要性が達成度よりも 1.02 ポイント高くなっている。次いで、「4. 課題発見・問題解決力」が 1.01 ポイント、「3. 論理的思考力、判断力」が 0.82 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0.63 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。



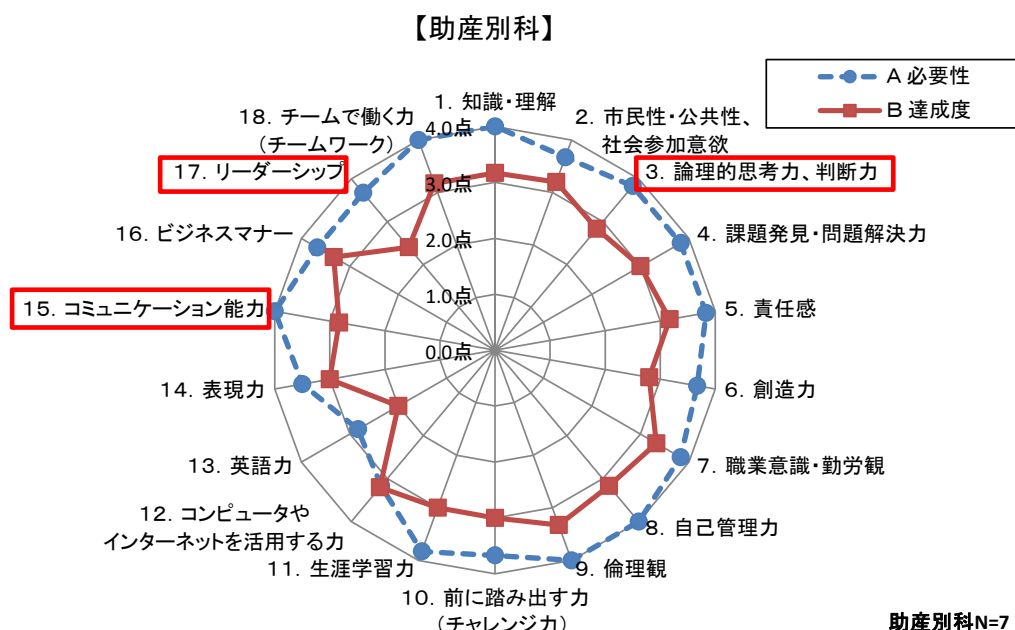
英語学科では、「10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)」の必要性が達成度よりも 1.01 ポイント高くなっており、次いで「4. 課題発見・問題解決力」が 0.85 ポイント、「15. コミュニケーション能力」が 0.79 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0.58 ポイント、「1. 知識・理解」は 0.31 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」と「1. 知識・理解」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多い。



観光文化学科では、「10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)」の必要性が達成度よりも 1.15 ポイント高くなっており、次いで「4. 課題発見・問題解決力」が 1.07 ポイント、「17. リーダーシップ」が 1.02 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0.50 ポイント、「1. 知識・理解」が 0.47 ポイント高くなっていることから「13. 英語力」と「1. 知識・理解」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多い。

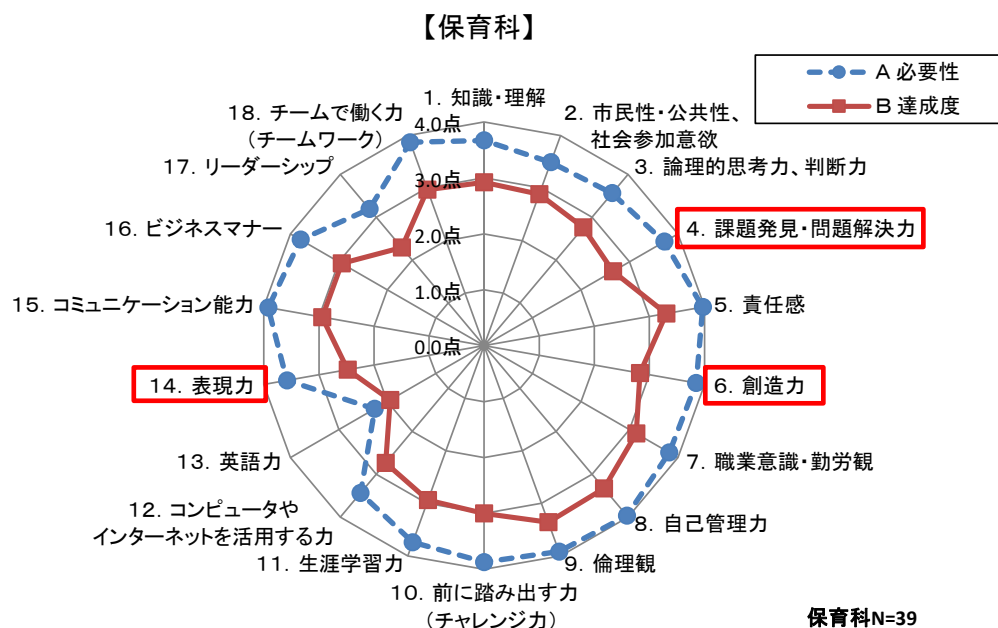


助産別科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 1.27 ポイント高くなっており、次いで「15. コミュニケーション能力」が 1.17 ポイント、「3. 論理的思考力、判断力」が 1.00 ポイント高くなっている。一方、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」の達成度は必要性とほぼ同程度である。



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

保育科では、「14. 表現力」の必要性が達成度よりも1.10ポイント高くなっており、次いで「4. 課題発見・問題解決力」が1.06ポイント、「6. 創造力」が1.02ポイント高くなっている。また、すべての項目において必要性が達成度よりも高くなっている。



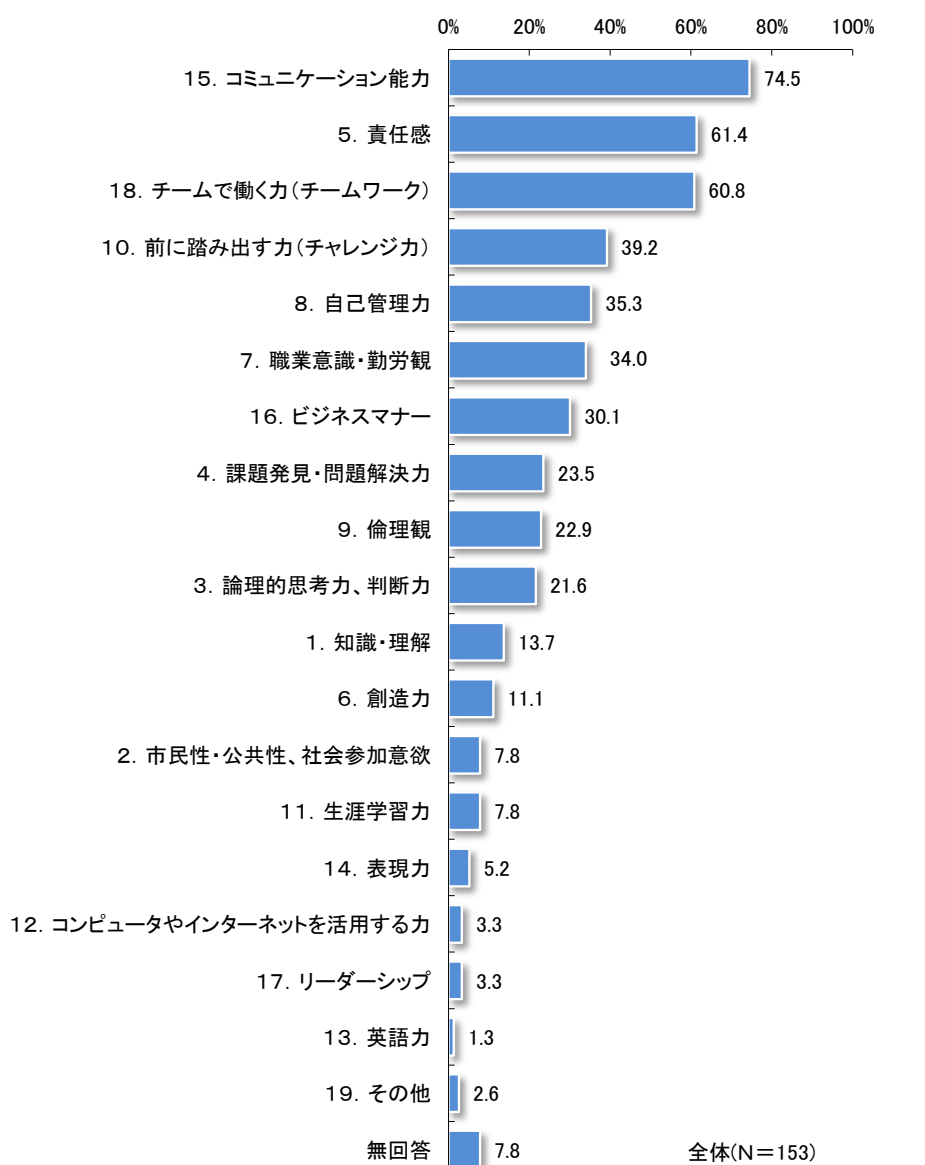
③ 採用の際に重要視する能力

問 採用の際、重要視する能力上位5つに○をつけてください。

採用の際、重要視する能力は、「15. コミュニケーション能力」(74.5%)が最も多く、次いで「5. 責任感」(61.4%)、「18. チームで働く力(チームワーク)」(60.8%)が6割以上で高くなっている。

また、学科別にみても重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「15. コミュニケーション能力」、「5. 責任感」、「18. チームで働く力(チームワーク)」の有無が重要とされていることがわかる。それ以外の項目では、「4. 課題発見・問題解決力」は栄養学科で42.3%、「14. 表現力」は英語学科で20.0%と、他学科と比べて高くなっている。

【採用の際に重要視する能力】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 採用の際に重要視する能力 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	15. コミュニケーション能力	5. 責任感	18. チームワーク (チームで働く力)	10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)	8. 自己管理能力	7. 職業意識・勤労観	16. ビジネスマナー	4. 課題発見・問題解決力	9. 倫理観	3. 論理的思考力、判断力
全体	153	74.5	61.4	60.8	39.2	35.3	34.0	30.1	23.5	22.9	21.6
看護学科	18	83.3	50.0	61.1	16.7	27.8	33.3	38.9	27.8	38.9	22.2
福祉学科	32	62.5	68.8	50.0	34.4	28.1	50.0	15.6	18.8	31.3	25.0
栄養学科	26	80.8	65.4	61.5	34.6	34.6	30.8	30.8	42.3	23.1	19.2
英語学科	15	73.3	80.0	73.3	66.7	26.7	0.0	40.0	13.3	6.7	26.7
観光文化学科	16	75.0	50.0	56.3	56.3	31.3	25.0	43.8	25.0	12.5	31.3
助産別科	7	57.1	57.1	42.9	57.1	42.9	28.6	14.3	28.6	42.9	28.6
保育科	39	79.5	56.4	69.2	35.9	48.7	41.0	30.8	15.4	15.4	12.8

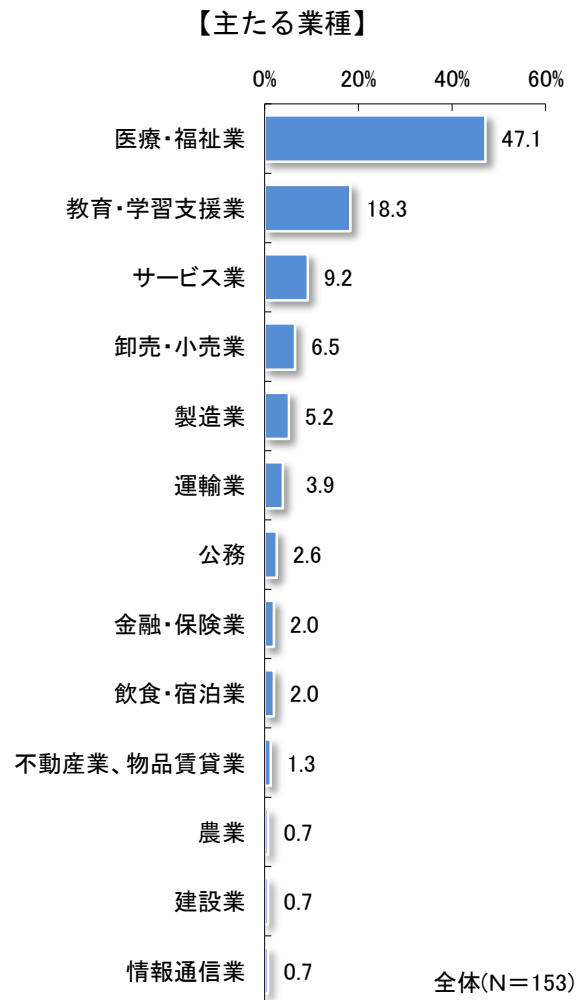
【学科別 採用の際に重要視する能力 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	1. 知識・理解	6. 創造力	2. 市民性・公共性、社会参 加意欲	11. 生涯学習力	14. 表現力	12. ネットを 活用する力	17. リーダー シップ	13. 英語力	19. その他	無 回 答
全体	153	13.7	11.1	7.8	7.8	5.2	3.3	3.3	1.3	2.6	7.8
看護学科	18	16.7	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
福祉学科	32	18.8	15.6	12.5	12.5	3.1	3.1	0.0	0.0	3.1	9.4
栄養学科	26	3.8	7.7	3.8	7.7	3.8	3.8	7.7	0.0	0.0	7.7
英語学科	15	13.3	6.7	20.0	0.0	20.0	13.3	6.7	13.3	0.0	0.0
観光文化学科	16	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	12.5
助産別科	7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
保育科	39	17.9	20.5	7.7	7.7	5.1	0.0	2.6	0.0	7.7	5.1

〔3〕事業所の概要

問 主たる業種に○をつけてください。

事業所の主たる業種は「医療・福祉業」(47.1%)が最も多く、次いで「教育・学習支援業」(18.3%)、「サービス業」(9.2%)となっている。



※回答のなかった項目は省略

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 主たる業種 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	医療・ 福祉業	教育・ 学習支援業	サービス業	卸売・ 小売業	製造業	運輸業	公務
全 体	153	47.1	18.3	9.2	6.5	5.2	3.9	2.6
看護学科	18	83.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉学科	32	65.6	21.9	3.1	0.0	3.1	0.0	6.3
栄養学科	26	30.8	3.8	11.5	15.4	11.5	3.8	3.8
英語学科	15	0.0	20.0	40.0	13.3	6.7	13.3	0.0
観光文化学科	16	6.3	0.0	18.8	25.0	12.5	12.5	0.0
助産別科	7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育科	39	51.3	38.5	2.6	0.0	2.6	2.6	2.6

【学科別 主たる業種 (2/2)】 (%)

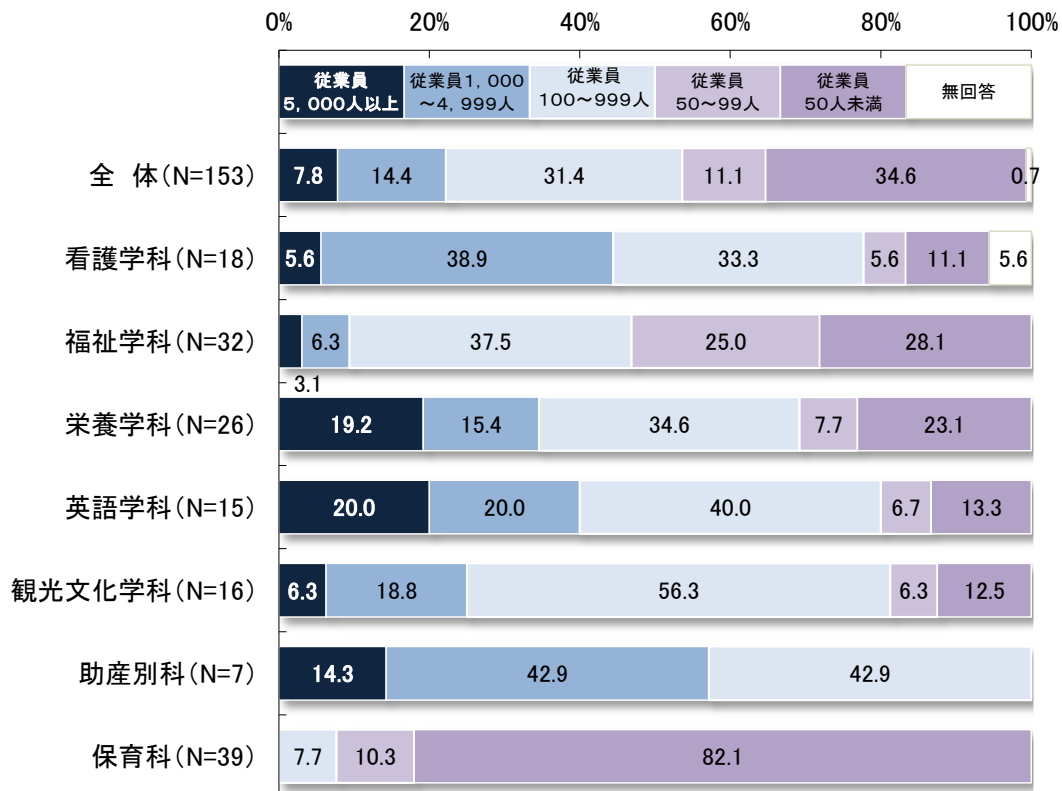
	全体 (人)	金融・ 保険業	飲食・ 宿泊業	不動産業、 物品賃貸業	農業	建設業	情報通信業	
全 体	153	2.0	2.0	1.3	0.7	0.7	0.7	
看護学科	18	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	
福祉学科	32	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
栄養学科	26	3.8	11.5	0.0	3.8	0.0	0.0	
英語学科	15	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
観光文化学科	16	6.3	0.0	12.5	0.0	0.0	6.3	
助産別科	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
保育科	39	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問 従業員数に○をつけてください。

従業員数は、就職先全体では、「従業員 50 人未満」(34.6%) が最も多く、次いで「従業員 100～999 人」(31.4%)、「従業員 1,000～4,999 人」(14.4%) となっている。

学科別の従業員数をみると、他と比べて「従業員 5,000 人以上」では英語学科 (20.0%)、栄養学科 (19.2%) が高く、「従業員 50 人未満」では、保育科 (82.1%) が高くなっている。

【従業員数】



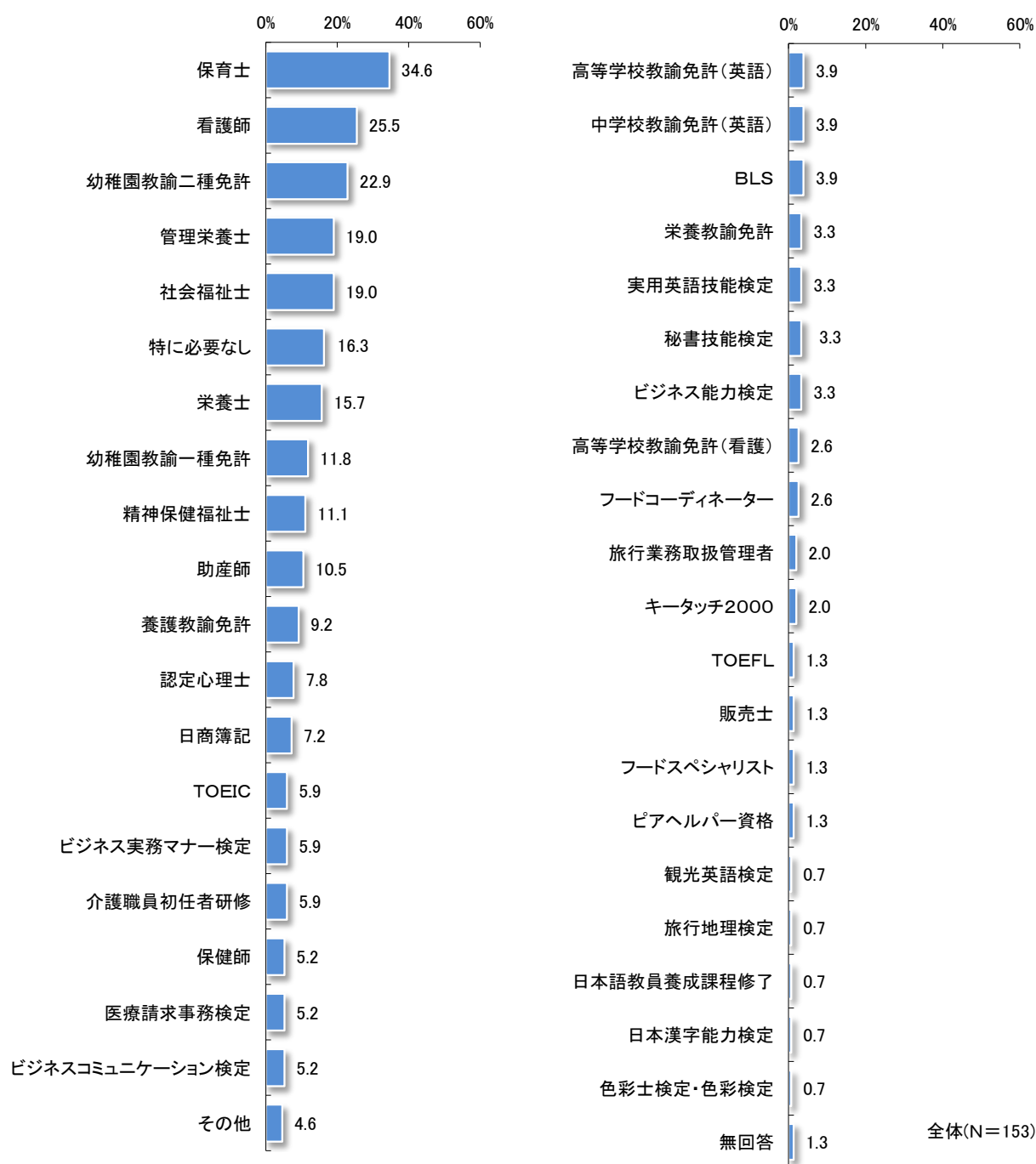
〔4〕学生に希望する資格や検定

問 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

学生に希望する資格や検定は、「保育士」(34.6%)が最も多く、次いで「看護師」(25.5%)、「幼稚園教諭二種免許」(22.9%)、「管理栄養士」、「社会福祉士」(いずれも19.0%)となっている。一方で、「特に必要なし」は16.3%である。

また、学科別にみると、看護学科と助産別科で「看護師」、栄養学科で「管理栄養士」、保育科で「保育士」等、卒業学科に応じた専門性が求められている。

【学生に希望する資格や検定】



※回答のなかった選択肢は省略

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 学生に希望する資格や検定（1/3）】（％）

	全体（人）	保育士	看護師	幼稚園教諭二種免許	管理栄養士	社会福祉士	特に必要なし	栄養士	幼稚園教諭一種免許	精神保健福祉士	助産師	養護教諭免許	認定心理士	日商簿記	TOEIC
全 体	153	34.6	25.5	22.9	19.0	19.0	16.3	15.7	11.8	11.1	10.5	9.2	7.8	7.2	5.9
看護学科	18	11.1	88.9	-	27.8	27.8	5.6	22.2	-	16.7	38.9	5.6	16.7	5.6	11.1
福祉学科	32	34.4	25.0	18.8	15.6	56.3	3.1	6.3	18.8	34.4	6.3	28.1	18.8	12.5	6.3
栄養学科	26	7.7	3.8	-	46.2	-	26.9	30.8	-	-	-	3.8	-	3.8	-
英語学科	15	6.7	-	6.7	-	-	33.3	-	6.7	-	-	6.7	-	13.3	20.0
観光文化学科	16	-	-	-	-	-	56.3	-	-	-	-	-	-	6.3	12.5
助産別科	7	14.3	100.0	14.3	28.6	42.9	-	28.6	14.3	28.6	100.0	-	28.6	28.6	-
保育科	39	92.3	17.9	69.2	12.8	7.7	5.1	20.5	25.6	2.6	-	5.1	2.6	-	-

【学科別 学生に希望する資格や検定（2/3）】（％）

	全体（人）	ビジネス実務マナー検定	介護職員初任者研修	保健師	医療請求事務検定	ビジネスコミュニケーション検定	その他	高等学校教諭免許（英語）	中学校教諭免許（英語）	BLS	栄養教諭免許	実用英語技能検定	秘書技能検定	ビジネス能力検定	高等学校教諭免許（看護）
全 体	153	5.9	5.9	5.2	5.2	5.2	4.6	3.9	3.9	3.9	3.3	3.3	3.3	3.3	2.6
看護学科	18	-	5.6	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	5.6	-	-
福祉学科	32	15.6	15.6	6.3	3.1	9.4	3.1	12.5	12.5	-	6.3	6.3	3.1	9.4	9.4
栄養学科	26	7.7	-	-	-	11.5	-	-	-	-	3.8	-	-	7.7	-
英語学科	15	6.7	-	-	6.7	6.7	13.3	13.3	13.3	-	6.7	20.0	-	-	6.7
観光文化学科	16	6.3	-	-	6.3	6.3	12.5	-	-	-	-	-	6.3	-	-
助産別科	7	-	14.3	42.9	28.6	-	-	-	-	42.9	-	-	14.3	-	-
保育科	39	-	5.1	-	-	-	5.1	-	-	-	2.6	-	2.6	-	-

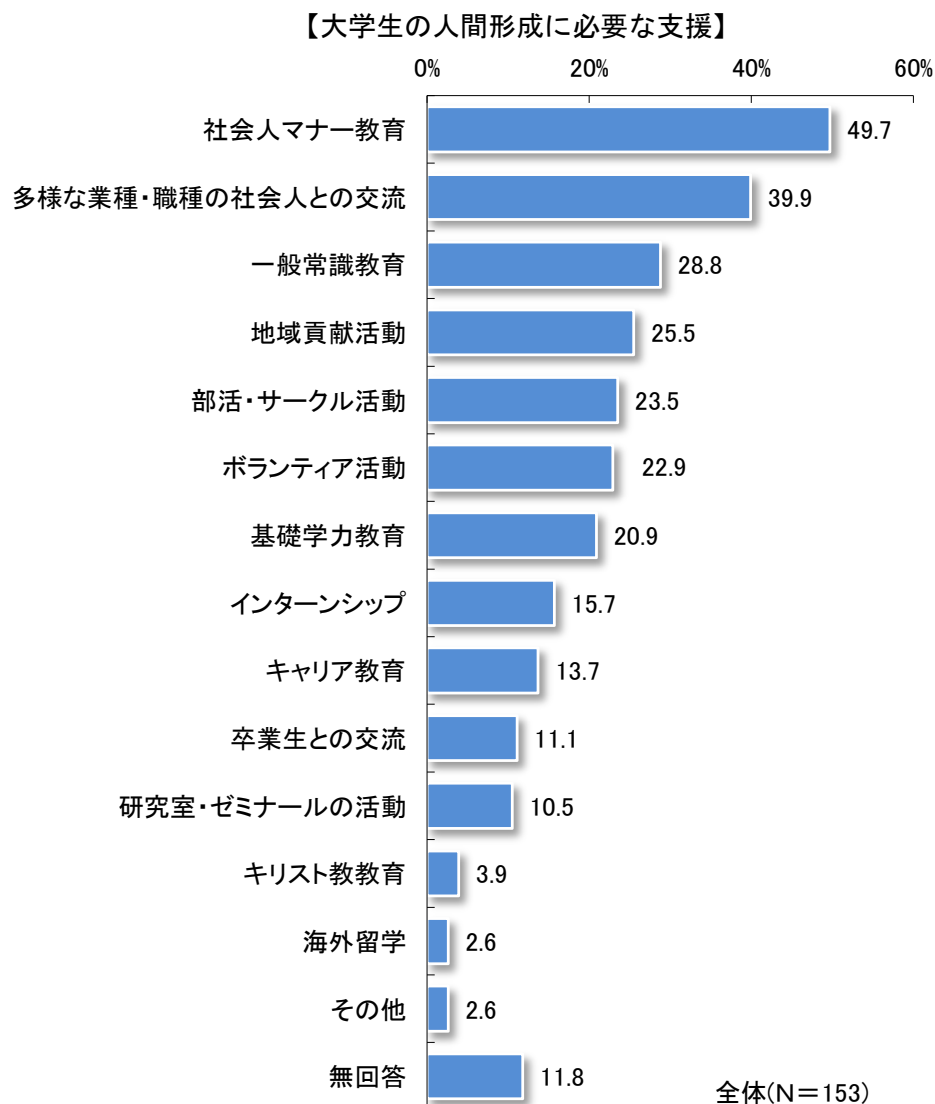
【学科別 学生に希望する資格や検定（3/3）】（％）

	全体（人）	フードコーディネーター	旅行業務取扱管理者	キータッチ2000	TOEFL	販売士	フードスペシャリスト	ピアヘルパー資格	観光英語検定	旅行地理検定	日本語教員養成課程修了	日本漢字能力検定	色彩士検定・色彩検定	無回答
全 体	153	2.6	2.0	2.0	1.3	1.3	1.3	1.3	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	1.3
看護学科	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	32	-	-	3.1	3.1	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-
栄養学科	26	15.4	-	-	-	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-	3.8
英語学科	15	-	13.3	-	-	-	-	-	6.7	6.7	6.7	-	-	6.7
観光文化学科	16	-	6.3	-	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
助産別科	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	39	-	-	5.1	-	-	-	5.1	-	-	-	-	2.6	-

〔5〕大学生の人間形成に必要な支援

問 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

大学の人間形成に必要な支援は、「社会人マナー教育」(49.7%)が最も多く、次いで「多様な業種・職種の社会人との交流」(39.9%)、「一般常識教育」(28.8%)となっている。



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 大学生の人間形成に必要な支援（1/2）】（％）

	全体（人）	社会人マナー教育	多様な業種・職種との交流	一般常識教育	地域貢献活動	部活・サークル活動	ボランティア活動	基礎学力教育	インターンシップ
全 体	153	49.7	39.9	28.8	25.5	23.5	22.9	20.9	15.7
看護学科	18	55.6	44.4	27.8	27.8	16.7	33.3	38.9	22.2
福祉学科	32	53.1	40.6	28.1	21.9	18.8	15.6	6.3	9.4
栄養学科	26	57.7	30.8	34.6	26.9	38.5	15.4	26.9	11.5
英語学科	15	13.3	60.0	20.0	40.0	13.3	13.3	6.7	20.0
観光文化学科	16	50.0	56.3	18.8	18.8	37.5	12.5	12.5	25.0
助産別科	7	57.1	85.7	14.3	28.6	28.6	28.6	42.9	14.3
保育科	39	51.3	20.5	35.9	23.1	17.9	35.9	25.6	15.4

【学科別 大学生の人間形成に必要な支援（2/2）】（％）

	全体（人）	キャリア教育	卒業生との交流	の研究室・ゼミナールの活動	キリスト教教育	海外留学	その他	無回答
全体	153	13.7	11.1	10.5	3.9	2.6	2.6	11.8
看護学科	18	27.8	22.2	-	-	11.1	-	5.6
福祉学科	32	12.5	9.4	3.1	3.1	-	6.3	12.5
栄養学科	26	7.7	7.7	19.2	-	3.8	3.8	19.2
英語学科	15	26.7	6.7	6.7	-	-	6.7	13.3
観光文化学科	16	31.3	12.5	25.0	-	-	-	6.3
助産別科	7	-	14.3	-	-	14.3	-	-
保育科	39	2.6	10.3	12.8	12.8	-	-	12.8

〔6〕採用について

問 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。

各事業所において、過去5年間で採用に実績がある大学名を3校まで自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

看護学科

大学名	記入数
福岡女学院看護大学	4
福岡県立大学	3
純真学園大学	2
大分大学	1
大分県立看護科学大学	1
尾道市立大学	1
産業医科大学	1
西南女学院大学	1
千葉大学	1
筑波大学	1
東京医療保健大学	1
西日本工業大学	1
日本赤十字看護大学	1
日本赤十字九州国際看護大学	1
福岡看護大学	1
福岡大学	1
帝京大学	1
宮崎県立看護大学	1
安田女子大学	1
山口県立大学	1
山口大学	1

栄養学科

大学名	記入数
中村学園大学	6
九州栄養福祉大学	5
九州女子大学	5
北九州市立大学	3
福岡大学	3
別府大学	3
香蘭女子短期大学	2
西南女学院大学	2
福岡女子大学	2
山口大学	2
大分大学	1
熊本県立大学	1
尚絅大学	1
水産大学	1
西南学院大学	1
長崎国際大学	1

福祉学科

大学名	記入数
福岡県立大学	4
九州女子大学	3
九州産業大学	2
西南学院大学	2
西南女学院大学	2
筑紫女学園大学	2
梅光学院大学	2
福岡大学	2
山口県立大学	2
桜美林大学	1
大分大学	1
岡山県立大学	1
鹿児島県立短期大学	1
鹿児島国際大学	1
鹿児島女子短期大学	1
関東学院大学	1
九州女子短期大学	1
久留米大学	1
国際医療福祉大学	1
佐賀女子短期大学	1
下関短期大学	1
成城大学	1
大分県立看護科学大学	1
西九州大学	1
西九州短期大学	1
西日本短期大学	1
東亜大学	1
東海大学	1
東筑紫短期大学	1
福岡女学院大学	1
安田女子大学	1

英語学科

大学名	記入数
北九州市立大学	5
福岡大学	3
九州女子大学	2
久留米大学	2
西南学院大学	2
茨城大学	1
九州共立大学	1
九州国際大学	1
近畿大学九州短期大学	1
下関市立大学	1
西南女学院大学	1
日本文理大学	1
福岡教育大学	1
福岡県立大学	1

観光文化学科

大学名	記入数
北九州市立大学	4
山口大学	4
福岡大学	3
九州女子大学	2
熊本学園大学	2
広島大学	2
愛媛大学	1
岡山大学	1
神奈川大学	1
九州ルーテル学院大学	1
熊本県立大学	1
久留米大学	1
西南学院大学	1
専修大学	1
長崎県立大学	1
中村学園大学	1
梅光学院大学	1
福岡女学院大学	1
明治学院大学	1

助産別科

大学名	記入数
福岡県立大学	2
福岡女学院看護大学	2
九州看護福祉大学	1
九州大学	1
国際医療福祉大学	1
産業医科大学	1
西南学院大学	1
西南女学院大学	1
帝京大学	1
日本赤十字九州国際看護大学	1
日本赤十字広島大学	1
広島大学	1
山口県立大学	1
山口大学	1

保育科

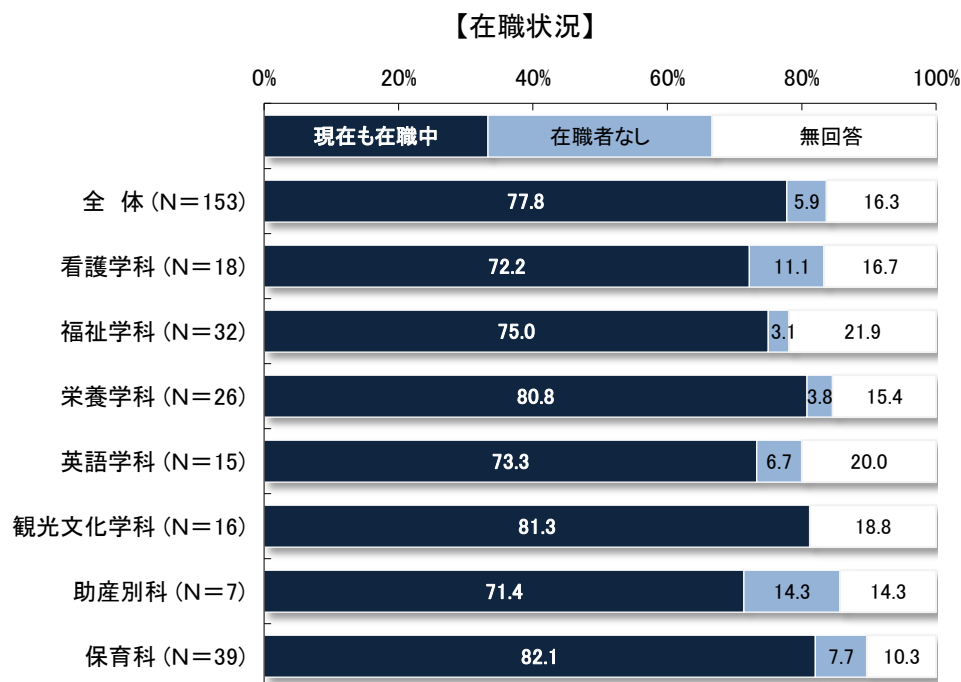
大学名	記入数
東筑紫短期大学	12
西南女学院大学短期大学部	9
九州女子短期大学	6
九州女子大学	5
梅光学院大学	5
宇部フロンティア短期大学	2
香蘭女子短期大学	2
下関短期大学	2
中村学園大学	2
福岡教育大学	2
福岡県立大学	2
福岡女学院大学	2
麻生医療福祉&観光カレッジ	1
北九州市立大学	1
九州国際大学	1
久留米大学	1
下関市立大学	1
純真短期大学	1
西南学院大学	1
西南女学院大学	1
筑紫女学園大学	1
筑紫女学園大学短期大学部	1
中村学園大学短期大学部	1
西九州大学	1
比治山短期大学	1
福岡子ども短期大学	1
別府大学	1
美作大学短期大学部	1
宮崎学園短期大学	1
安田女子短期大学	1
山口芸術短期大学	1

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

問 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に入職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

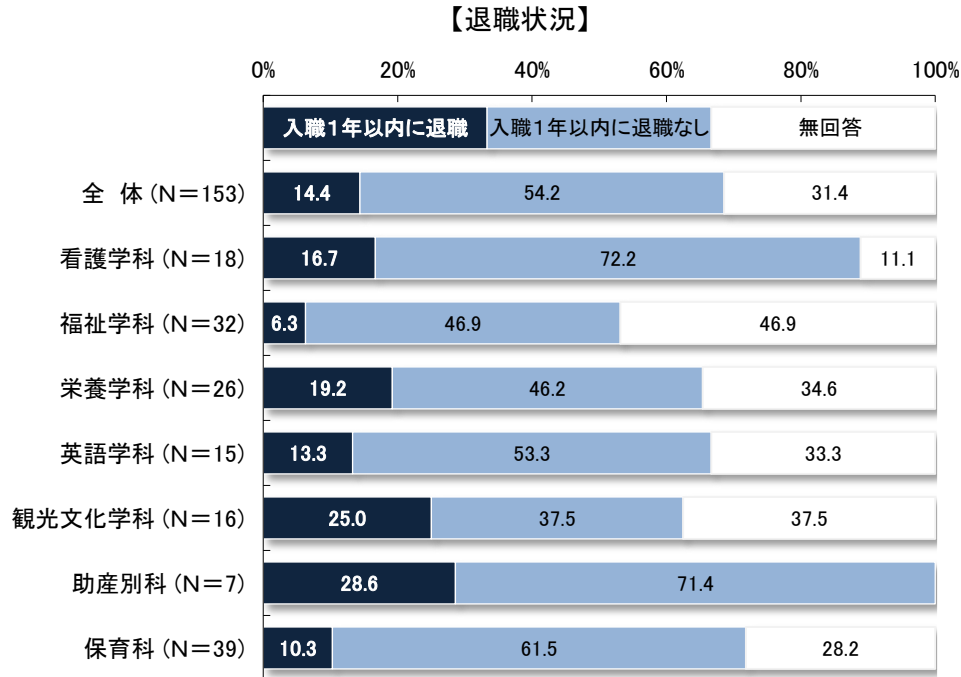
在職状況について、就業先全体では「現在も在職中」(77.8%)が最も多くなっている。

学科別にみると栄養学科、観光文化学科、保育科では「現在も在職中」(栄養学科:80.8%、観光文化学科:81.3%、保育科:82.1%)が80%を超えて多くなっている。



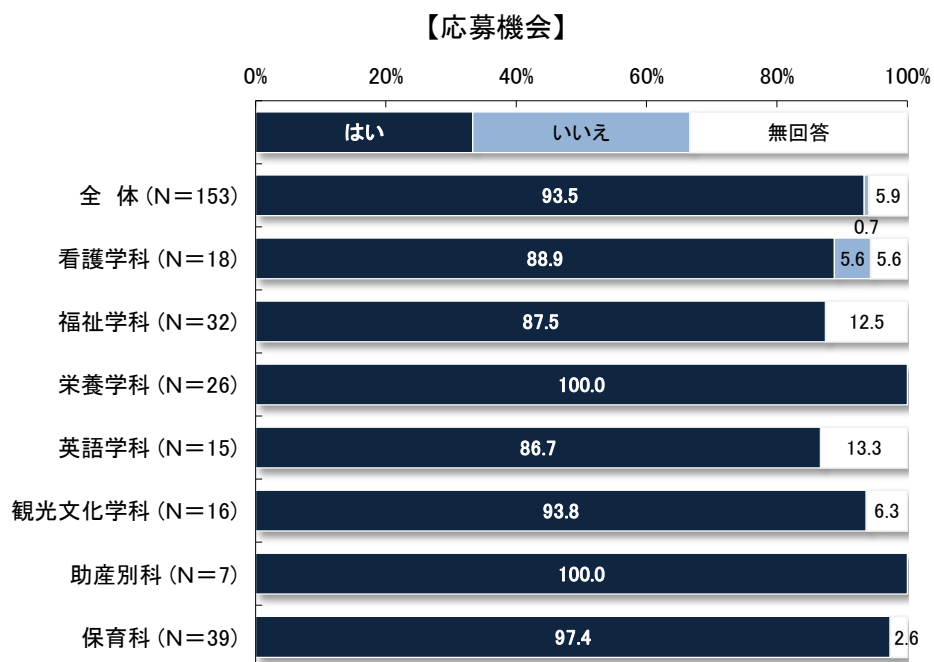
退職状況について、就業先全体では、「入職1年以内に退職なし」(54.2%)が最も多くなっている。

学科別にみると、無回答の割合が高い学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、観光文化学科や助産別科では「入職1年以内に退職」の割合が他学科に比べ高い傾向にある。



問 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

今後の応募機会について、全体結果及び学科別ともに「はい」の割合が大半を占める結果となっている。



〔7〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【採用・就職支援について】

（回答者数：50人/153人[32.7%]）

学科	内容
栄養学科	毎年、優秀な学生様を輩出いただき、ありがとうございます。2022年卒学生対象の求人活動も実施していきますので、引き続き、よろしくお願いいたします。
	コロナウイルス感染拡大により、採用活動もオンライン化が進んでおります。貴校にて学内セミナー等がオンラインで検討ございましたら、当社にも是非機会を頂けますと幸いです。何卒宜しくお願い致します。
英語学科	文系であれば簿記の資格が必要だと思います。また採用時は、コミュニケーション能力と積極性、謙虚さも見られる点だと思いました。
観光文化学科	いつも会社説明会ではありがとうございます。今年はコロナで参加できず申し訳ございません。※追加ご連絡：3年前入社の方Uさんは残念ながら退職しております。力不足で大変申し訳ございません。
	採用に関しては現在未定のため、回答を控えさせていただきます。本年もどうぞ、宜しくお願い致します。
	22年卒の方向けの採用にて、貴校とのご縁が繋がれば幸いと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。
保育科	山口県幼稚園協会加盟園は原則「協会採用試験」を受験した者が原則となっていますので宜しくお願いします。又、当園では実習生から内定を出すことが多くなっています。実践の場における対応力をみてから合格を判断させていただきますので併せてお願いします。
	教諭免許があれば児童指導員としての採用が可能です。法人全体としては100名余の職員数ですが、毎年児童養護施設の職員確保に苦戦しています。チャレンジ精神に富んだ学生の育成を期待します。
	これまで、多くの西南卒業生を採用してまいりました。どの学生も期待通りに活躍され、保護者の信頼をいただく先生へと成長しています。今後も、当園の保育に必要な人財として採用を継続してまいります。
	お世話になっております。当園では実習に来られた学生さんの多くが就職へと結びついていっております。今後もよいご縁がありますようお願いしております。
	立派な学生さんが多いので、今後も実習生や就職希望者を受け入れていきたいと思えます。よろしくお願い致します。

【現在就業中の卒業生について】

学科	内容
看護学科	新採でありながら、地道に職務を遂行することができる。新しい事にも積極的に取り組んでおり、好感がもてる。
福祉学科	採用人数は少ないですが、貴校の卒業生はしっかりと業務遂行をしていただいております。今後におきましても、コロナ禍の中大変ご苦労とは存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。
英語学科	本年度、新規採用者として、本学卒業生を迎えましたが、3月をもって退職の予定です。全職員で支えたつもりでしたが充分ではなかったようです。本人は迷いながら、北九州市の採用試験を受験し、合格を得たのでそのまま、中学校教員となったが、やはり思ったようではなかったと申していました。授業のセンスはあるので惜しいのですが、他の職員との関係や学級経営がむずかしかったようです。 いつも大変お世話になっております。今年入社したKさん、総合案内所で頑張っています。
観光文化学科	Tさんの様な素晴らしい方を継続してご縁頂けると幸甚です。
助産別科	私自身も西南女学院助産別科の卒業生(2期生)です。1年間の学びは今でも私の宝です。今年度復職した者も全力で頑張ってくれています。

【大学への要望について】

学科	内容
看護学科	貴学の方針に基づく看護教育をよろしくお願い致します。 本校に務めている養護教諭はいつも礼儀正しく、真摯に対応しています。彼女のような人材をこれからも輩出していただけると大変助かります。
福祉学科	コミュニケーション能力は社会人として、学生の中に身につけて頂きたい項目の一つと思います。ぜひ、1月に1回でいいので、学業の一環として取り入れて欲しいものです。 声をはずかしがらずに出す、大きな声が出る等の発声練習があると良い。
栄養学科	管理栄養士は専門知識以外にも、相手に合わせた提案を臨機応変に行う必要もあるため、与えられたことだけをこなすという発想では対応できないと思います。色々な事に興味を持って学んだり、自発的にアイデアを考えたり、他職種とも対等に渡り合うためのプロ意識とコミュニケーション力のある人材を輩出していただけると有難いです。
観光文化学科	来期もよろしくお願い致します。
保育科	就職するにあたっての社会人としての常識をしっかり教えていただきたい。特に、妊娠、出産について。 実習の受け入れを行っておりますので、学生の方にぜひ当園を紹介していただきますよう、よろしくお願い致します。 昨年あたりより、幼稚園就職希望者が減少傾向にある様に感じます。幼稚園の魅力がもっと学生に伝わる様な機会があると良いと思う。 実習でも自主実習でも、お待ちしておりますが、このところ全く見えません。就活でも全くおみえになりません。他の園長先生との話でK大学は福岡の園をすすめるらしいと聞きました。是非、北九州の中で働いて下さいますようお願い致します。 貴校の保育科が4年制大学になることを希望します。2年間では実習、インターンシップ等が十分に学べないように思えます。現場で学ぶ前に時間をかけ学んで欲しいと願います。

【その他について】

学科	内容
看護学科	看護の道から建設にということで意志を固められた方でしたが早期退職ということになり、非常に残念なところですが、やはり専門的な職種に就かれた方が良いのではないかと感じました。
福祉学科	本園に対しては(貴校の)学生さんのボランティアも受け入れさせて頂いています。今後ともよろしくお願いします。
	今後とも、ご支援・ご協力をお願い致します。
	目標を持ったうえで、大学で学んで欲しいですし、しっかりと志を持って仕事を続けられるよう大学生活を送って欲しい。
	私どもの方から各大学就職課の皆様とコミュニケーションを深めることで、お迎えする学生さんにとってより良い職場にして参りたいと考えております。
	いつも大変お世話になっております。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。
	R3年3月末にて1名退職(1年にて)予定。
栄養学科	昨年の一般職採用の際は、大変お世話になりました。今後共、何卒宜しくお願い申し上げます。
	今後ともよろしくお願いいたします。
	特にありません。今後ともよろしくおねがいいたします。
英語学科	今後ともよろしくお願いいたします。
	2020年4月採用で1名入社頂きましたが、4月以降コロナ禍の影響を受け、休業体制となつてしまい実務をあまり経験できておりません。なので、アンケートも適格な判断での回答が出来ず、大変申し訳ございません。
観光文化学科	平素より格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今後共何卒よろしくお願い致します。
助産別科	先日、オンラインで本学採用担当者より就職課の皆さまに本学の説明をさせていただきありがとうございました。その際学生さんも同席されましたが、貴学の学生の皆さんへの手厚いフォローを実感しました。学生さんからはお礼のメールを頂戴しました。とても礼儀正しい方々を輩出くださりありがとうございます。
保育科	あまり多くの事を学生に求める必要はないと思います。それぞれの職場に適応して少しずつ成長して欲しいと思います。
	今後ともよろしくおねがいいたします。
	良い人材を提供して下さい、感謝しております。
	グローバルな視点でのキリスト教(宗教)理解。

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2019年度（令和元年度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2020年度（令和2年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケートの総括とする。

▶仕事に必要な能力

<必要性和達成度>

就職受け入れ先から見た、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「必要である」＋「やや必要である」）、卒業生の力やスキルを【達成度】（「身につけている」＋「ほぼ身につけている」）として分析し、必要性和達成度の差が最も大きい上位3つの項目には枠を付けた。

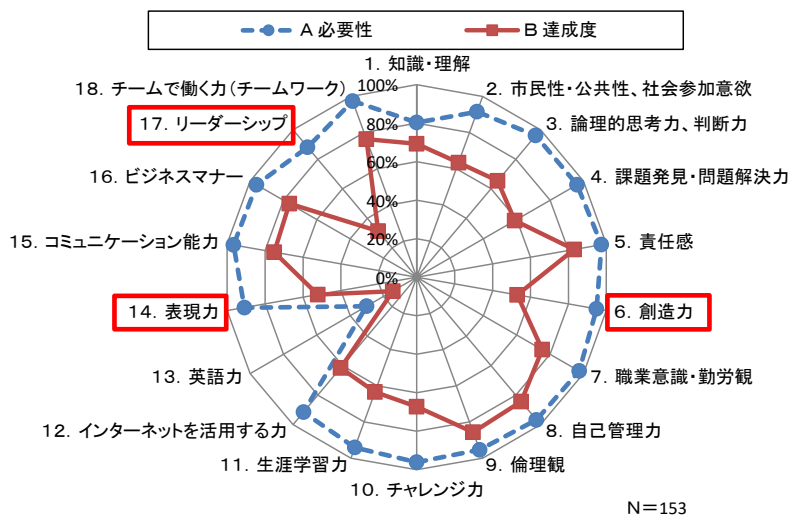
仕事上では、「英語力」以外はどの項目も必要性が80%を超えている。

必要性に比べ、卒業生の達成度は総じて低い傾向にあるが、とりわけ「リーダーシップ」、「創造力」、「表現力」でその差が大きい。しかし、これらの力やスキルは、学生生活のうちに習得するというよりも、本来、社会経験を積むことで得られる要素が強いため、今後、卒業生の職場での成長に期待したい。

一方、「倫理観」、「知識・理解」、「自己管理能力」、「責任感」などは、必要性に対する達成度のギャップが小さく、これらについては卒業生の評価が比較的高いと言える。

こうした達成度とのギャップについては、前回調査結果と同様の傾向を示していることから、在学生に対しては、リーダーシップや創造力、表現力など自主性を育むような指導・取り組みを取り入れる必要があると言える。

【仕事上での必要性和卒業生の達成度】



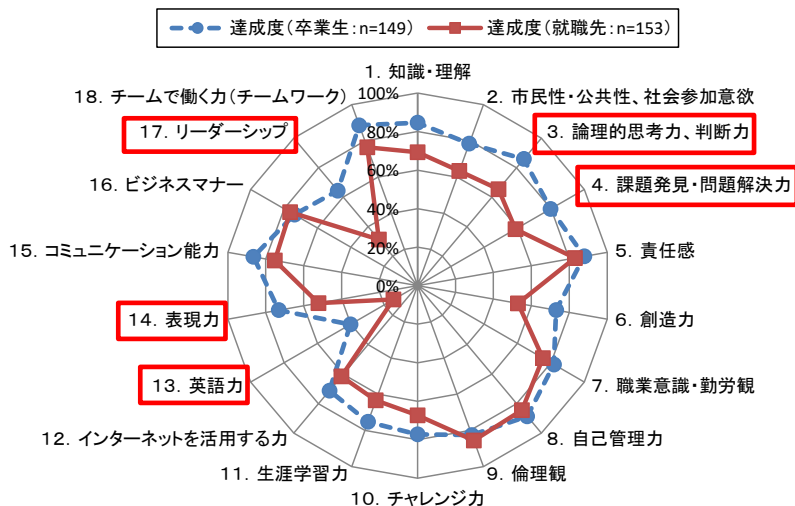
<達成度評価のギャップ（就職先と卒業生との比較）>

就職先が評価する卒業生の達成度と、卒業生本人が考える自身の達成度について比較を行った。

概ね就職先と本人評価は類似しているが、「リーダーシップ」、「英語力」、「課題発見・問題解決力」、「表現力」、「論理的思考力、判断力」についてはギャップがやや大きく、卒業生が思うよりも就職先が考える卒業生への評価が低い。

しかしながら、就職先の評価対象であるのは2020年3月卒業生となり、卒業後1年未満と経験が浅いことを踏まえると、概ね妥当な評価とも考えられる。今後、経験を積んでいく中で、これらの能力を伸ばしてゆけるよう期待したい。

【就職先と卒業生の達成度評価の比較】



▶採用について

＜採用時に重要視する能力＞

学生調査における採用のあり方については、出身大学や学部によるハンディが大きいと感じている学生も少なくないが、実際には、事業所が採用の際に重要視する能力として、「コミュニケーション能力」や「責任感」、「チームで働く力（チームワーク）」が突出して高くなっており、あくまで「個人」として備わっているスキルを重視している様子が見えてくる。これらは、前回調査結果でも上位に挙げられており、常に採用の判断基準となっていると言える。また、卒業生アンケートでも大学・短期大学部で得たスキルとして上位に挙げられており、就職先が重要視している能力と大学・短期大学部で得られたスキル（達成度）が一致する。

なお、学科別にみても重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「コミュニケーション能力」と「責任感」、「チームで働く力（チームワーク）」の有無が重要とされていることがわかる。

また、就職先から学生に希望する資格や検定について学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」、助産別科で「助産師」、保育科で「保育士」、「幼稚園教諭二種免許」等、当然のことながら卒業学科に応じた専門性が求められており、資格の有無が採用に大きく影響すると言える。

▶大学・短期大学部で必要な支援

大学生の人間形成に必要な支援として、「社会人マナー教育」、「多様な業種・職種の社会人との交流」、「一般常識教育」が上位に挙げられた。これらは前回調査でも上位に挙げられており、大学でも基礎的な社会人マナーや一般常識などの社会に出て役立つ教育機会の充実や、社会人との交流など、在学中に経験できるような環境づくりが必要とされている。

また、学生調査においては「企業が何を求めているのかわかりにくい」といった意見もあったため、企業が求める姿を学生に伝え、意識させていくことも必要であると言える。

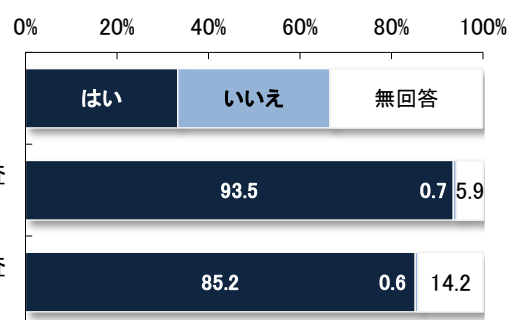
＜今後の採用について＞

今後の採用時に、本学の学生に応募機会を与えるか否かについては、9割を超える事業所が応募機会を与えると回答しており、前回調査から1割弱増え、引き続き高い支持を得ている。

調査結果から、卒業生の仕事に必要な力やスキルに不十分な部分はあるものの、就職受け入れ先では今後も引き続き採用意向があることから、本学の学生は採用に値する一定の評価を得ているものと考えられる。

本学の卒業生が今後も事業所の期待に応え、社会に貢献できるよう、在学時からの人材育成に引き続き取り組む必要がある。

【今後の採用意向（前回調査との比較）】



▶大学に対する意見や要望

大学に対する意見や要望について自由記述形式にて回答を得たところ、本学の卒業生に対して好評価の事業所が多く、大学に対する意見としても、オンラインでの就職説明会などに参加する機会を設けてほしい等、採用に積極的な意見が多い。

総じて、就職先から見た本学卒業生の評価は高いものと考えられるが、就職受け入れ先では共通して、社会人としての基本的なマナーやコミュニケーション能力のある学生を求めている。大学・短期大学部においては、専門的な知識や経験、スキル等だけではなく、こうした人間形成の基礎を育む教育・指導が今後も求められていると言える。

第3章 調査票

2020(令和2)年12月

卒業生の皆さまへ

西南女学院大学
学長 工藤 二郎

「西南女学院大学 卒業生アンケート調査」について（お願い）

拝啓 卒業生の皆様におかれましては、日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では、卒業生の皆様の現在の状況を確認するとともに、卒業生からの本学に対する率直なご意見やご要望をいただくことで、今後のより良い大学運営に役立てていきたいと考えております。

つきましては、年末のお忙しい時期に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、アンケート調査にご協力をくださいますようお願いいたします。 敬 具

1. 調査内容
西南女学院大学 卒業生アンケート調査
2. 対象者
2018年3月大学卒業生
3. アンケート用紙
別紙のとおり
4. 回答期限
2021年1月29日（金）
5. 回答方法：次のいずれかの方法でご回答ください。
 - ① QRコード（本紙左下）又は下記URLより、WEBページで回答後、送信
<https://forms.gle/2tJkDeYku6jX8jTy8>
 - ② 同封の返信用封筒によるアンケート票の返送
 - ③ FAXによるアンケート票の返信

※このアンケート調査により得られた結果は統計的に集計し、皆様の個人的な情報が公表されることや他の目的に使用することは一切ありません。



【問い合わせ先・回答先】

〒803-0835
北九州市小倉北区井堀1-3-5
西南女学院大学 就職課
TEL (093) 583-5777
FAX (093) 583-4633

西南女学院大学 卒業生アンケート調査

Ⅰ. あなたご自身のことについて該当するものに○をつけてください。

1. 卒業した学科を教えてください。

1. 看護学科 2. 福祉学科 3. 栄養学科 4. 英語学科 5. 観光文化学科 6. 助産別科

2. 現在の状況を教えてください。

1. 現在、仕事をしている → Ⅱへ進んでください 2. 現在、仕事をしていない → Ⅳへ進んでください

Ⅱ. 現在仕事をしている方におたずねします。

1. 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) ➡

2. 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) ➡

3. 現在の勤務先について○をつけてください。

1. 現在の勤務先は卒業時と変わっていない 2. 転職した → Ⅲに進んでください

4. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

5. 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

1. 満足している 2. どちらでもない 3. 満足していない

Ⅴに進んでください

6. Ⅱ-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

1. 転職(退職)を考えている 2. 転職(退職)するまではしない

Ⅴに進んでください

Ⅲ. Ⅱ-3で「転職した」を選択した方におたずねします。

1. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) ➡

2. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) ➡

3. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

4. 転職された時期をご記入ください。(複数回転職された場合は最初の転職についてご記入ください。)

入職後、 年 月 日

5. 転職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生
5. 人間関係 6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性
9. 家庭の事情 10. その他()

Ⅴに進んでください

Ⅳ. 現在、仕事をされていない方におたずねします。

1. 現在の状況に○をつけてください。(複数選択可)

1. 求職中 2. 学生 3. 家事、子育て 4. その他()

2. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) ➡

3. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) ➡

4. 卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

5. 退職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生 5. 人間関係
6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性 9. 家庭の事情
10. その他()

Ⅴ. 仕事をしながら感じたこと(苦労したことや成長したことなど)をご記入ください。

(裏面につづく)

【業種・職種区分表】

A 業種
1 農業
2 林業
3 漁業
4 鉱業、採石業、砂利採取業
5 建設業
6 製造業
7 電気・ガス・熱供給・水道業
8 情報通信業
9 運輸業
10 卸売・小売業
11 金融・保険業
12 不動産業、物品賃貸業
13 飲食業
14 宿泊業
15 一般病院
16 精神科病院
17 クリニック
18 高齢者施設
19 障がい児・者施設
20 児童施設
21 保育園
22 教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)
23 幼稚園
24 学習支援業
25 サービス業
26 公務
27 その他()

B 職種
1 事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)
2 販売
3 営業
4 接客
5 看護師
6 保健師
7 助産師
8 医療ソーシャルワーカー
9 相談員
10 精神保健福祉士
11 支援員・指導員
12 介護職
13 保育士
14 管理栄養士
15 栄養士
16 幼稚園教諭
17 養護教諭
18 英語教諭
19 公務員
20 その他()

Ⅵ. 西南女学院大学で受けた教育について教えてください。

①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。その他を選択した場合は、（ ）内に具体的内容をご記入ください。

	A 達成度 西南女学院大学で 得た力やスキル	B 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル	C 能力やスキルを身につけるため役立った事 (複数回答可)
	身につけていない 身につけていない 身につけていない 身につけていない	役に立たない 役に立たない 役に立たない 役に立たない	大学の講義 研究室やゼミ活動 キャリア教育 実習・インターンシップ 留学 先輩や友人との交流 部活・サークル アルバイト 独学・専門学校 ボランティア、地域貢献活動 勤務先での研修
1 知識・理解 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
2 市民性・公共性、社会参加意欲 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
3 論理的思考力、判断力 論理的に思考し、判断することができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
4 課題発見・問題解決力 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
5 責任感 与えられた課題を最後までやり抜き粘り強さがある。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
6 創造力 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
7 職業意識・勤労観 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
8 自己管理能力 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
9 倫理観 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
10 前に踏み出す力(チャレンジ力) 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
11 生涯学習力 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
12 コンピュータやインターネットを活用する力 情報通信技術(ICT)を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト(エクセル・ワードなど)を使うことができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
13 英語力 英語で書いたり話したりすることができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
14 表現力 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
15 コミュニケーション能力 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
16 ビジネスマナー 常識があり、気持ちの良い受け答えやマナーの良い対応ができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
17 リーダーシップ 周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
18 チームで働く力(チームワーク) 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いたり、他者と協調・協働して行動できる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
19 その他 (基礎学力・一般常識など)	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

②上記の表の1～19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思われるものについて、5つまでその番号をご記入ください。

Ⅶ. 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければ理由をご記入ください。

--

Ⅷ. 大学に対して講義以外でもっと支援をしてもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください(5つまで選択可)。また、具体的な内容があればご記入ください。

1. 部活、サークル活動	2. 研究室・ゼミの活動	3. キャリア教育	4. 実習、インターンシップ	5. ボランティア活動
6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流	9. 多様な業種・職種の社会人との交流	10. キリスト教教育
11. 一般常識教育	12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育		
【具体的な内容】				

Ⅸ. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

--

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。
なお、今後、仕事のことなどで相談がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

下記の項目は差し支えない範囲でご記入ください。

氏名	住所	勤務先
	〒	
	携帯番号	— —

(個人情報保護について) ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2020(令和2)年12月

採用ご担当者様

西南女学院大学
西南女学院大学短期大学部
学長 工藤 二郎

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査」について(お願い)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本学学生の就職に関しましては、格別のご高配を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、本学では、卒業生を受け入れていただいた事業者様から、本学の教育に関する評価を
いただくことで、更なる大学教育の質の向上を図り、より社会で活躍できる人材の育成に役立て
て参りたいと考えております。

つきましては、本学卒業生の評価に関するアンケート調査のご回答をお願いいたします。

ご多用中まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

敬 具

1. 調査内容

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査

2. アンケート用紙

別紙のとおり

3. 回答期限

2021年1月29日(金)

4. 回答方法

同封の返信用封筒またはFAXにて返信をお願いいたします。

【問い合わせ先・回答先】

〒803-0835

北九州市小倉北区井堀1-3-5

西南女学院大学 就職課

TEL (093)583-5777

FAX (093)583-4633

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏名	

アンケート対象者：2020年4月就職者 卒業生 ※在職者複数の場合、総合的評価としてご記入ください。

II. 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。
その他を選択した場合は、()内に具体的内容を記入してください。

		A 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル				B 達成度 西南女学院大学 卒業生の力やスキル					C 採用の際、 重要視する能力 上位5つに○を つけてください	
		必要である	やや必要である	あまり必要でない	必要でない	身につけている	ほぼ身につけている	あまり身につけていない	身につけていない	わからない		
1	知識・理解 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1
2	市民性・公共性、社会参加意欲 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	2
3	論理的思考力、判断力 論理的に思考し、判断することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	3
4	課題発見・問題解決力 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	4
5	責任感 与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	5
6	創造力 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
7	職業意識・勤労観 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	7
8	自己管理力 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	8
9	倫理観 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	9
10	前に踏み出す力（チャレンジ力） 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	10
11	生涯学習力 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	11
12	コンピュータやインターネットを活用する力 情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト（エクセル・ワードなど）を使うことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	12
13	英語力 英語で書いたり話したりすることができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	13
14	表現力 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	14
15	コミュニケーション能力 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	15
16	ビジネスマナー 常識があり、気持ちの良い受け答えやマナーの良い対応ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	16
17	リーダーシップ 周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	17
18	チームで働く力（チームワーク） 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いた り、他者と協調・協働して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	18

（裏面につづく）

貴事業所に関するアンケート調査

※本様式は一事業所につき1枚ご回答ください。

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏 名	

II. 主たる業種に○をつけてください。(1つ選択)

1. 農業	2. 林業	3. 漁業	4. 鉱業、採石業、砂利採取業
5. 建設業	6. 製造業	7. 電気・ガス・熱供給・水道業	
8. 情報通信業	9. 運輸業	10. 卸売・小売業	11. 金融・保険業
12. 不動産業、物品賃貸業	13. 飲食・宿泊業	14. 医療・福祉業	15. 教育・学習支援業
16. サービス業	17. 公務		

III. 従業員数に○をつけてください。

1. 従業員 5,000 人以上	2. 従業員 1,000～4,999 人	3. 従業員 100～999 人
4. 従業員 50～99 人	5. 従業員 50 人未満	

IV. 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

1. 特に必要なし			
<本学で取得可能な資格・免許等>			
2. 看護師	3. 保健師	4. 助産師	5. 管理栄養士
6. 栄養士	7. 社会福祉士	8. 精神保健福祉士	9. 認定心理士
10. 保育士	11. 幼稚園教諭一種免許	12. 幼稚園教諭二種免許	13. 高等学校教諭免許(看護)
14. 高等学校教諭免許(英語)	15. 中学校教諭免許(英語)	16. 養護教諭免許	17. 栄養教諭免許
<本学が取得支援している主な資格・検定等>			
18. BLS	19. TOEIC	20. 実用英語技能検定	21. TOEFL
22. 観光英語検定	23. 旅行業務取扱管理者	24. 通訳案内士	25. 旅行地理検定
26. 貿易実務検定	27. 外務員(金融商品)	28. 日本語教員養成課程修了	29. 日本漢字能力検定
30. 日商簿記	31. 秘書技能検定	32. 医療請求事務検定	
33. ビジネスコミュニケーション検定	34. ビジネス能力検定	35. ビジネス実務マナー検定	36. キータッチ 2000
37. 英語ビジネス文書作成技能検定		38. コンピュータサービス技能評価試験	
39. 販売士	40. 色彩士検定・色彩検定	41. フードコーディネーター	42. フードスペシャリスト
43. 介護職員初任者研修	44. ビアヘルパー資格	45. その他()	

V. 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

1. 部活・サークル活動	2. 研究室・ゼミナールの活動	3. キャリア教育	4. インターンシップ
5. ボランティア活動	6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流
9. 多様な業種・職種の社会人との交流	10. キリスト教教育	11. 一般常識教育	
12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育	14. その他()	

VI. 採用について

1. 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。(本学卒業生と同職種の女子)

大学	大学	大学
----	----	----

2. 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に就職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

現在も在職中	人	入職1年以内に退職	人
--------	---	-----------	---

3. 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

1. はい	2. いいえ(差し支えなければその理由:)
-------	------------------------

VII. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

--

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。

集計結果については後日、送付させていただきます。

(個人情報保護について)ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2020 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査
【調査結果報告書】

2021 年 7 月

発 行 西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部
就職課
〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5
TEL: 093-583-5777
